

14
697

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

始



14
697a

山崎博士講述

(非賣品)

經濟地理 完

大正十四年度
東京帝國大學 講義

14-6970



經濟地理學

山崎博士述

序説

經濟地理學、概念

地理學ヲ研究スルニ當リ自然地理學人文地理學ノ二科ニ分ツヨシトス。
 經濟地理學トハ人文地理學上ノ一分派ナリ。
 經濟地理學ニ於テハ人類ノ經濟的活動ノ地理トノ關係、即ち自然
 人類ノ經濟的活動トノ關係ヲ研究ス。
 吾人人類ハ生存欲満足ノ爲メニ一ノ活動ヲナス、是レ經濟的活動ナリ。
 天然ノ產物ヲ以テ自己生存欲ヲ満足セシムルノミニテハ不足
 ナシテ生存ニ必要ナル物ヲツケル。是レ經濟學上ニ於テ *goods* ト稱スル
 モノナリ。

goods ノ中ニハ *free goods*, *Economic goods* ナリ。前者ハ空氣

大 148. 内 家

水ノ如ク何等ノ勞力ヲ要セス、之ヲ得ルニ費用ヲモ要セサルモノナリ、後
 者ハ之ニ反ス。Economic goods ハ如何ナル土地ニ最適ナルカ、又コノ
 goods ガ producer (生産者) ヨリ Consumers (消費者) ニ至ル
 マデニハ如何ナル土地機關ヲ選ツカ、ナドニツキテハ自然界ノ現象ヲ熟知
 スルヲ要ス、即チ植物ト土地トノ關係ヲ見ヨ。
 今日吾人ハ多クノ coffee ヲ飲用シ初メタリ、コハ政洲ニ古ヨリ多ク生
 産シタリシナランカ、然ラズ、古ハ Arabia 等ノ熱帯地方ノミ、特産物
 ナリシモ之ヲ南米、マレー、島等ニ移植シヨクソノ繁茂ニ適シタルナリ。
 小麦、肉、羊等ハ「アメリカ」「オウストラリア」等ノ新大陸ニ現在ニ於テ
 ハソノ一大生産地ナレトモコハ過去一世紀間ノ事ナリ。
 之ヨリ見ル時吾人カ植物、動物ト土地、氣候トノ關係ヲ究ムル事ニヨリ
 テ吾人ノ經濟地理的考慮ヲ促進スヘキ事ヲ知ル。
 自然ハ生物、殊ニ植物ニ対シ鋭敏ナル關係ヲ有ス、故ニ今日ノ生産業者
 ハ企業、植民、移民ニ最適ノ土地、風土、氣候ニツキテ詳密ナル研究ヲ必
 要トナス。

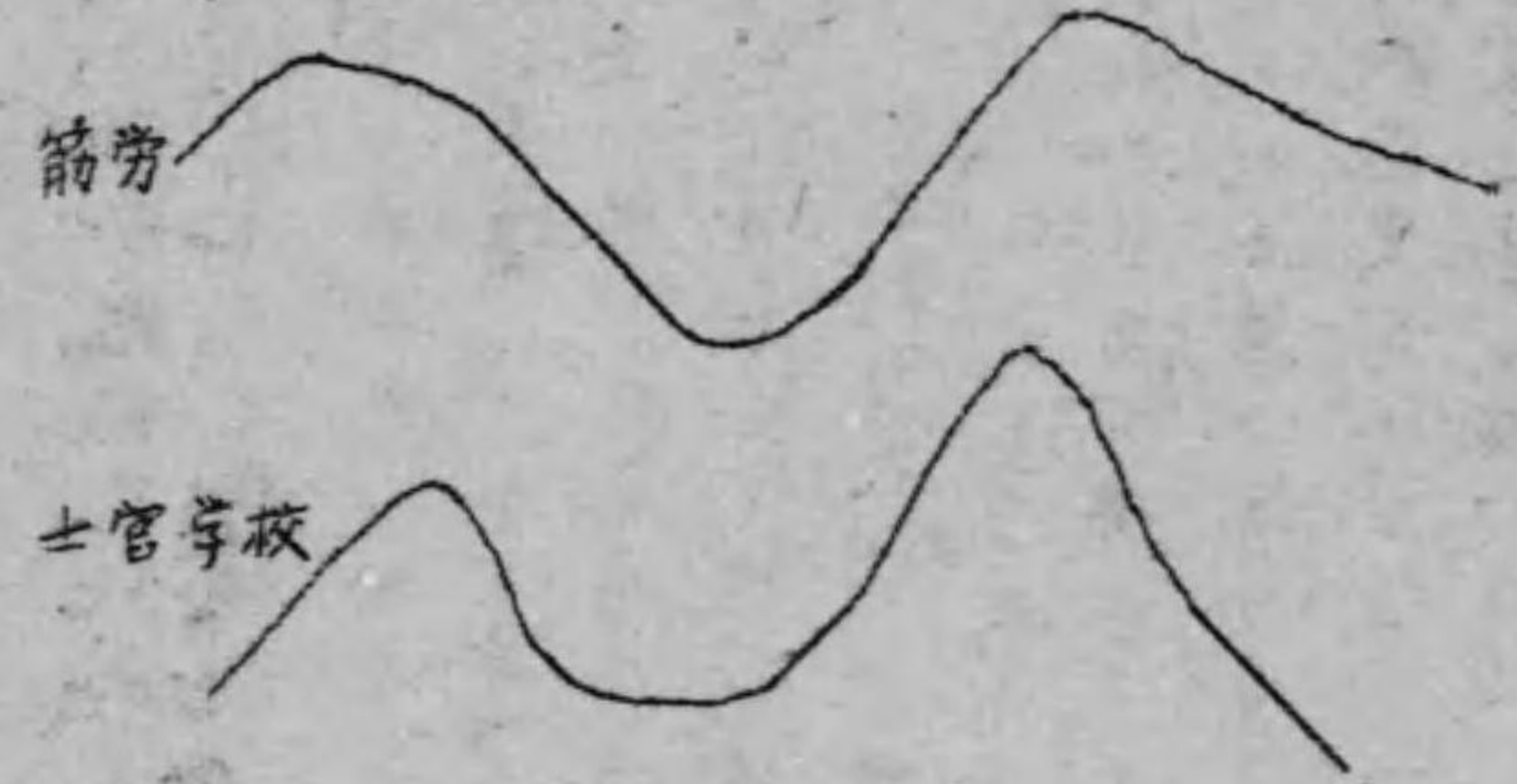
故ニ吾人ハ *Justice* ノ述ハタル英ヲ顧ルベシ
 經濟學ノ三要件 *land, labor, capital*

土地、勞力、資本
 吾人ハ肉体的満足ト共ニ精神的満足ヲ渴望スルモノナリ、生産ノ進歩
 達ニツレテ *mental* ニ益スル生産物モ多量ニ生産セラル、ニ至ル、*Ne-
 cortex, Spilm* (N. S. 1923, 2400 以下) 等ガ益ニ生産セラレ
 ツ、アルガ如キハコノ現象ナリ、故ニ吾人ハ是等生産ニ必要ナル自然現象
 等ニ人文現象ト經濟トノ關係ヲ考究セサルヘカラズ

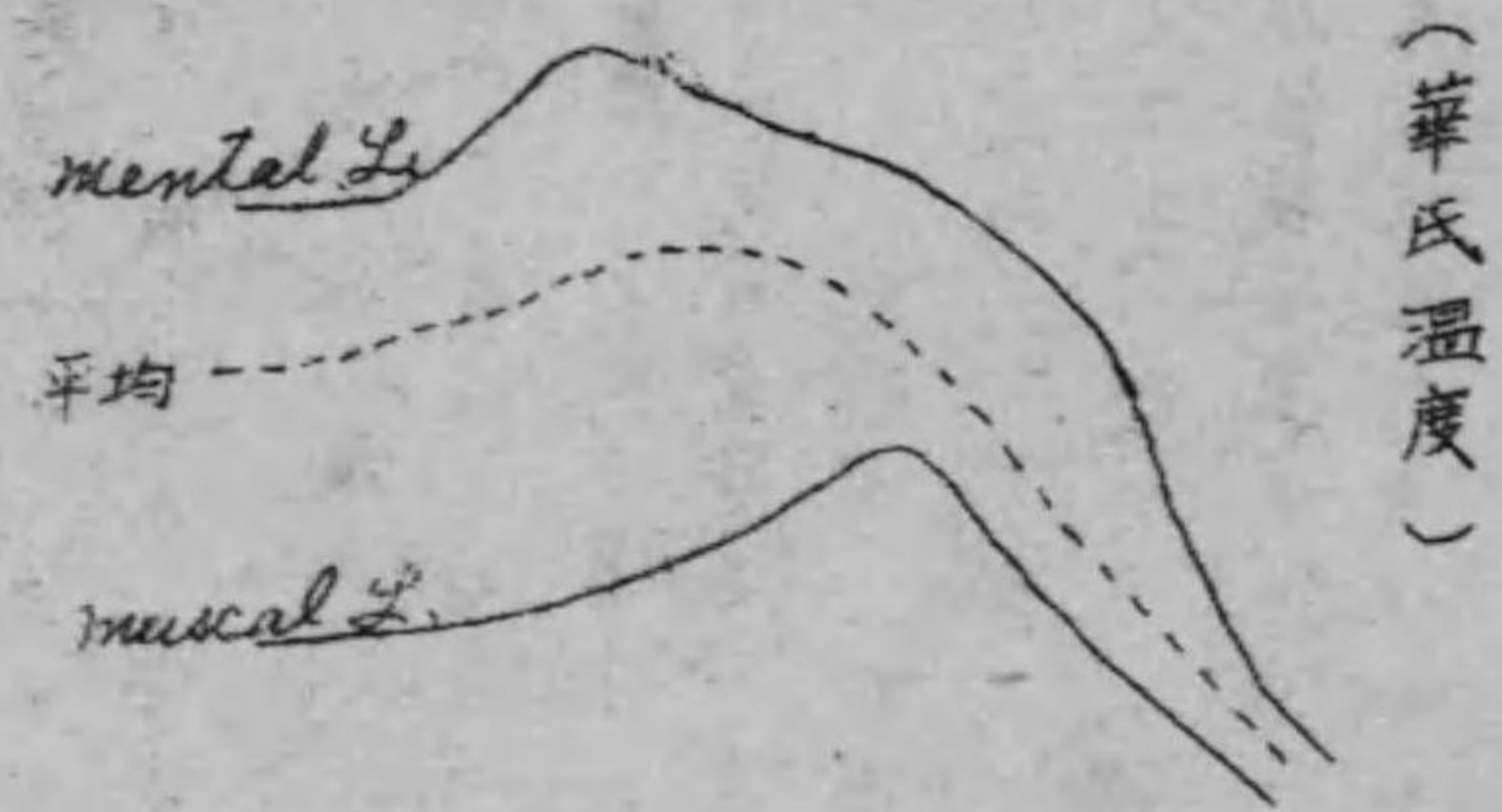
第一章 自然ト經濟トノ關係

▽氣象、氣候ハ決シテ世界中全一ナラズ、熱、温、寒ノ三帯アリ、又之等
 三帯ノ内ニ於テモ水陸ノ分布一様ナラサルカ爲メ又平原、山脈ノ位置ノ因
 係、即チ地形ノ不統一ノ爲ニ其処ニ特別ナル氣候区 (*climates regions*
etc) フツクル
 今先ツ氣候ノ事ニ入ル前ニ氣象ノ簡單ナル現象ニツキテ觀察ヲ下シ見シ、
 氣象現象ノ中ニ於テ最モ我々ニ *familiar* ナルハ温度ナリ、太陽ノ光

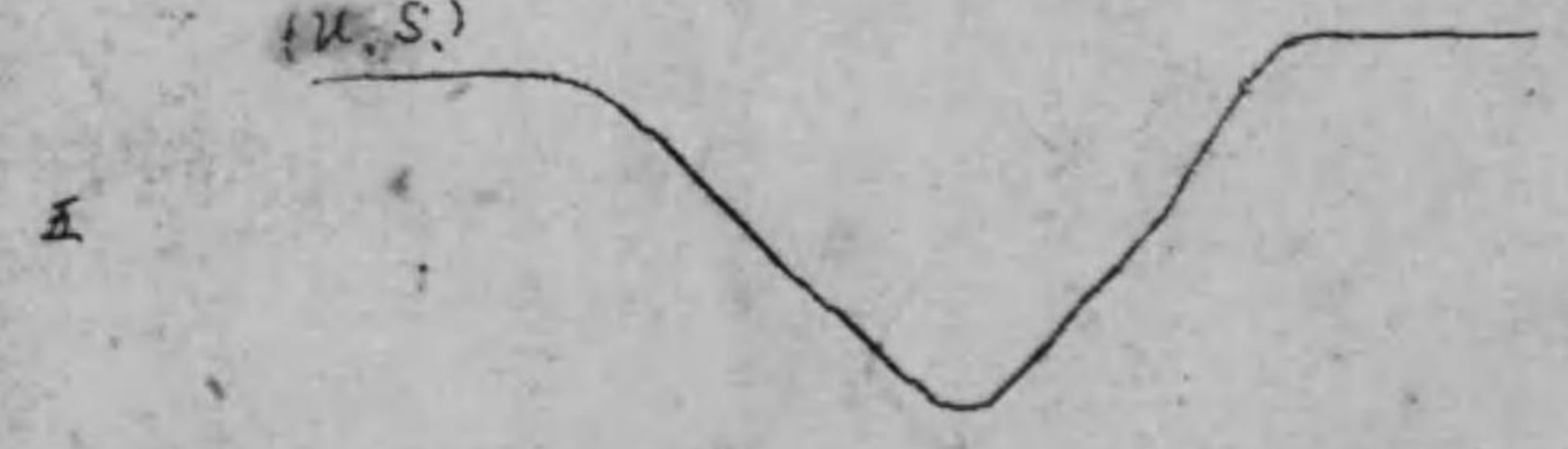
(月)
 [II] 十 十一 十二 一 二 三 四 五 六 七 八 九
 (U.S.)



[III]
 10 20 30 40 50 60 70 80

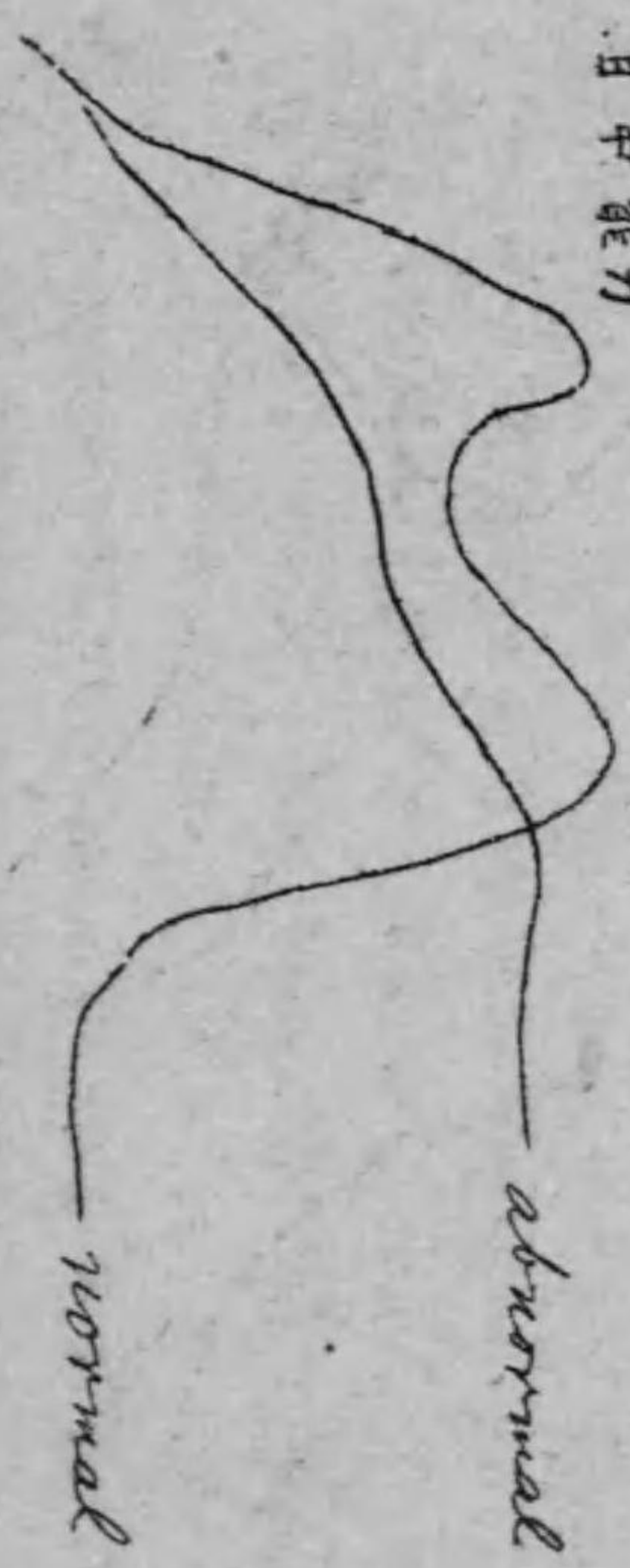


[IV] (月)
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
 (U.S.)



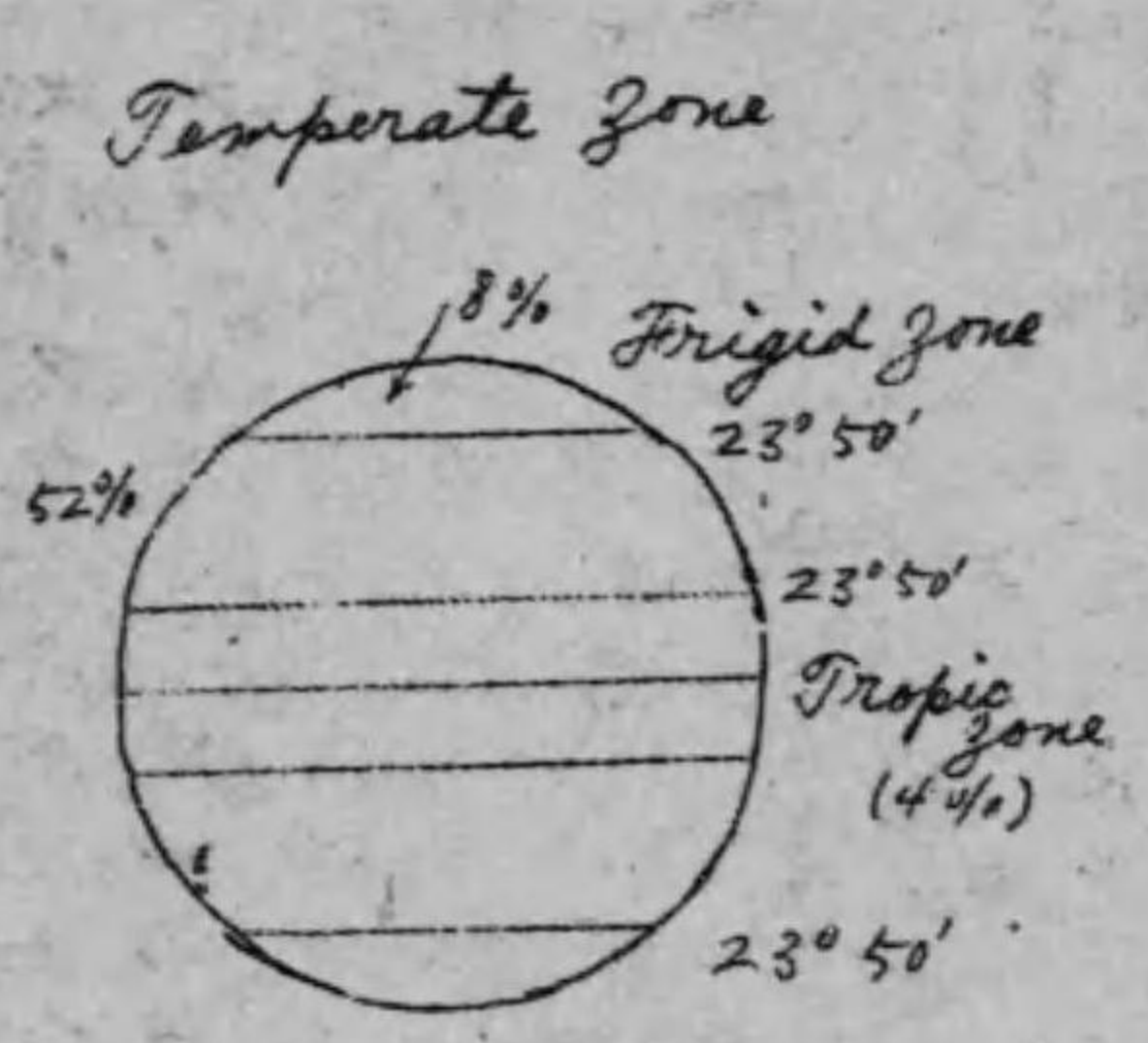
能力 / 増減表 (平均)

(普通人ノ一日中ニ於ケル頭脳能率表)



[I] 諸
 日 廿 能力
 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

ト熱下ニヨツテ吾人ハ多大ノ恩恵ヲウケツ、アリ、一日廿四時間中ニ様々ノ温度ノ変化アリ、通常昼働キ夜ハ寝ヌルモノナリ。



産物多キ故住民多数アリ、印度河、「ガンヂス」間ニ於テモ一億七十四萬ノ
 住民アリ、又亞細亞、「シベリヤ」、東北 (Zone, 流域 Verkhoyansk)
 = 都会アリ、
 寒、暖、温ノ三帯ノ語ハ何ヲ標準トナスカ、左図ノ限界ハ余リ機械的ニ
 シテ適當ナラス、

赤道直下ノ「スマトラ」
 「ボルネオ」ヨリ
 「Pangloss」地方ナドノ方暑シ、又寒帯ヨリモ
 「バイカル」湖畔 (168°C) ノ方寒冷ナリ、コ
 ハ水陸分布ノ不規則、地形ノ不整一ガ大ナル
 原因ヲナス、太陽熱ノ吸收、放射ハ水面ヨリ
 陸地ノ方強シ、
 我々ノ計ル温度ハ気温ナリ、コノ気温地形ニ
 依リテ異ナル、大陸的气候、大洋性氣候ナド
 アリ、
 Gulf stream, Florida current.

[IV][III][II]
 米因筋肉労働者及ヒ士官学校生徒ノ一年各期ニ於ケル能率
 温度対筋肉及ヒ精神の労働者ノ能率表
 米国人一年各月ニ於ケル能力増減表 (平均)
 扱陸地ノ面積ノ上ヨリ云ハハ温帯ニ属スル処最モ多ク、人類モ最モ多ク
 生存ス、温、寒、熱三帯ノ住居ニ適、不適ヲ考フル時ハ二帯共ニ同シク住
 ヒ得ル処ナルヲ知ル、アル種族ハ如何ナル土地ニモ住ヒ得レ共、他ノ種族
 ハ氣候ノ suitability ガ鋭敏ナリ、支那人ノ如キハ何処ノ土地ニモ住
 戸外ノ労働ヲモ為シ得ル、又アル地方ニ於テハ (印度支那ノ米作或ハゴム
 製造) ソノ地土着ノ人々ヨリ却テ生産ヲ多クナス、邦人、政洲人ハコノ具
 ニ於テハ到底支那人ニ及ハス、又一方支那人ノ如キハ「シベリヤ」ノ如キ
 寒帯ニモ良ク堪ヘ得、
 斯ノ如ク人類ハ民族ニヨリ寒、温、熱ノ三帯ニヨリ住ノ適、不適ハアレ
 トモ人類ノ住居ハ何処ニ於テモアルナリ、印度、「マレイ」地方ニ於テハ華氏
 百二十度 (日本温泉位ノ熱度) 位ニテ窓ヲシメテ生活ス、サレド一方又生

graph.

Fabrador stream 等ノ影響ヲウケソノ附近ノ沿岸ノ陸地ニ変化ヲ及
ホス、試ニニ大西洋ニ於テ之ヲ見ヨ。

北米ノ南ヨリ北極海ニ入ル *gulf* ノ沿岸ヲ暖クス、天津、浦塩、冬季
凍結スルモ「スカンデナビヤ」ノ沿岸ニ於テハ凍ル者ナシ、又政大陸ノ南ケ
タ国々ハ「ロンドン」 「パリ」 「ベルリン」 等ハ皆北緯五〇度位ナリ。
日本ニアリテハ樺太、千島アタリナリ。

政大陸ガ *gulf stream* ノ影響ヲ受ケル事ハ北米「ラブラドル」地方、
Banan Land = 見ルモ明カナリ、又土地ノ高低ノ影響ヲ気温カ受ケテ
ルモ明カナリ。

今日ハ三帯ノ區別ヲナスニ等温線ヲ用ヒテ之ヲナセトモ一年ノ平均温度
二十度（赤道ノ東下ノ熱帯地方ハ第一太陽熱高シ故ニ）ニコ、ニ生活スル
モノハ雨量多キモノハ非常ナル天恵ニ富ミ、天然物ニ富ミ *Primitive*
ナル土人ハ甚タシク劣セシテ食ヲ得ル、衣服ハ少シニテ足ル故自ラ

lazy ナナル、又カ、暑熱地ニアルモノハ成熟期早シ、且之等ノ地方
ハ我ニハ利益ヲ興ヘサルカ、吾生産物多量故之ヲ巧ニ利用スル時ハ世界的

産物ヲ多量ニ造リ出シ得、過去數世紀、否僅カ一世紀間ニ急速ナル栽培行
ハレ棉、砂糖ノ産額ハ多量ニナレリ、平原地方ハ酷熱ナレトモ高地ニ於テ
ハ温暖ナル処アリ、*Mexico Indian* ノ西北ノ丘陵地ニ於ケル小麦
栽培ハ *export* スルモノ余カモアリ

斯ノ如ク一般人民ハ *lazy* ナレトモソノ気候ニ適態シ得ル限リ文化進
ミタル人種移住シ經營者トナリ居レリ、英カ印度大 *dependency* ヲ統率
スル等注意スヘシ、平常ハ *steel* = 政府アレ共夏期ニハ *Simula; bars*
yielding 等ニ政府、商人諸共移住ムナリ、米ノ *manilla* 政府ハ夏期
Baguis = 移ル、熱帯地方ノ利用ヲナス事ハ注意スヘキナリ。

温帯ニアリテハ生活愉快ニシテ土地広ク、生産物モ多ク、今日世界住民
ノ大部分カコ、ニ生活スルナリ。

寒帯ノ生活ハ不便ナレ共温度低クケレハトテ之レニ *adapt* スレハ愉
快ニ生活シ得ルナリ、サレド太陽熱ヲ受クルコト尠キ故、植物少クシテ目
的物トシテ生活スル生物ニハ勿論温帯ニ於ケル生活ヨリハ劣ル、サレド特
殊ナル産物モアリ（後ニ説ク）

温度ニ影響ヲ與フルモノニ今一ツ種々ノ瓦斯体ナルモノアリ。

我々日常経験スル処ナレ共曇リタル晩ト晴レタル晩トデハ温度異ナルコハ曇天ニアリテハ太陽ヨリ吸收シタル熱ノ放射ヲ妨ケツ、アルナリ。我々ノ感スル熱ハ太陽ノ熱線カ地中ニ吸收セラレソノ蒸氣ノ時ノ熱度ナリ、水蒸氣、炭酸瓦斯ハ温度ヲ維持ニ多大ノ影響アリ、即チ兩者共地中ヨリ、放射ノ熱ヲヨク保ツ、是レ都會ノ方田舎ナドヨリ氣候和ケル理由ナリ、

如斯ク、空氣、温度、湿度、種々ノモノニ影響サレ我々ノ生活ノ上ニマテ様々ノ影響ヲ及ホスナリ。

次ニ重要ナルモノハ濕氣ナリ、生物トシテ水ヲ要求セサルモノナシ、我々ノ身体ノ七〇%ハ水ナリト、故ニ水ナキ処ニハ生物ナシト云フ簡單ナル事ナリ。我々ノ水ハソノ源ヲ何処ニ乘スルカ泉ハ主ニ雨水ナレ共地中ヨリ天然的ニ湧出スルモノアレ共大部分ハ雨水ナリ、コノ雨水ハ地球上ヨリ蒸發シタル水分ガ凝結シタルモノナリ、コノ蒸發作用ハ至ル処ニ於テ行ハレル、而シテコノ水分ヲ受ケル量、「アジア」ニ於テハ東南部ニ於テハ雨量著シ

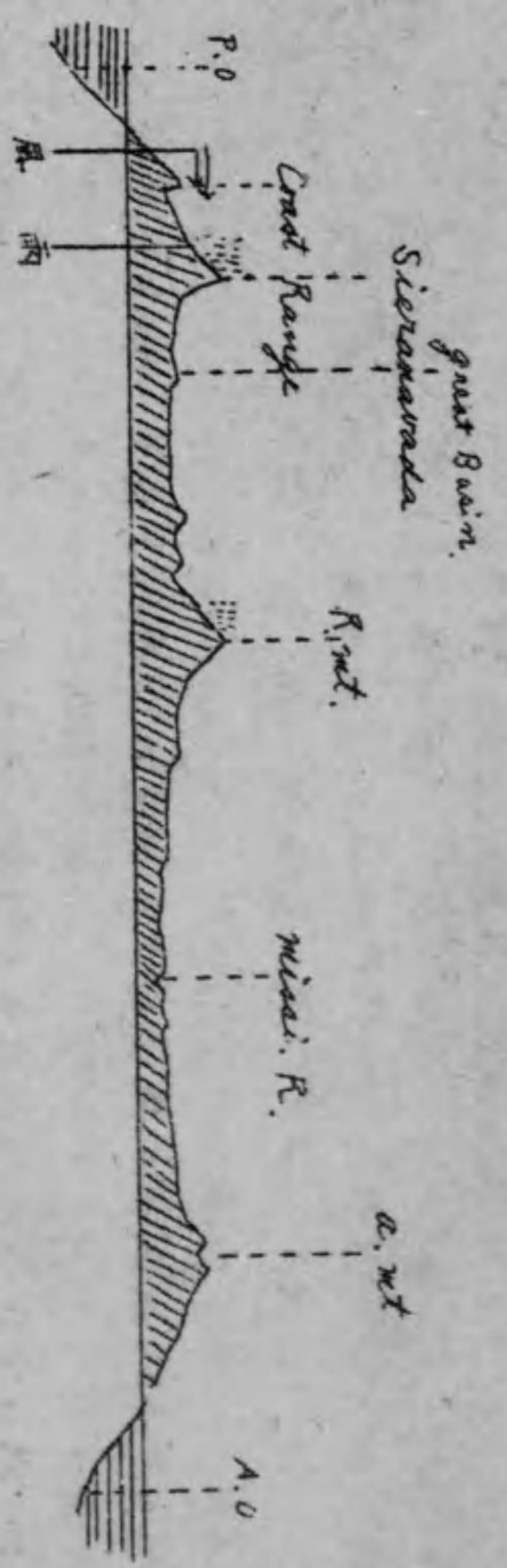
ク後ノ大部分ハ雨量少ク、北米ニ於テハ太平洋岸ノ方、大西洋岸ノ方ヨリ多キ事ナドノ如ク異ル、コレ又吾人ノ生活ニ影響ヲ及ホスナリ。

- 東京ハ平均ノ年 一五〇〇 耗ノ雨量アリ
- 一番多キ北海道 三〇〇〇
- 一番少キ北海道、朝 五〇〇 耗ノ雨量アリ

鮮咸鏡北道 日本ハ大部分、楊子江附近、印度支那、印度ノ大部分ト同シ位ノ雨量アリ、
「アジア」北部附近ハ咸鏡北道位ニシテ次第ニ蒙古地方ニ至ルニ及ヒテ益々少ク我々 $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{1}{3}$ ヨリ尚進メハ二〇〇 耗、一〇〇 耗ナドニナル、
コハ生活ノ糧タル水ニヨリテ影響サレルカ故ニ人民少ク樹木減リ、forestヨリ次第ニ粗林ニ成シ、草漸ク生スル処ニナル、更ニ草モ生ハ又荒地ハ
Desert)ニナル、

Forest → Steppes (草地) → Desert (荒地)
Desertトハ砂漠ニイラス、岩石、巨岩、丘陵ナドモアルナリ。

通常雨ノ少キ処ヲ *arid region* (climate) (寒雨地帯) ト云フ。
 コノ不毛ノ地。即チ *unproductive region* 地球ノ酷カラサル地域ヲ占
 ム。蒙古地方ニ於テハ農業行ハレス。新ク遊牧行ハレソレヨリ莫ハ *see* -
part 故駝ノ食スル物ナキニ至リ無人ノ境トナル。
 雨量ノ分布ハ人口分布ト比例ス。(印度東北、支那北南岸、日本、西歐
 等)
 米ノ産額モ雨量ト比例ス(西歐ハ例外)
 雨量カ産業上ニ(農産物)ニ影響スル莫ク「アジメ」大陸ニ依テ見。又、
 更ニ進ミテ吾人ハ米國ニ於テ之ヲ觀察セン
 北米ニ於テハ地形ニ支配サレ雨ノ分布。南北ニ數列ニ馳ル。地形トヨク
parallel ニナリ居レリ。
Washington ヨリ *Oregon River*、植物、繁茂、サレト
 a section of the north America.



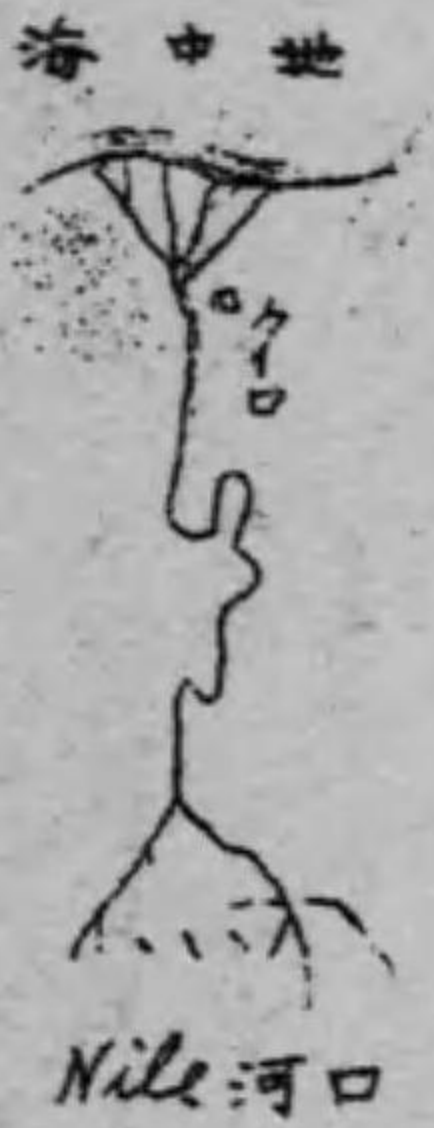
Sierra Nevada Mt. ノ東西ハ雨量少シ *Desert* ニナツテ居レリ。然
 シナガラ尚西風ノ為ニ山上ノ寒冷ナル知ニハ雨降り雷ニナリテ残ル。故ニ
great Basin ニ於テハ青々タル植物ハ見ル事能ハズ。サレド一方大
 西洋岸ハ又雨量多シ。 *Rock. + Apr. Mt.* 間ハ *great plain* ト称ス
 ル草原綿連ス。産業状態モ亦之ニヨリテ支配セラル。 *g. p.* ハ牧畜ニ適ス。
 コノ *W. S. A.* ノシナラス「カナダ」ヨリ続キ居リ *public land* トテ自
 由ナル牧畜場ナリ。

サテ然ラハ *Desart* 地方ハ産業ヲ見ルコト能ハサルカ、否山地ニ積ル雪ノ一部ハ常ニ春ケテ多少ノ水分ヲ山下ニ齎ラス、「アジア」ノ中央ニ *Gasim* (塔里木) 流レ *Sakmar* 湖ニ注クガ如キ露領 *Amur*、*Raria*、*Syr Daria* ナドモコノ例ナリ、
Amur Daria、*Syr Daria* 流域、



故ニコノ沿岸僅カノ如キ於テハ樹木生ハ *Gasim* 河沿岸ニハ樅(柳)ノ一種(一列ニ生ハ *Amur* 西河沿岸ニハ一列ニ人民住ス、*afica* 地方ノ砂漠ヲ流ル

ル河ハ内地深ク雨量多ク植物繁茂スル地方ヨリ流レ来リ、砂漠中ニ平地ヲ作り遂ニ *delta* ニナリテ注グ、「エジプト」*Cairst*、繁栄ノ如シ、文明人ノ度ニ從ヒコノ *Desart*、利用巧ミナリ、米人ノ如キヨク *farm* ヲ巧ミニコノ中ニ造リ居レリ、雨量ノ多少ト土地ノ關係ヲ前回ニ述ベタリ、



中央「アジア」支那新疆省天山南路モ亦 *Desart* ナリ、サレド天山ヨリ流レ来ル水ヲ利用シ天山麓ニ河ニ沿ヒテ村落多少存在ス、コノ辺ノ土人ノ水ノ珍重シ方非常ニシテ *Canal* ヲ作りテ水ヲ飲料トナシ、又田畑ニ之ヲ用ヒツ、アリ、

印度 *Himalaya Mts.*、如キハ又雨量多シ、サレド雨季、乾季、ニ季ナリ、*dry season* ニハ水缺乏スレ共「ヒマラヤ」ヨリノ水ニ他種ノ河以外ニ *Canal* ヲ造リ灌溉ニ便ニス、斯ノ人工ニヨリ天然ノ水ヲ利用シ不毛ノ地ヲ開墾スルナリ、

「アメリカ」ノ如キカタノ如キ事業大規模ニ行ハレ居レリ、北米 *Pacific side* ハ雨量多ケレ共「ロッキヤ」山脈ニ達スル区域ハ全ク *dry* ナク、然シテラコノ中ヲ *Rockys* ノ流ル、「コロラド」河ノ如キ水量多キ河ナリ、山ノ間ヲ喰ヒ入りテ流ルガ、ル地ニアリテハ高キ方面ヨリ運河ヲ作り *Reclamation* ヲナシテ水ヲ利用セリ、今日 *Reclamation act* 出来テヨリ約二十年此間ニ改良シア得タル地面甚ダ多シ、一年合計年度ニ於テ頃日ハ一二五〇〇万帯ノ經費ヲ投シテコノ事業ヲナシ居レ共ソノ結果

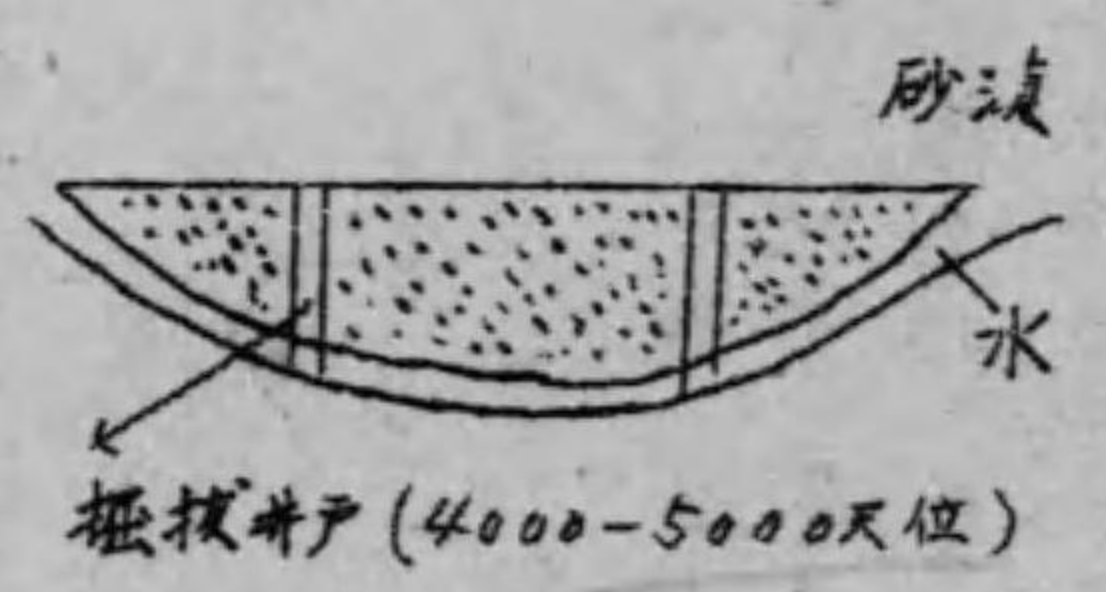
甚タ見ルヘッ一九二〇年ノ如キ一年ニ一五三〇〇万弗ノ收穫得ラレ。各地
 方不毛ノ地ノ利用ヲ盛ニナシツ、アリ。米国人ノ如キ勘定高キ人種ハ雨量
 ヲ金錢ニ見積リ居レリ。

米ニテ最モ農業發達セルハ「ミシシッピ」河沿岸ニシテ玉蜀黍ハ世界
 第一ノ産出地ナリ。毎年夏ノ雨量ノ僅少ノ差ニヨリテ收穫物ニ変化ヲ及ホ
 シ。夏季雨量三吋ヨリ四吋ヘ即七五〇粒——一〇〇〇粒ノ差ヨリ一億六
 千万弗ノ玉蜀黍余計ニ收穫サレ。之ニヨリコノ地方ノ雨量一吋一千万弗
 トイヒ、更ニ四吋ヨリ一吋増ストキハ更ニ七〇〇〇萬弗マシ。又三吋ヨリ
 一吋減スル時ハニ億五〇〇〇万弗減ス、又小支ニツキテ見ルニ合衆國小麥
 生産地合計一吋ノ雨量増加ニヨリ一五〇〇万弗ノ增收アリ。景氣ヨキ時ハ
 二五〇〇万弗ニナル。雨量ノ多少ト收穫物ノ多少トハ吾人日常経験スル所
 ナレ共斯ク顯著ナル例ヲ今見ルナリ。

コノ Reclamation 二就テハ更ニ地下水ノ利用ヲ各所ヲツトメ居レリ。
 「アフリカ」 「サハラ」 砂漠ハ仏國之ニ大ニ頭ヲ悩シ居レリ。テ近來次第
 ニコノ地下水ノ利用ニ着眼シ「アルゼリヤ」地方ノ内地ニ入レル所ニ於テ

ハ近來諸所ニ村落發達シ出シタリ。之掘抜井戸ヲツクリ之ヲ利用シ初メタ
 ルナリ。

「オーストラリア」ニ對シテハ之ヲヨリ大規模ニナシヨレリ。左圖ノ如ク
 水層ニマデ掘抜井戸トナスナリ。



新ノ如ク *Civilized nation* ノ住スル地方ニアリ
 テハ能ク自然ヲ利用シ居ルナリ。尚自然ノ氣候ノ上ニ
 現ハレ来ル現象ノ中ニ更ニ氣圧ナリ。氣圧ノ直接ノ影
 響ハサシテ大ナラスト虽モ之ニヨル風ノ影響又吾人ノ
 上ニ大關係ヲ有ス。

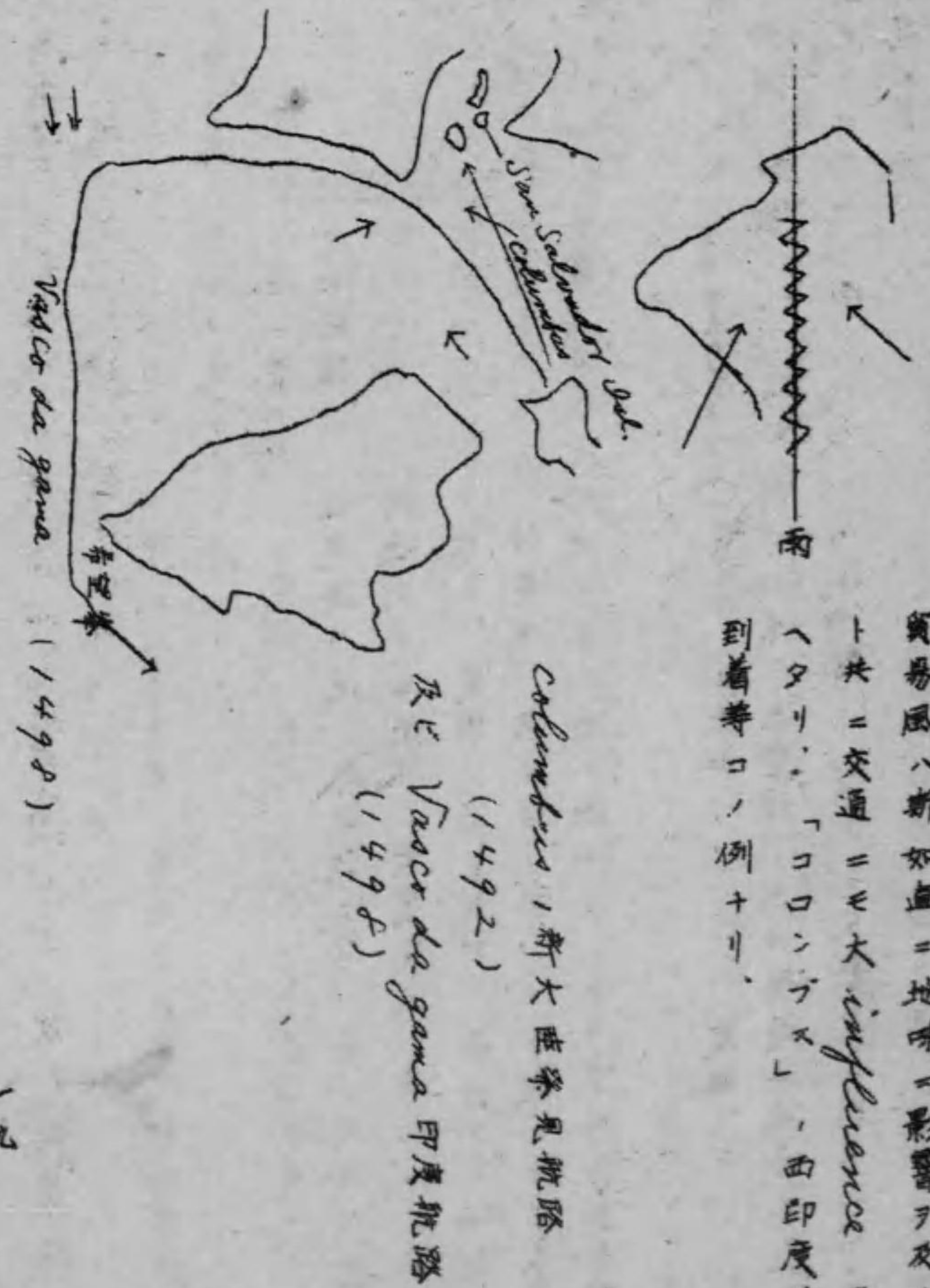
△氣圧、風ト氣候。水陸分布ニ依ラサル力為ニ風ノ
 変化モ亦枚々ナリ斷ニス吹ク風ニ貿易風 (*Trade Winds*)
 又ハ季節風 (*Monsoon*) アリ。
 前者ハ産業上、交通上ニ与フル *influence* 大ナリ。
 コハ赤道ノ兩股ニ於テ約——二十度位ノ如ニ於テ左圖
 ノ如ク吹キ赤道無風帯 (*Calms*) ヲ生ス。コハ大洋洋

上、大高原地方ニ於テ正シク吹ク、即チ北半球ニ於テハ東西、南半球ニ於テハ東南ノ風吹キ *Calicut* ヲ赤道ニ生ヌルナリ



今太平洋ノ奥中ニ於テ簡單ニ考フルニコハ低緯度（涼地）ノ地方ヨリ高緯度ノ地方（暑地）ニ吹ク、暑キ地方ニテハ空氣中ニ水分ヲ含ム事多シ、故ニコノ風ハ風下ノ方ニ行ケハ行ク程水蒸氣ヲ含ム *capacity* 多シ、故ニ水分ヲモチテ赤道附近マテ持チ来ル、カリキ「アフリカ」地方ヲ考フルニ東北ノ風吹ク沙漠地方ニハ *Desert* ニナリ、南阿地方モ同シ、サレドコノ南北ノ風衝突地、赤道直下附近ニ雨ヲ降ラス、故ニ「アフリカ」テモ赤道直下ニナルト雨ヨク降ル故森林繁茂シ河ニモ水量多ニ黑人ノ人口密度モ亦最モ多シ。

貿易風ハ新如道ニ地味ニ影響ヲ及ボス
ト共ニ交通ニモ大 *influence* ヲ與ヘタリ、「コロンブス」、西印度諸島到着等コノ例ナリ。

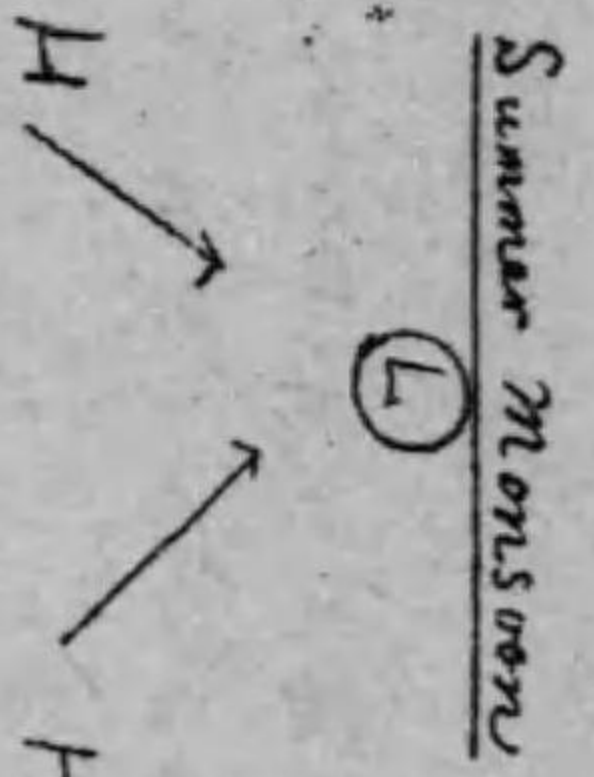


Monsoon ハアル大陸ト海ト接スル地方ニ起リ「アジア」大陸、「オーストラリア」地方ニヨク起リ季節ニヨリテ吹ク風ナリ。
 「アジア」ハ「シベリヤ」ノ東北ハ冬季寒ク高気圧生ジ、太平洋方面
 気圧低ク風ハ高压ヨリ低圧ニ流ル、ナリ、

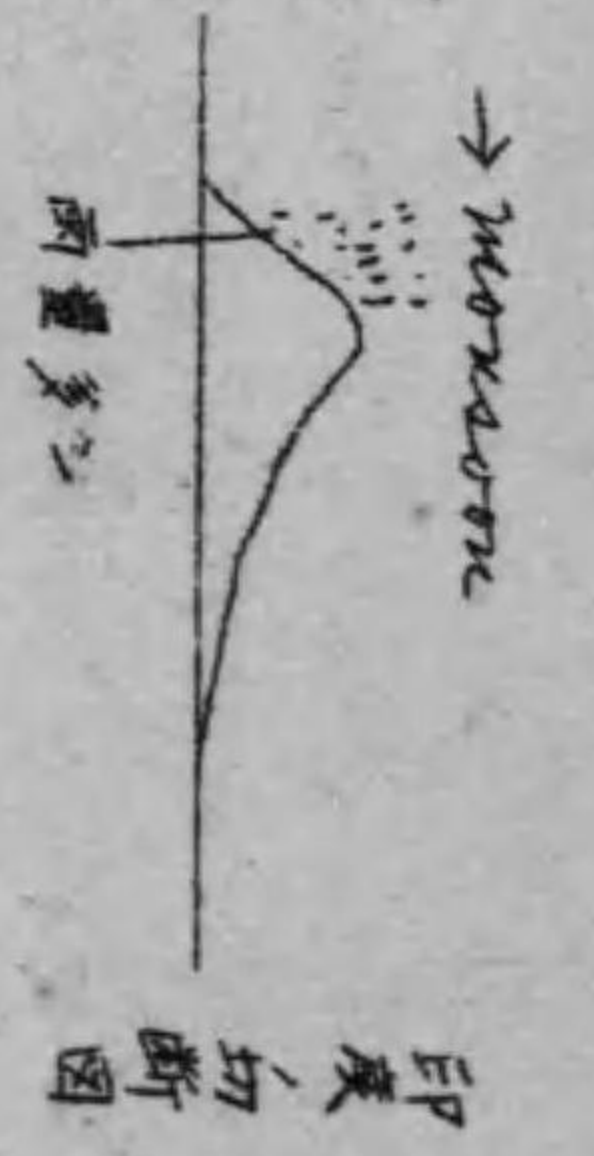


Winter Monsoon

日本ニ於テ見ルニ氣圧ノ差「アジア」ト甚シク異ナルガ故ニ西風強ク、日本海ヲ通ル故濕氣ヲ帯ビ居レ共滿洲、蒙古地方ニアリテハ乾燥シタル風故、黃塵、黄土ハ日本、九州、四国地方ニマア来ル。夏期ハコノ反対ノ風吹ケ共冬季ハ差程着シカラス。印度洋、太平洋ノ風ハヨク暖メラレ水分ヲ多量ニ含ム故内地ニヨク雨ヲ降ラス（上圖及ビ次頁圖参照）
 Monsoon Region 東部「アジア」、東南「アジア」、南部「アジア」地方ハ米ノ生産地、人口密度世界第一位「アジア」ノ栄ヘアル地方ナルナリ。



Summer Monsoon



ヒンダヤ附近1000m以上ノ Monsoon Region.

「オーストラリア」大陸ニ於テモカク、如キ現象多少行ハレツ、アリ、之等ハ風ノ為ニ起ル現象ニシテ Monsoon Region トハ一ノ氣候区ニシテ climate zone ノ内ノ特殊ナル climate province ナリ。
 地中海沿岸ハ夏雨多ク、他ノ地方ヨリ暖ク、冬季シク雨多ク降ル。之レ Mediterranean climate フナシ。葡萄、諸種ノ果物ノ生長ニ適セリ
 殊ニ Olive ノ如キハ、コノ沿岸到ル所ニ見ラル

如斯 climate province ハ様々ニ分レ、ソレカ夫産物ノ production ニ向ヒ大ナル influence フ與ヘタリ。
 △温度ト産業ト關係。温度ノ分布、ソノ他ニ制セラレ農業カ先ツ地球上如何

ナル地方ニヨク行ハル、カト云フヲ見ルニ *desert* = 生セサルコト勿論ナリ、サレド之ト別ノ *desert* ナリ、ソハ *see desert* = シテ高緯度ノ地方ニアリテハ氷地ノ地方ニ於ケル岩平原ノ如キモノヲ造リ居ルナリ、カカル *see desert* 地方ノ大部分ヲ占メ、南極洲ナル大陸を見セラレツ、アリ、之等ノ地方モ亦不生産地ナリ、然ラハ農業ハ地球上幾許位ノ如ニ行ハル、カ、先ツ最も平面的ニ見ルト歐洲北緯七十五度位農業行ハレ、ソレヨリ内地ニ入ルニ從ヒ六十五度——六十六度ニ降り「ウラル」山地方ニ於テハ六十一度、之レヨリ「シベリア」内地ハ六十度——六十一度、六十二度、之ヨリ「アジア」ノ海岸地方ニ至ルト次第ニ下リ、黒龍江附近ニ至リ、樺太日本領アタリガ漸ク農業ノ *limit* ナリ、「カムチヤツカ」ノ南岸ヲ僅ニカスム。

「アメリカ」ニ於テハモ少シ下リ、「アラスカ」ノ海岸ノ *Sitka* (政治) 上ノ首府) 五十六度、之ヨリ次第ニ内地ニ入ルニ從ヒ下リ *St. Louis - Venice* 河口北緯五十度辺カ *limit* ナリ、コノ矣ニ於テ北米ハ農地ニシ。

如斯北半球ニ於テハ北緯五の度ニテ農業絶エ、南半球ニ於テハヨリ之シテ、スヘテ陸地南ニ抜カラス、南米ノ農ノ *limit* ハ太平洋側ニ於テハ四〇度、大西洋側四五度位、牧畜ノ方近ス、然ラハ是等ノ線以外ノ地ハ不生産地ナリ、*「シベリア」* 地方ノ森林 (*Taiga*) 帯ニ僅少ナル唐松、エゾ松等) *Tundra* (凍地)、米田、北ノ *Baiver Land* カナリ広シ、勿論穀物ハ之等ノ地方ニハ生セズ、然ラハ *absolute zone* ナリ、ト云フニ然ラス。

即チ動物性ノモノ、狩獵——冬季ニ於テ宜シ、冬季ハ獸ノ毛皮宜シ、又至ル所氷ヲル故縦横ニ馳驅出来ル、故ニ冬ヲ稼キ時トナス、又象ノ骨、即 *ivory* シタ象ノ骨、牙ナドヲ拾フナリ、「シベリア」主要輸出品ノ一ナリ、「ベトログロード」ナドニテ細エシ各地ニ出ル、「アラスカ」ノ毛皮等モ見ルヘキモノナリ、況ヤ他ノ地方ニ於テハ氷中ニアラス、地中ヨリ鉱物ノ出ル地方アリ、カノ *Spiritbergen*、如キ近時着シア各因ノ注意シハシメタリ、サレド最モ健全ナル農業ヲ至トスル地ハ余リ散布セス、割合ニ世界ノウチデ利用シ得ル土地限ラルハ左ノ世界土地状況比例表参照)

1,000 square units)

	森林	耕地	草地	荒地	合計	
	%	%	%	%	%	
Asia	13	9	92	13.0	44.2	
Europe	3	44	0.6	2.	10.	
Africa	9	53	7.3	7.	29.8	
Australia	1.3	1	3.4	3.3	9.	
North Ame.	9	35	4	7.5	24	
S.	8	38	4	2.	17.8	
Polar land	-	-	-	13.6	13.6	
	43.3	27.0	29.7	48.4	148.4	
	%	29	18.	20.	33.	100%

(現在ニ於ケル状態)

之等氣候、天氣ガ適當ニ生産界ニ思慮ヲ興ヘラルル地方ニアリテモ氣候不
 順ノ為 *accidental* デアルガ生産界ニ不幸ナル影響ヲ及ホス事モアリ、

即チ豊凶ノアル所以ナリ、凶作ヨリ延キテ饑饉ナトハ如何ナル場合ニ起ル
 カ。

霖雨即チ其ノ一ナリ、雨ノ降り方過度ニシテ雨長ク続キノ為ニ和ゲル
 ヲキ土流サレ、種々テ種子流サレ、或ハ腐敗スルニ至ル、殊ニ丘陵地等ニ
 アリテハ特ニコノ損害ヲ受ケ易シ、又收穫ナサ、ル中霖雨ノ為ニクサラシ
 洪水ノ為ニ田圃ヲクサラス事ナドモ稀ナラズ、

尚又霜 (*Frost*) ノ害甚カラズ、温帯地方ニ於テヨク見ラル、現象ニシ
 テ日本ナドニテハ殊ニ柔 (日本第一輸出品生糸ニ影響ヲ及ホス) ナドハ日
 本ノ東部即チ *mountain land* 故コノ影響甚カラズ、又歐洲ニ於テハ
 穀物、殊ニ *Vine yard* 延キテ *vine* ノ産額ニ影響シ *olive* 油ヲツク
 ル *olive* ノ生産ニ影響ス、

又雹ハ罕ク寒キトキヨリモ夏或ハ秋ナドニヨク起リ、*Storm* 起ルトキ
 空氣中ノ水気高所ニ凝結シ一旦降り、又上昇シア氷リ、次第ニ大キクナリ
 遂ニ下ニ落ナレ、故ニ必スシモ寒氣ノ時ノミナラス夏秋ナドニ *Storm*
 ニ伴ヒテ下ル、之ニヨリテ作物ニ及クル損害多シ、凶作ヲ起ス、コノ不時

ノ災害ヲ免ル、タメニ政洲ニ於テハソレニ保險ヲ附シ居ル位ナリ、
又暴風雨ノ為ニ作物痛メラレ、コト甚シトセス、日本ノ二百十日ナドハ
其ノ例ナリ、

サレド最モ甚シキハ旱魃ナリ、コハ日本ナドニテモ屢々見ル処ナレ共殊
ニ熱帯地方ニアツテコノ現象著シ、コノ前例ヲ見ルニ一〇六〇年「アフリ
カ」「ナイル」下流ニ起レル旱魃ハ七年間モ続キ「ナイル」ノ水止リソノ
沿岸ニアルニツノ Province 全ク住民ヲ失ヘル現象アリキ、又印度ニア
リテハ dry, rainy, 二季アリ、雨季雨少キ時ハ dry season 直
ニ来ル故如何トモ致シ方ナク旱魃未ルナリ、印度 1000, 目時分ニ起レ
ル(一八九九—一九九〇)、印度ノ旱魃ハ約七〇萬人コノ旱ニ会ヒ農作物
ニ災ヒシ影響ハ勿論、殊ニ悪疫生シ虎列拉起リ約一〇〇万人ヲ失ヒ一四
〇〇〇万田ニ上ル程ノ損害ヲ受ケタリ、

コノ救済方法トシテハ天水ヲ各地ニ普及セシムル事ニシテコハ五〇〇〇
年末ノ向懸ナリ、印度ノ土人モ之等ニハスシク注意シタルガ良好ナル成績
ハ攀ラズ、現今印度政府ハ運河貯水池ヲ設ケテ水利ヲ計畫シ總督府ノ特別

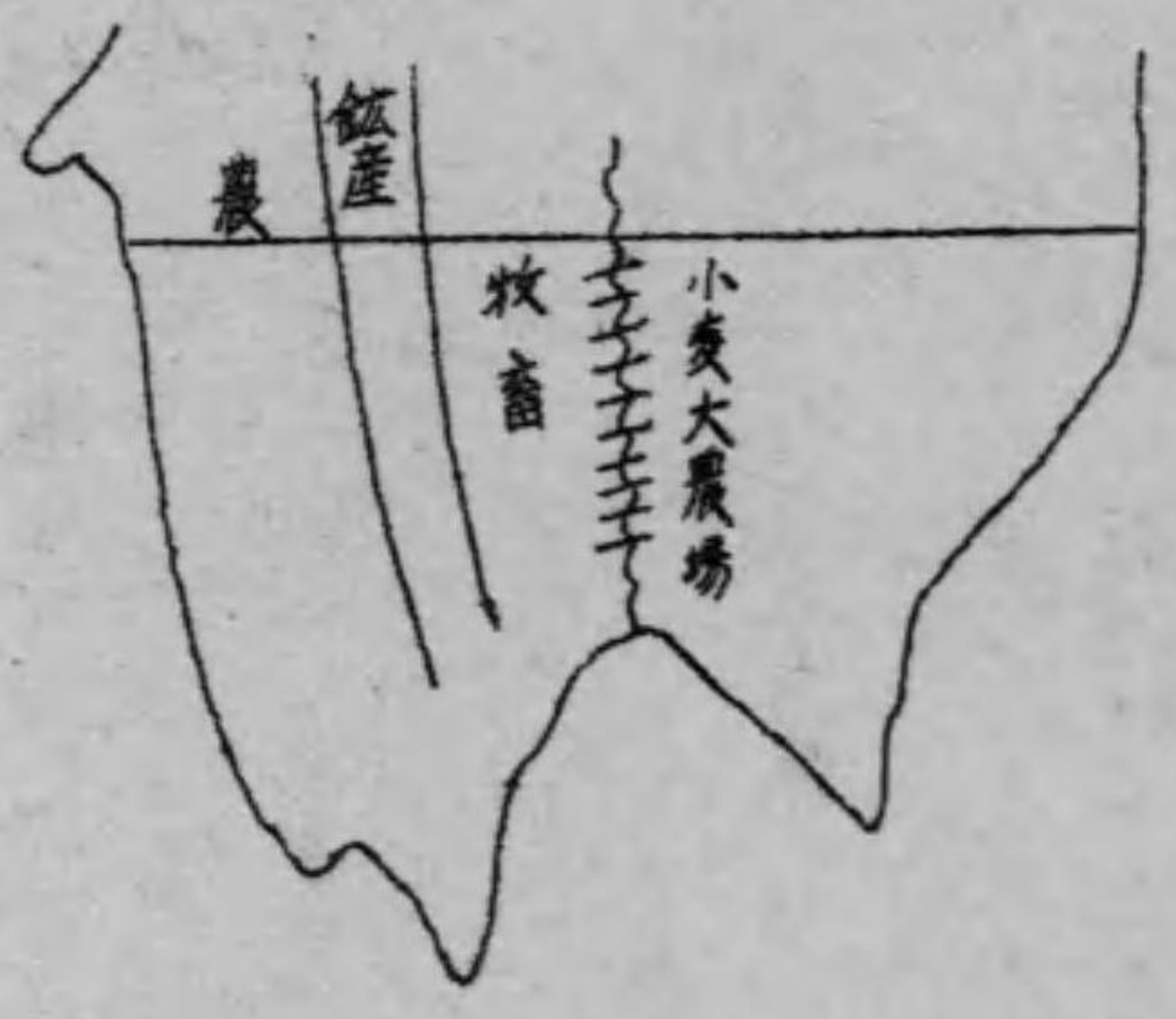
會計トナリ居レリ、現今ソレガ為ニ投セル金額既ニ四〇億ニ達ス、之カ為
ニ鐵道モ直截的ニ救ハレツ、アルナリ、コレガ解決前ニハ印度政府ハ金ヲ
カメテコノ方面ニ向ケ居タリシガ今ハソノ金額ヲ更ニ他ニ轉セシメ得ル程
ナリ、

又比較的輕微ナレ共俗ニ云フ微弱ナル氣候不順ニテモ之ガ不調和綜合ス
ルトヤハ惡結果ヲ及ホス、近クハ彼ノ明治三十八年ノ東北地方ノ凶作ノ如
シ、コヲ見ン、

先ス空氣溫度ニ就キテハ太陽熱ハ溫度次第ニ昇ル事ハ一般ニ化學作用ヲ
タカメ固形物ノ液体化シ易クナル、溫度ノ供給少キトキハ非常ニ成長ニ影
響ス、又次ア愈々成長期ニアリテハ食物ヲ多量ニ要ス、作物ニトリテモ
養分ヲ要スル事多シ、即チ日光ハ植物ノ中ニ於ケル同化作用ニトリテ大ニ
影響アリ、之ヲ作ス事著シ、ソノ身体ヲ頑丈ニス、稻ノ如キ方法ヨク整ヒタ
ル時日照ヲサレハ成長ヲ妨ゲ突ラス、八月八日ノ照リツケル事必要ナリ、
ソノ時ヨリ並次第ニ頑丈ニナルナリ、之カ期間風雨時ヲ得テヨク調和シ行
ケハヨク豊年ニナリ凶作ハ是時ヲ得サルガタメナリ、尚是等ノ為ニ起ルモ

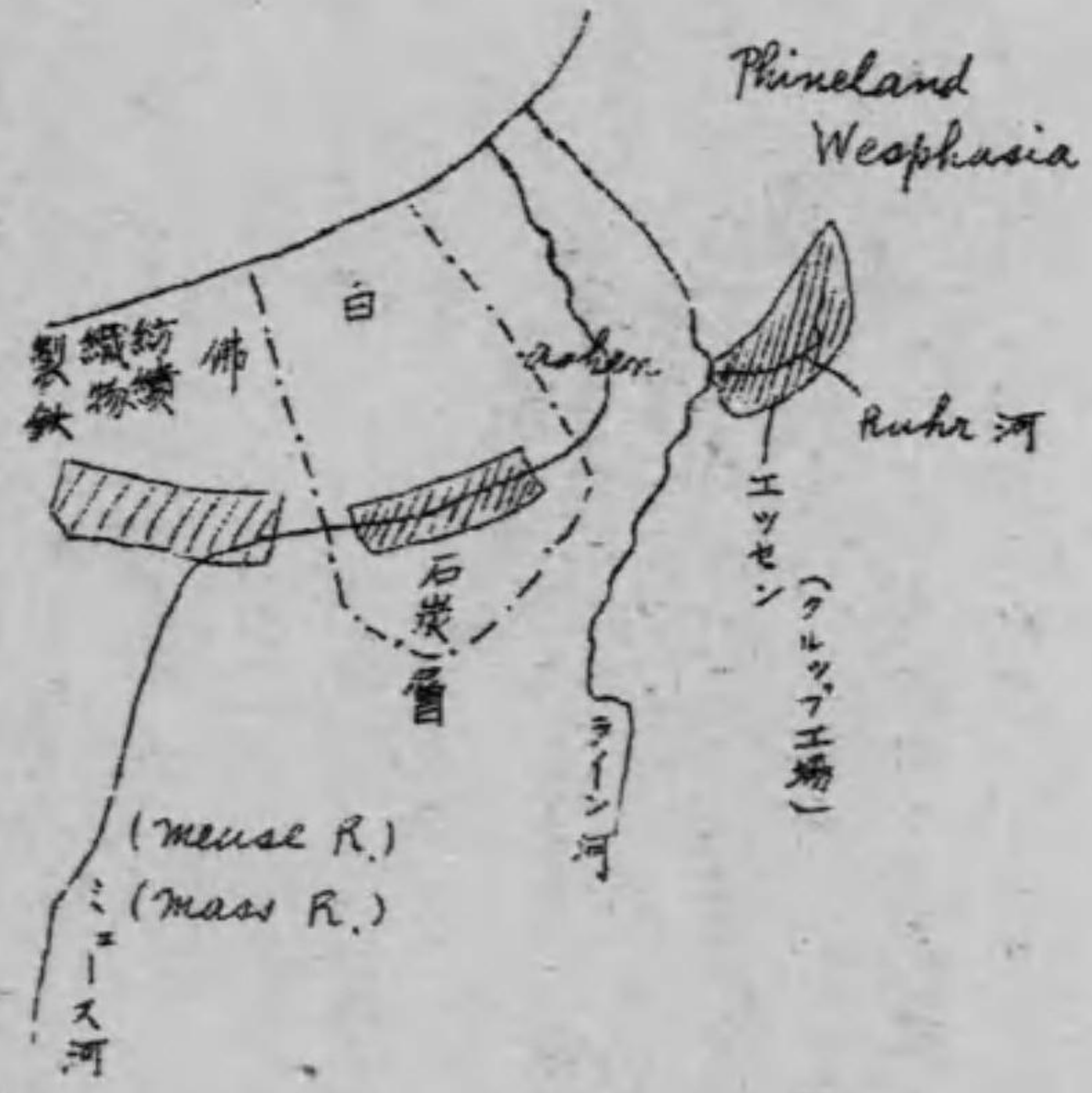
ノ、外豊山ノ原因トナルモノニハ種々ナル現象アリ、
 即チ、いなむじ、うんか華ノ害蟲ノ損害、ぶろきせらニヨル政 wine yard
 ノ損害、「オーストラリア」ノ兎ノ害、等即チコノ例ナリ、
 又人間ノナス害、戦場地ノ荒廢、生産ニ從事スル人間ヲヘラシ生産額ヲ
 ソグ、又農業ノ進歩、退歩ニヨル損害尠カラズ、「メソポタミア」地方古
 代「アッシリヤ」時代ノ盛觀ナクナレリ、コハ太古土耳其人、「アラビヤ」
 人等移住ノ民生産ヲ急リタルガ為メナリ、又交通機關不發達ノ為ニヨル生
 産ノ不振等アリ、
 穀物生産サレテモ之ガ濫用、不当使用、為ニ不利ナル立場ニアル事多シ、
 氣象、天候ノ觀測ニヨリ氣候ノ変化ニヨル影響ヲ予防スル様ニナリ又河
 水ヲ研究シ居レリ、
 △經濟區域。次ニ經濟區域 (Economic province) ニツキテ一言セン、
 economic province トハ要スルニ或ル一地方ガ同一ノ經濟狀態ニア
 ル知ヲ總稱シテカク云フ、ソノ内ニハ或ハ生産ノ上ヨリ見タルモノ、商業
 上其ノ他ノ種々ノ立場ヨリ作ラレタル區域アリ、

生産的ニ作ラレタル Economic province トハ余程自然ノ形勢ニ影響
 セラレ居ル、之ヲ寧ク例ニトランニ前述ノ monsoon region, asia
 ノ季候風帯ハ農産物豊富ニ殊ニ米ノ産額多クコハ支那、印度、日本ナドノ
 政治區域トハ全然區別セラレ monsoon region ナル一地方ヲ作り居ル
 ナリ、



又「アメリカ」ニ於テモ monsoon re-
 gion ツクラル、米國ハ前述ノ如クスハチ
 縦ニ連ル地勢ニシテ雨量モ之ニ影響セラレ
 ツ、アリ、北米ニ於ケル political 區域
 ハ中央ニ横ナレ共作物ハ凡テ縦ニ連ナル、
 コハ四ノ國トノ間ニ於テノシナラス、各一
 国内ニ於テモコノ economic province
 ナリ、又一人地上ニ於ケル産物ノシナラス
 地中ニ於ケル産物ニ就キテモコノ例ヲ見ル、
 左図ハ白、仏、独地方ノ炭田地分布ヲ示シ

我同鐵道時代ニアリテハ物資相通スルハ国内ノミニ限ラレシガ外國ト接シ、交通開クルニ及ビ經濟區域モ拓マレリ。



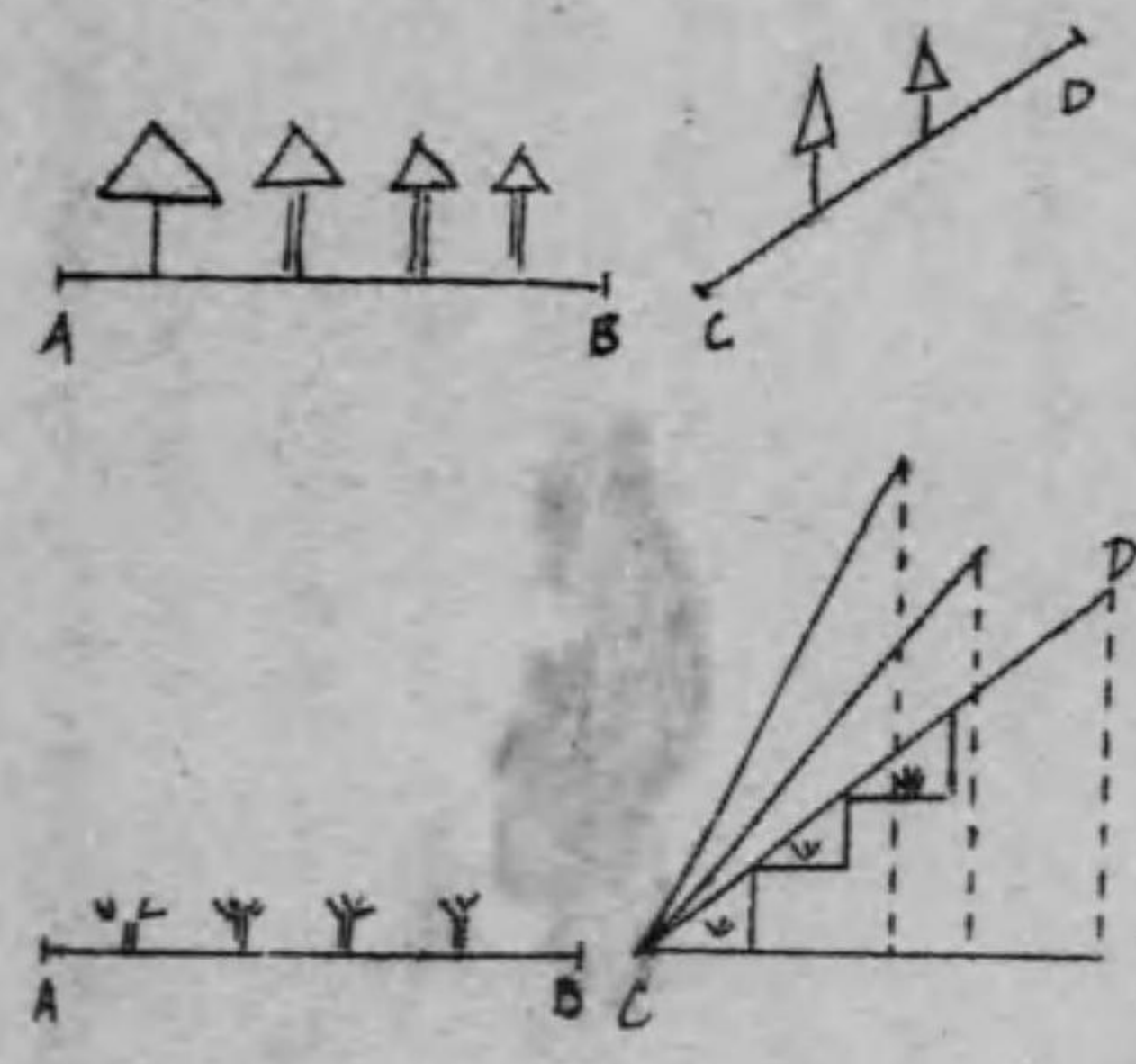
工業ノ發達ヲ語ル、コレ西歐ニ於ケル一大工業地域ハ、コノ地方ニアルトコトヲ示ス、
 白耳義ニツキテ更ニ見ルニ Meuse 沿岸ニハ石炭層アリテ製鐵業盛ニ、ソハ更ニ近ヒテ汝 Aachen = 及ビ仏西部ニテモ工業盛ニシテ大炭田區域ヲツクリ大工業盛ニナリ、北日本ノ内側ニ起レル石河地帯、兼飛平原ノ穀作物ハソノ原料タル土名古屋ノ背後ノ地中ヨリ出ル、
 如斯 *economic province* ナルコトヲ注意スヘシ。

又各國政策一様ナラス、関稅等ノ保護政策アリ、故ニ商品ノ販路モ思フ様ニ行カズ、色々ニ限ラレ、ソノ勢力ノ及ビ得ル限リヲ結ビ附ケ見ルト相手方ニヨリソノ境不規則ニシテ常ニ變化シ居レリ、コノ意味ヨリ見テノ經濟區域ハ一国内ノミナラス關稅同盟ヲツクル事モアリ、商業區域ニ就テ見ルニ優力ナル國ハ通商區域ヲ広メ投資モ盛ニナリ、又 *economic province* *Province* = 色々ノ制限ヲ加フ。

「イタリー」中世ニ於ケル地中海沿岸都市ハ *Roman people* ノ援助ヲ得 *Venice* ハ 11 C. - 13 C. マダ多量海ヨリ黒海マテノ通商區域ヲ占ノ利シ、*Genoa* ガソノ權利ヲ得。

一六六一一年英ハ *Navigation act* ヲ作リ *Commercial monopoly* ヲ獲得ス、為ニ英船以外ニハ英ノ *Coasting Trade* (沿岸貿易) ヲ禁ス、*U.S.A.* ハ今尚米ノ港ヨリ他國ニ向ケ航行スルトキハ米船ニヨラサルハカラサル事ヲ規定ス、又米國ハソノ沿岸ノミナラス、「ハワイ」ニ迄及ビ日本船ガ「ハワイ」ヲ經由シテ桑港ニ至ルニハ「ハワイ」ヨリハ米船ニヨルニ非スンハ積荷ヲ許サルナリ。

如斯人為上、政治上ヨリ特殊ノ關係成リ經濟的區域ヲツクル、コハ種々ノ方面ヨリ觀察スルヲ要ス、又コノ經濟的區域ハ變化常ナキモノニシテ巧ニ之ヲ利用スルモノ經濟界ノ成功者トナルナリ、
 土地ハ之ヲ望直的ニ見ル時種々ノ地形ヲ生スルモノナリ、
 土地ハソノ形ヨリ見ル時ハ大陸、島、半島ナドヲ稱スレ夫如斯望直的ニ之ヲ見レハ山、高原、平原等ノ地形ヲ生シ



[平地、傾斜地ニ於ケル土地ノ經濟的三條件ノ觀察圖]

$AB = CD$

But forest is not same
 d 水田 " " "
 村落 " " "

假リニ平原ヲシリテモ之レガ自然界ノ影響ヲ受ケ *Relevant, steps*、又ハ森林ノ如ク夫々趣ヲ異ニス、綜合的ノ說話ハ複雜ニナル故單ニ地形ソノモノノミニ付キテ觀察セントス、之トテモ單ニ望直的變化ノミニ付キテ見シ
 △土地ノ形態的觀察

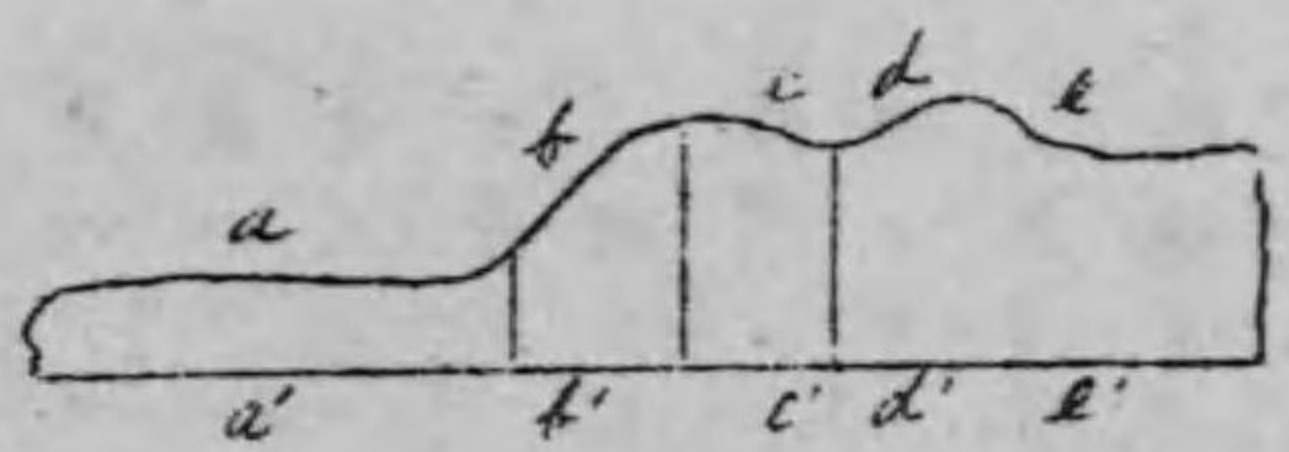
土地ヲ *economically* ニ判断スルトキ三條件ヲ考慮中ニ入レ度シ、

第一ハ土地ノ負担力ナリ (*capacity of bearing*) *Tragfähigkeit*、

第二ニ、栽培力、 (*cultivation*) *Baufähigkeit*、

第三ニ、養植力、 (*nourishment*) *Nahrungsfähigkeit*、

之等ノカヲ考慮中ニ入ルトキハ平地ガ最も生産力多キコト直ニ考へ得ラ
 ル、殊ニ太平洋原最モソノ値大ナル事ヲ思フ、第一ニ耕作ヲスルニシテ森林
 林經營ニシロソノ作ル所ノモノ租物性ノモノナレハ何程ノ森林、作物ヲ作
 リ得ルカ、即チ平地ハ丘陵地ニ較ベテ拔ンデ、 *Capacity* 多キヲ思フ、
 又人類生存シ、食糧ヲ運ビ、交通路ヲヒラクニ當リテモ之等ノ活動ニ對シ
 平原地方カ最モソレニ適シタルヲ思フ、
 吾人カ土地ノ生産力ヲ計算スル場合、又ハ土地ノ傾斜ナドヲ計ルトキ、



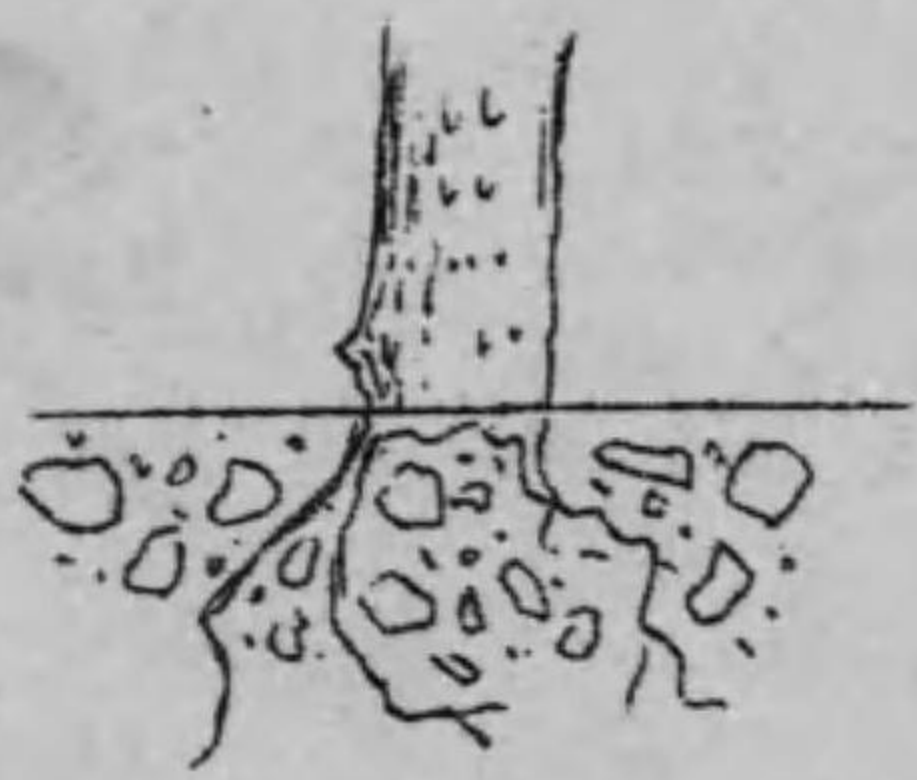
斜地ニ昇ルニハ多量ノ力ヲ要スルモノナリ、
 平地労働者カ一日ニ排出スル炭酸瓦斯一〇〇〇瓦ナルトキ山昇リヲスル
 トキハ五分ヲ余計ノ *Cost* ヲ排泄ス、ソレダケ瓦斯ノ消費多キ訳ナリ、又
 家畜ヲ用ヒテ耕作ニ於テ傾斜十度ヲ超エルトキハ不可能ニシテ三十度ヲ超

$a + b + c + d + e$ 田圃
 トハ称シオラス、普通ニハ皆
 之レヲ水平ニ *project* ナシ
 $a' + b' + c' + d' + e'$ 田圃
 トナシオレリ、是土地ノ税
 ニ関係スルモノニシテ斜面ヲ正當ニ解釈シタルモノナリ、
 或意味ニ於テ *capacity of hearing* ニ比例シ一切ノ土
 地ハアテラハサル、即チ土地ノ傾斜ニヨリテ土地ハ *capa-*
city ヲ異ニシコノ意味ニ於テ平地カ最モ *much capar-*
city ヲ有スルコトヲ知ル、コハ單ニ土地ノ静的状態ニ於
 ケルトキニ於テノミナラズ動的ニ人間生活ノ上ニ於テモ大
 ナル関係ヲ有ス、人間ハ労働耕作ヲナストキハ普通全一
level ニ中心ヲ置キテ事ヲナシテアルモノナリ、然ルニ傾

エルトキハ人間ニ對シテモ耕作不可能ナリ、平地ニ於テハ又アテ
 向ヒテモ同シマウナル所々力ヲ用フル分配ヲナシ得ルモノナリ、且又反
 リニ力ヲ運搬ニ用フルトキ平地カ最大效率ヲ奉ケ得、即チ平地ナルトキハ
 最短距離ヲ最少労力ニテ運行シ得、家モ平地ニハ早く發達シ、交通路開ケ
 人口モ密ニナル、仮リニ汽車ヲ通行セシムルトシテモ急速度ノモノハ最モ
 平地ニ於テ使用シ得、土木工事ニツキテモ又出来上リタモノヲ保全スルニ
 ハ平地最モ容易ニ工事費モ廉ナリ、生活費ソノモノ許リデナク莫ク他ノ自
 然界ノ影響ヲ見ルニ明ニ差異アルヲ見ルヘシ、
 即チ太陽ノ光線トドヲ受クルトキニ平地ニ於テハ之ヲ平等ニ受ク、然ル
 ニ丘陵地、山地ニ於テハ平等ナラズ、又適ア山ノ中ニ村ヲ営ム場合ニモ日
 当リヨキ如クニ差違スルガ如シ、尚雨ノ影響モ同シ、即チ一方ニ雨量多ク、
 一方ハ高山ニ遠ラレテ雨量少キトドノ不平均アルヲ見ル、
 更ニ *cultivation* ノ方ヨリ見ルトキ、山地ニ於テハ傾斜急ナル為自ラ
 山ヲ造レル岩石直ニ露出シ、ヨシソノ上ニ多少土壤ヲツクリ居リテモソハ
 蒸キモノナリ、然ルニ平地ハ主トシテ土壤ヲ以テ掩ハレ、故ニ森林、



耕作ニ大影響アルナリ。尚ソノ上ニソレ等森林耕作ヲ養フ
 タメ土地養分十分ニアルトキ、其等ハ良キ採運ヲナス。植
 物ハ一体如何ニシテヨク成育スルヤ、即チ土壤ノ中ヨリ説
 明セン、一ハ *Sedentary soil*、他ラ *Transcendent-*
tal soil ノニ種ニシテ是レナリ。
 前者ハソノ土地ニテ岩石次第ニ分解シテ出来タ土ナリ、
 即チ岩石ヨリナル山次第ニ表面 *Block* ニナリ、之次第ニ
 砂ニナリ植物ノ根入り、分解セラレテ機械的ニ土壤ヲ構成
 シタルモノナリ、サレドコハマリ深カラズ、又雨ノタメ
 ニ流ナル、ノ憂アリ、時ニ依リ岩石ヲ露出セシム、然ルニ
 麓ノ平地ニ至レハ上ノ方ニヨリシ土壤次第ニ *Transfert-*
セラレ、土壤ヲ作ル、コノ土ヲ名ツケテ *Transcendent-*
tal soil ト云フ、太平洋原ニナルト *Transcendent-*
tal soil ノ概ガレル面積甚ダ広シ、コレニヨツテ直ニ想
 像ナシ得ル如ク、何レガ作物ニ有效ナリマト云ヘハ勿論後



首ナリ、*Trans-*
ending Soil (機
 械的ニモ又化学的ニ
 巧ヨク分解シヨリ、
 植物ノ營養物多シ、
 鉍物ノマ、ニテハ植
 物吸収スルコトヲ得
 ス、故ニ化学的ニモ
 分解シタル土ニアラ
 ガレハ植物ノ養分ト
 シテ吸収スルコト能
 ハザルナリ、一体作
 物ヲ作ル場合、土壤
 ノ作用ハ甚ダ複雑ナ
 ルモノナリ、
 三七

即チ土壤ヲ形成スル岩石、礫子ニハ多少空氣ノ流通スル空隙アリ、故ニ
コノ *loose* ナル臭ハ養分ヲツクルタメニ同様ニ重要ナルモノナリ、直接
ニハ機械的ニ小サツナレル平面、雨ニヨリテ更ニ化学的變化ヲ及ボス、サ
レド是ノミニテハ役立タズ、人馬ガ鋤、鋤ヲ入レテ耕ス中空氣モ水モヨク
入りソレ以上ノ *value* ヲ出ス様ニナル、更ニ肥料ヲ加フル事ハソノ *soil*
value ノ質ヲ一層ヨクス、是等ノ豊饒ナル土地ハ如何ナル如ニアルカ、
即チ「ナイール」河口ノ *delta* 地方、或ハ河ノ沿岸若干地帯ナドハ赤道
直下ノ太陽熱ニヨリテヨク分解シ、雨水ニヨリテ化学的變化ニ富メル土壤
夏期ノ雨期ニ下流ニ押シ流サレ薄キ部分ナレトモ表面ニ肥沃ナル地ヲ造リ
居レリ。

又 *Ganges, Brahmaputra* 河口ハ約一五〇米位ノ肥沃ナル土壤上流
ヨリ運ハレ新シキ土地ヲツクリ雨期スズルトヨキ農作地トナリ居レリ、
揚子江ノ中流湖水ノアタリノ多ク、湖水、活ハ一年中始終變リ居レリ、即
チ揚子江ノ泥濘毎ニ變化シ肥沃ナル土地ヲ附近ニツクル、
黄河ハ近キ過去ニ於テハ黄海ニ注ギ居タリシモノナレトモ現在ニ於テハ

勃海湾ニ注グ、コノ下流ハ肥沃ナル土壤ニヨリテ掩ハル、

之等ノ土地ハ鈣物質ノ外植物質ヲ多量ニ含ム、コハ腐植質 (*Humus*)
ナルモノニシテコノ中ニ種々ノ有機物ヲ伴ヒ作物肥料トナル、露南ヨリ「

シベリア」西南ニカケテカ、ル土地広クアリ、露ニ於テハ *Black earth* (

黒土) ト呼ベリ、露ノ南ガ政羅巴ノ穀物倉ト呼ハレルモノコノ黒土ノ
故ナリ、

▽山岳ノ經濟的考

即チ山ハ地形上ヨリ見テ生産上ノ不利益アル事ハ止ムヲ得ズ、サレド一
面山アルガ為ニ興アル利益モ尠カラズ、即チ氣候ノ為ニ種々ノ影響ヲ與フ、
即チ水分ノ *Condenser* ナル事大ナル利益ヲ興フ、水分ノ供給少キ地ニ於ケ
ル之等ノ惠ハ多大ナルモノナリ、カ、ル知ヲ *Climatic Oasis* ト呼
ブ、

「アフリカ」南部即チ *mt. Kilima Njaro* (キリマウキアロ) 附
近ハコノ山ノ為ニ殊ニ雲ヨク降サレ雨降リ生産豊富ニシテ同山土人モ余計
コノ附近ニ多ク集ル、即チ一平方料ニ六十万人居レリ、「アフリカ」ノ平

均密度ハ一平方料ニ五万人ナルニ微シテ見ルモ明カナリ。

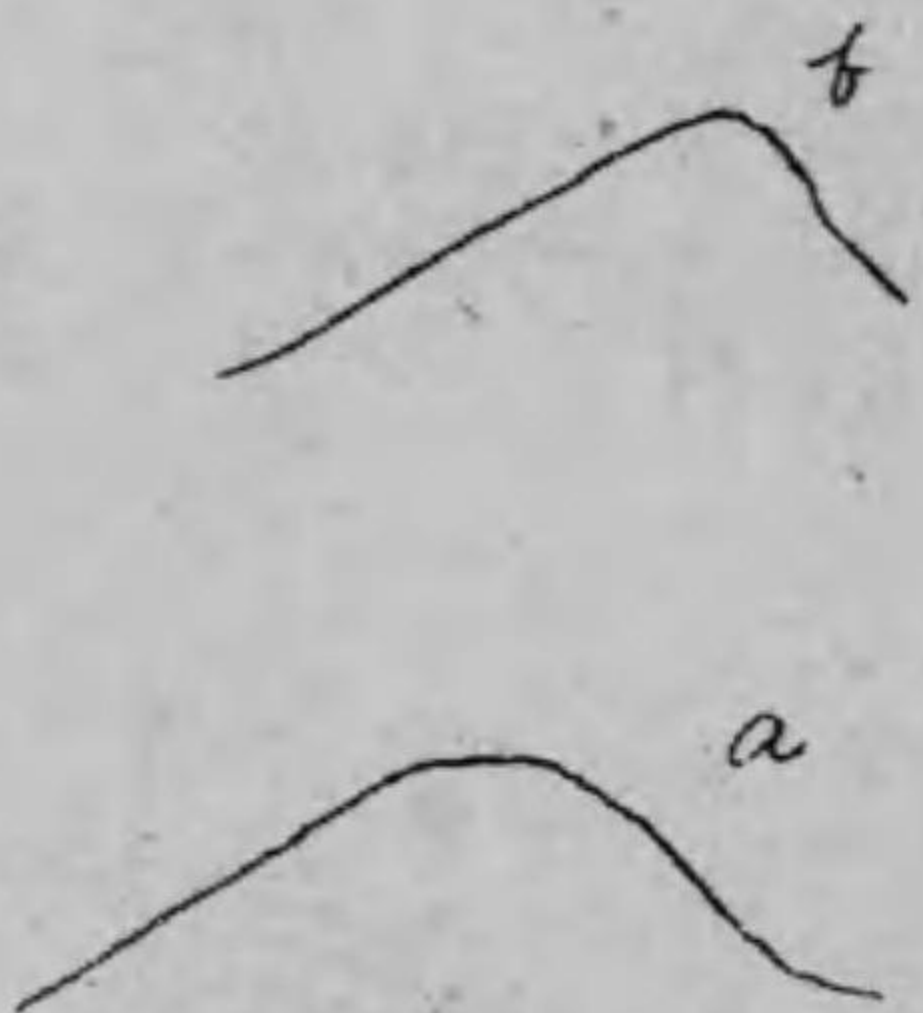
B0

Australia ニ於テモ東部山地ノ雨量多キ地方ニモカ、ル現象アリ。五〇〇万ノ住民ノ土地ニテアリナガラ、上ノ一〇〇万ハ (*Sydney* シドニー) 約一〇〇万及 *Victoria* 附近) コノ地方ニ居レリ。

更ニ山ガ興フル利益トシテハ仮リニ麓ノ方ニ水ヲクモ上郡ニ水ヲルタメ麓ノ方ニテハ灌漑ヲナス事ヲ得ルナリ。米ノ *Reclamation, Australia* *India* 内部地方ノ農園ナドコノ例ナリ。尚水車ノ利用、水力電気ノ利用ナトハ大影響アリ。

又山ハ交通上ノ一ツノ障害物故コノ山ニヨリテ西側ノ風俗習慣異リ、産業ノ状態モ又異リ、衣裳、容形ノ上ニモ大影響アリ、之等ノ *detail* ニ就キテハ後述スベシ、即チ人文上ノ境界ヲ山ガナス事ヲ注意スベシ。コノ人文上ノ境界ヲナス上ニ山ノ地形影響アリ。

一直線ニ馳レルモノ又 *Caucasus* ヲナスモノ大山脈ニ多シ。 *Alps* 亦同。又 *Pyrenees* *Jura*、ソノ例ナリ。『アルプス』ノ場合ニハ大ナル境界故古昔 *Rome* ノ文明西段ノ中部ニハ直接ニハ入ラザリキ、『セイヌ』 (*Seine*)



ハ放方面ニ緩ニ *Chy*、例ニ急ナリシ為独民族大陸發展ヲナシタルナリ。ハ次頁ニ図アリ)

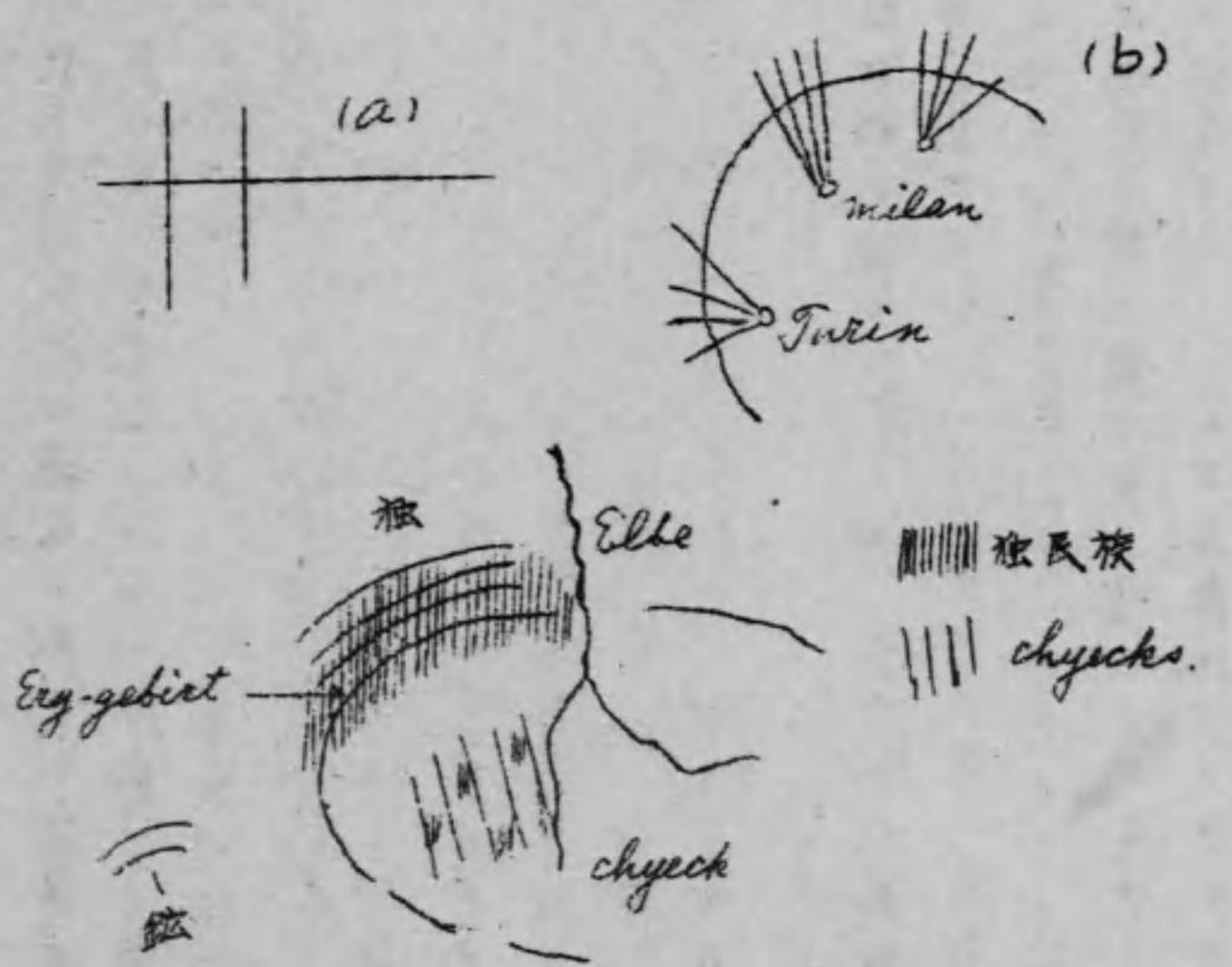
山地ヲ *economically* ニ利用スルニ当リ平地ニハ到底カナハズ。故ニ山岳地方ニ於テ最モ良ク行ハル。産業ハ林業ナリ、或ハ牧畜又行ハル。放牧ニ好適ナリ。サレド山岳地方ニ於テ特ニ見ル産業ハ鋳業ナリ。コハ地下

B1

西) 附近其他ヨリ入りシガ次第ニ『アルプス』ヲ越ユル交通路出来タリ、伊太利方面ハ自然集散的傾向ヲ交通路ノ上ニ制シ *Milan*、

Turin ナドノ都勃興スル氣運促進ニ與リテ力アリ。サレド (a) ニ於テハカ、ル特色ナシ。尚之ヲ切斷シテ觀察スルトキ (a) ニ於テハ昇降共ニ困難ナレ共 (b) ニ於テハ (北) 方面ノモノ交通ニ便ニシ (南) ノ方面ノモノハ困難ナルナリ。 *Checko-Slovakia*

ハ *Bohemia* 盆地ニアリ。即チ *Engelhart*



ノ富源ヲ探ルモノナルガ平地ハ
 地下ニモ富源ハアレドモ高地ノ
 富源ヲ探ルハ故ナキニアラズ。
 米ノ Rocky munit ガ富源ニ
 富ムハ。又南米ノ Andes mt.
 等ハ要スルニ地球ノ表面ニ於ケ
 ル大ナル穀即チ地殻変動ノ大ナ
 ル場所ナルナリ、深ク地中ニ在
 リシ鉱物ニ富メル金属鉱物含有
 物瓦斯体トナリテ上部ニ昇リ液
 体トナリ冷エテ鉱床トナリテ山
 中ニ残ルナリ、故ニカ、ル地ニ
 ハ種々ノ鉱業営マル、然シテラ
 鉱業ナルモノハ然ラス、山地ノ
 ミニ限ルマ、然ラズ、サレド今

日平原ト見ユル所ニ過去ニ於テハ平原ナラサリシ知モ地々アリシナラン、サ
 レド長年期ノ為風雨ノ為削ラレ地中ニ陥没セルモノモ稀ナラス、鉱床ノ致
 ルハ当然ナリ、

氣候、温度、雨量ノ影響ニヨリテ地上ノ生産ハ左右セラレ共山地ニ於
 テモ亦平地ニアリテモ鉱産アル如ニ都会繁達スルヲ見ル、

Australia 大陸ハコノ莫ニ於テ種々ナル著シキ例ヲ契ヘラレリ、

Cobalt 及 *dearst* ナレ共銅鉱出ルタメ大ナル鉱山所出来、*World War*

時代ニハ大ナル住民ヲ擁シ居タリ、*Broken Hill* ハ銀、鉛、亜鉛ヲ出

ス世界的鉱産地ニシテ三万ノ人口ヲ擁シ、出来ル丈水ヲ節約シ飲料ニシ、

鉱産ニ用ヒ居レリ、

又西ノオーストラリアノ沙漠ノ中央ニ処々金銀産見セラレタリ、ソノ

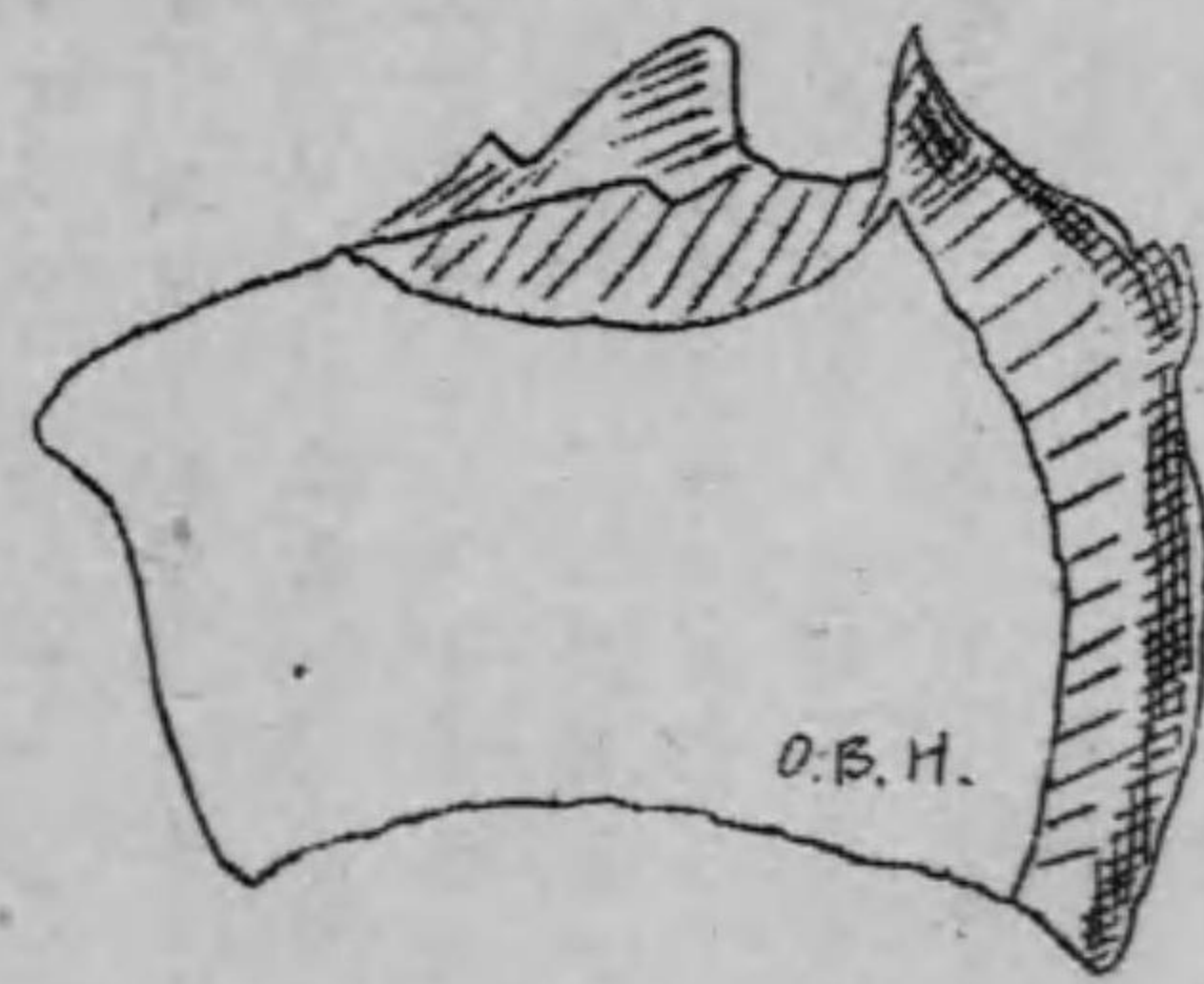
為ニ非常ナル苦心ヲナシテ水ヲ得、貴金属ノ採掘ヲナシ居レリ、(左図参照)

▽風景ノ影響。尚山地ノ産業トシテハ地方ニヨリテ風景ノ秀麗カソノ土地ノ財源トナル如クカラズ、又ソノ風景美ヲ利用シソノ地方ノ又ソノ國ノ財源トナシタル所多シ、*「スキマス」*、*「イタリール」*ハコノ例ナリ、*「スキマス」*ハ「アルプ」山ソノ國ノ大部分ヲシメ、世界公園ト呼バレ又人口的ニ種々ノ施設ヲ如ヘ出来ルダケ遊覽客ニ便宜ヲ與ヘ大ナル資本ヲ投シ居レリ、コハ農業者ガ農耕ニ大投資ヲナスト同シナリ、

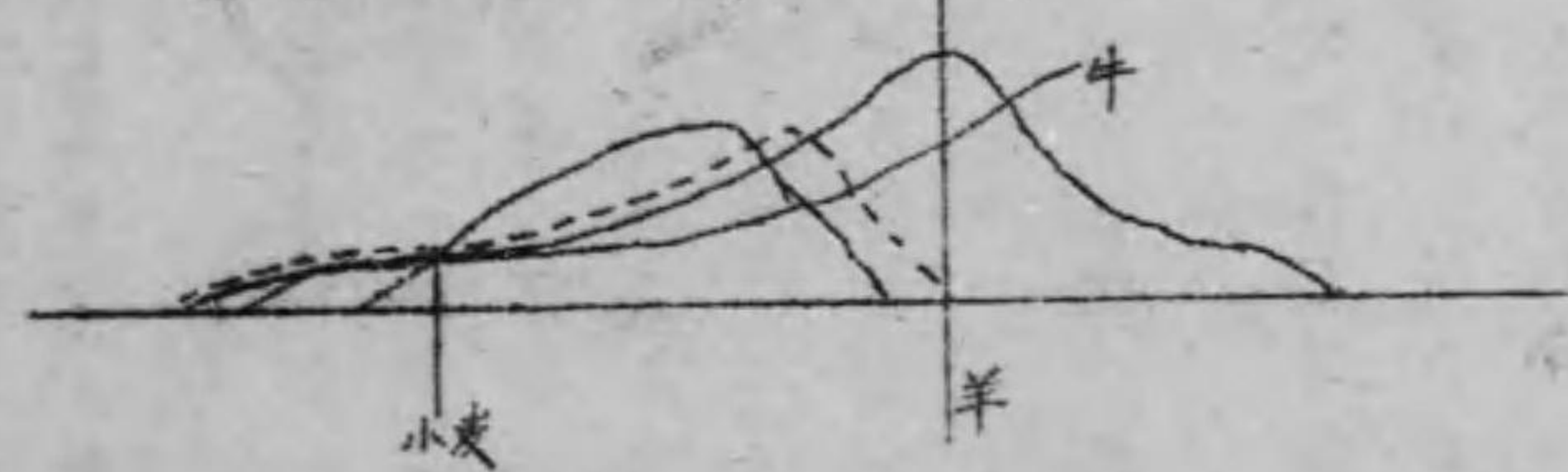
*「スキマス」*ハ土地ヨリノ生産ハ山地ナル故望マレズ、國民ノ食糧品ハ大部分之ヲ輸入ニ仰ゲリ、コノ國ハ外國貿易ヨリ云ヘハ大ナル輸入超過國ナリナリ、所ガソノ幾億圓ノ輸入超過ガソノ國ヲ危ウセザルハソノ國ノ風景美ニヨリテ決着セラレ居レリ、遊覽客ノ落ス金ハ皆現金トシテ残り、汽車、汽船ノ運賃、ホテル賃、土産物ナドノ収入ニヨリ輸入分ハ帳消シサレ居レリト、

伊太利モ同様ニシテ「アルプス」ノ南ヲ受ケ氣候温和ニシテ美シキ湖水多シ、政州ノ養澤地ニシテ名所旧蹟多ク遊覽客ノ残ス金額多シ、伊太利モ輸入超過國ナレ共之ニテ決着シ、又移民ノ送り來ル金モ多額ニ上ル、旅客

australia 雨量分布圖



australia 主要産物分布圖



雨量ト住民



ノミニテモ一年三、四億法ノ金ヲ残ス。コハ国全体トシテ繁栄スル手段タ
 ルノミナラズ、知々ニ又繁栄地ヲツクル、米ニハ *National park* 数多
 アルナリ、我邦ノ如キ地形ノ地ニアリテ風景美ノ利用尠ク小規模ナルハ遠
 慮ナリ、米ナドヨリノ観光団ヲ迎フルニ当リ、日本本州ノ1/10ノ「スキス」
 ナドニ比ベ殆ド反比例セルハ遺憾ナリ、昨年ハ減シタレ共数年ノ *WORLD*
 ノ見ルニ外国人ノ日本ニ来ルモノ約三万内外ナリ、而シテ三〇〇〇萬
 ノ金ヲ残シタリ、サレド吸收ノ仕方ハ少額ナリ、風景美利用ノ仕方未ダ尠
 キノ憾ミアリ。

第二章 河ト経済トノ関係

▽河川ト経済生活

凡テ水ノアル地ニハ必ズ住所ヲ伴フ事ハ極メテ簡單ナル事ナレ共又極メ
 テ重要ナル事柄ナリ、水ハ直接我々ノ飲料トナルノミナラズ家畜、農産物
 ニ必須物ニシテ又住民繁殖ス、又河ハ之等生産物分配ノ為メ自然ノ交通路

ヲ作り、交通路未発達ノ地ニ自然ノ道ヲ共ハ、一人ニテ運ビ得ザルモノヲ
 モ茂、船ナドニテ運搬ス、汝ナドハ最モ低廉ナルモノニシテ又河筋ニ沿フ
 タ谷ノ附近ニ於テ地形上最モ傾斜緩ニ低キ故陸路ノ交通モ第一ニ発達
 ス、山ノ地方ニ於テハコノ現象著シ、
 即チ河ハ生産ノ上ニモ交通ノ上ニモ甚ダ重要ナル關係ヲ有ス、河ヲ平面
 的ニ又垂直的ニ研究セン、
 先ツ平面的ニ河ノ大小ヲ見シ、コハ何ヲ意味スルカ、即チ河ノ長短、又
 アルモノハ幅ノ大小、或ハ又水量ノ多少ヲ云ヘドモ一概ニ大河トハ何ニヨ
 リテ定ムルカト云フニ、今日大河ト *define* セラレタルハ流域面積ノ最
 大ナルモノヲ大河ト云フナリ、



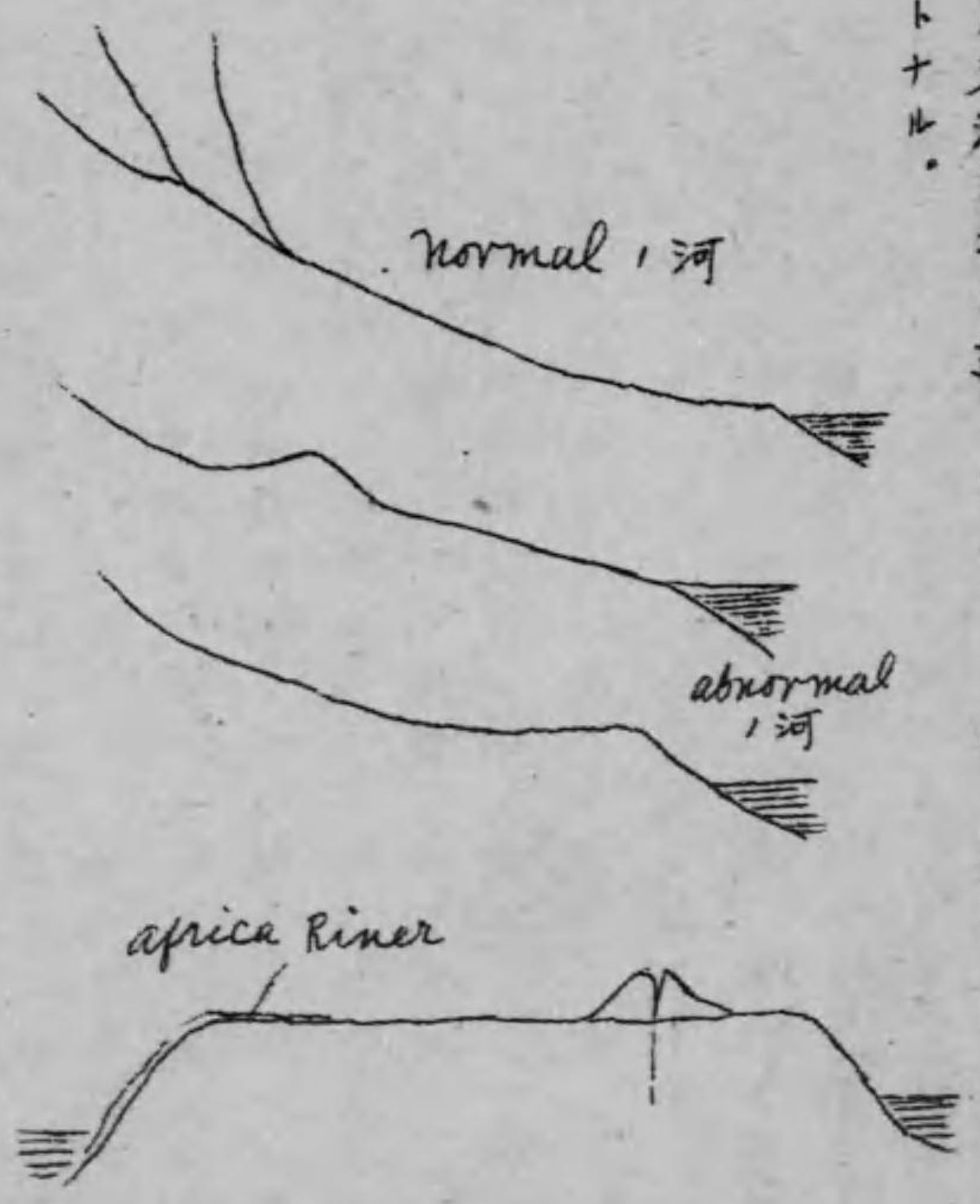
A B

ソノ通例トシテ「アジア」大陸ニ於ケル揚子江ヲ見シ。又「シベリア」
ノ「シベリヤ」河、コノニ河ハ本流ハソノ長サ約五二〇〇〇ノサレドソノ流域ハ揚
子江ノ方ハ一七七五〇〇〇平方ノサレドソノ流域ハ二九四万七〇〇〇
平方ノサレド、コハ「シベリヤ」ノ方ガ如何ニ大ナルカヲ示ス。又「Mississippi」河ハ
長サ六五三〇ノサレド、ソノ流域面積ハ三、二四八、〇〇〇、即チ「アマゾン」河カ今日
カ六二〇〇ノサレド、ソノ流域面積七、〇五〇、〇〇〇、即チ「アマゾン」河カ今日
世界最大河ト認メラレ居ル所以ナリ。

更ニ河ヲ垂直的ニ觀察スルコノ垂直的ノ形ノ生産ニモ必要ナルハ勿論其
他文化ニ対シテモ勤カラサル影響ヲ與ヘ居レリ、
河ハ即チ傾斜ヲナシテ下流ニ注グ、コノ傾斜緩ナルモノ程流域ニ於ケル
住民抱擁力大ナリ、

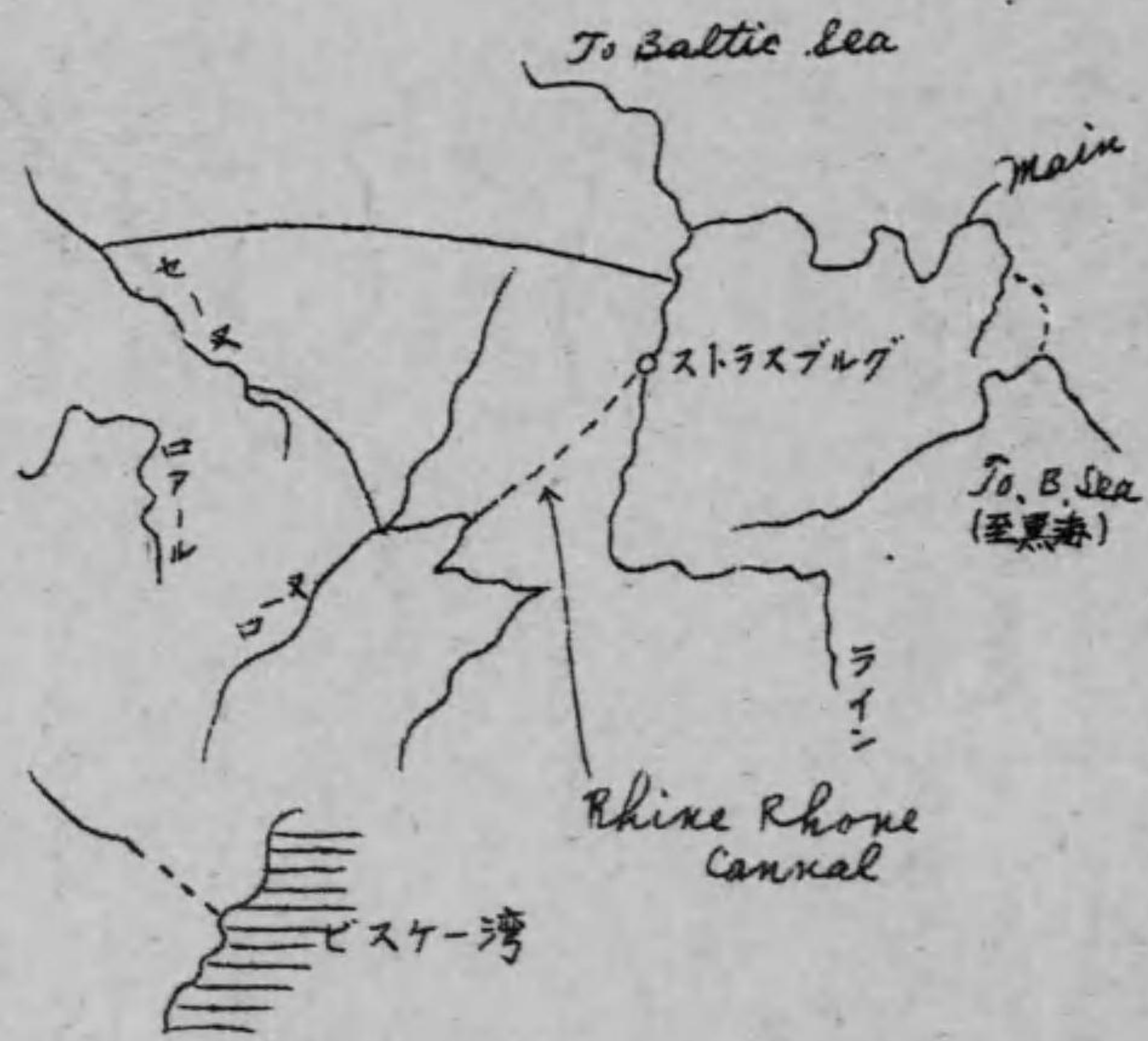
著シキ例トシテ「アフリカ」大陸ノ地形上ノ特色トシ他ノ大陸ノ如キ大
山脉ナシ、強ヒテ赤道ニ北端ニ少々山ヲシキモノ連ナル、大陸全体ハ一
ツノ台地ナリ、コノ流レ居ル河ノ特色トシ高原ノ如ハ緩カナレ共海ニ注ガ
ルニ急流トシテ、
Congo 如キ著シキモノ、一ツナリ、カ、ル高原ニテ赤道直下故雨量

多ク其流多数出遭ヒ居レリ、愈々大陸ヲ南レントスルトキ急傾斜ヲナシ急
流トナル。



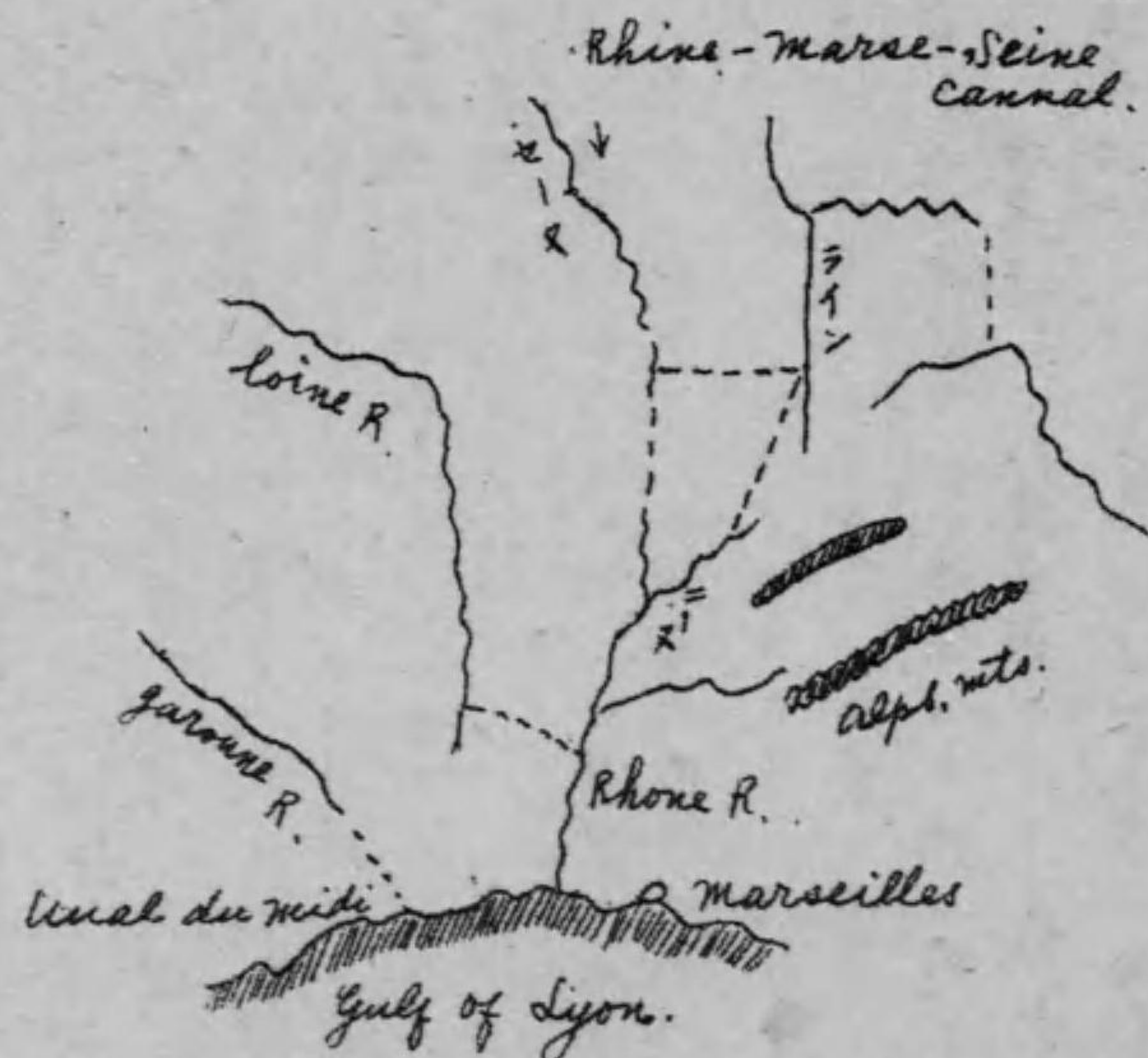
カ、ル所ニ急流ヲナスハ
内外交通ニ甚タ不利ナ
リ、「アフリカ」大陸ガカ
ナリ古キ大陸ナルニ最
マテ暗黒世界トシテ残
ルハ大ナル沙漠横ハレ
ルモノナレ共、然シナ
ラ何レノ海岸ヨリ内地
ニ入ラントスルニ何知
モ障害アリ、是レソノ
大原因ナルナリ、

Nile モ亦然リ、「ナイル」ハ他ノ河ノ如ク abruptly ニハ著シクナ
レ共「ナイル」ガコノ内地ニ出テS字形ニ屈曲スル知ニハ大ナル瀧アリ、



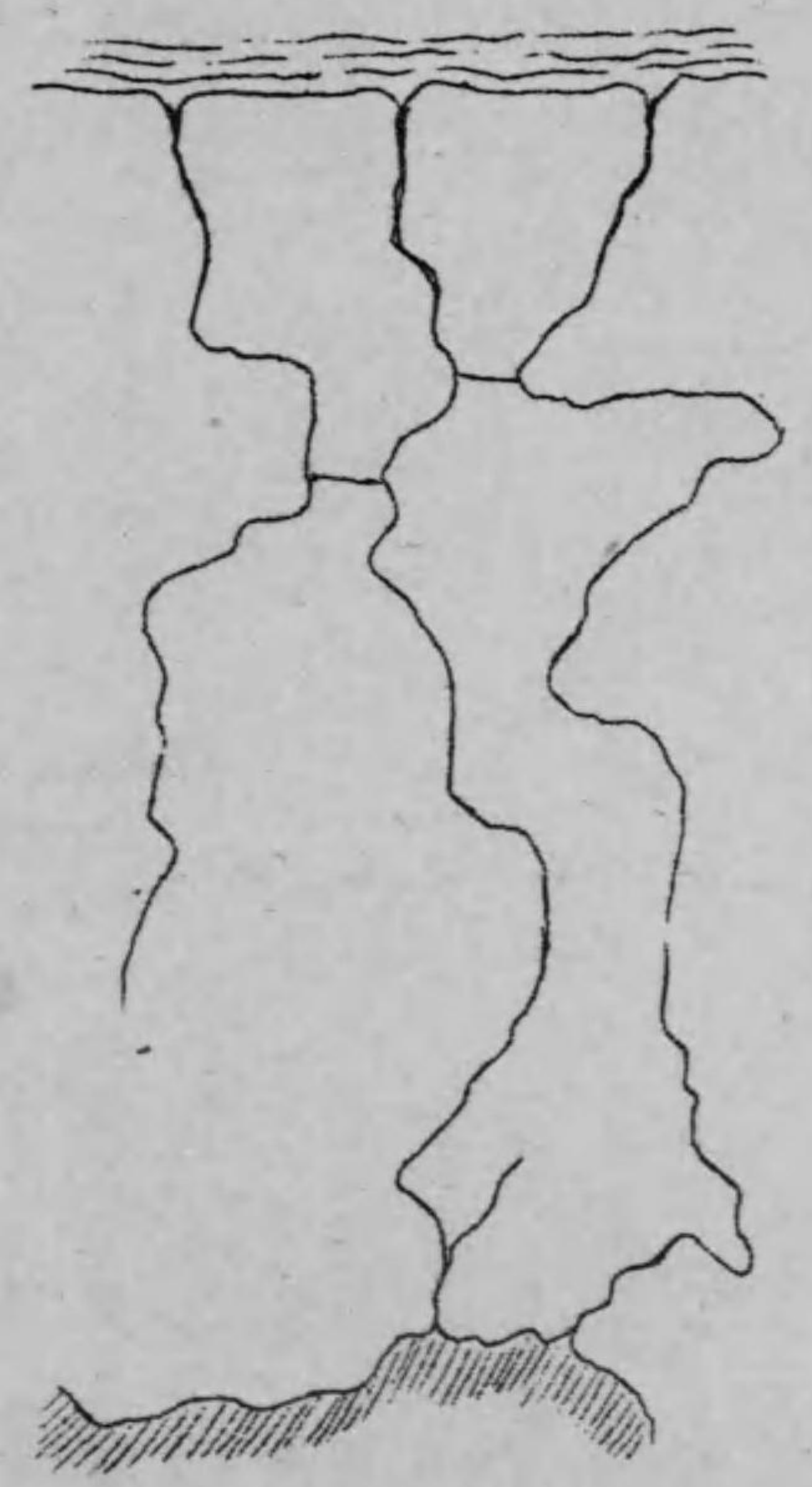
然ルニ平坦ナル露方面ノミナ
ラズ西半ニ於テモ同様ノ現象ヲ
見ル、即チ「アルプス」ノタメ
「イタリヤ」ト政内部トハ交通
自由ナラサレ共多クノ河ニヨリ
テ「バルテック」海ト連絡シ得
ルナリ、即チ Rhine, Rhone
一河ハセー人河 (Saone R.)
ト三五〇米 (函嶺ノ半分、確氷
ノ1/3) 位ノ峠ヲ通り連絡ス

五〇
カ、ル瓏大ヶ所アリ、故ニコノ大河ニアリナガラ船ヲ浮ベテ上流ニ遊行ス
ルコト能ハズ、是レコノ大陸發展ノ障害ナリキ、
之ニ反シ歐洲ノ河ヲ見ルニ政大陸ハ一般ニ地盤高カラズ、「アフリカ」
大陸平均高サノ1/3ニモ及バズ、漸ク半分位ナリ、平均高サ三百米、「ア
フリカ」六〇〇米、豆細豆九五〇米ナリ、故ニ豆細豆ノ河ハ大半ハ航行ニ適
セズ、之ニ反シ政大陸南部ハ少々高ケレドモ中央政、東南政ハ平地ニシテ
海ノ高サ今日ヨリ約二〇〇米上リタル日ニハ政大陸ノ又了ハ水ニ浸ルベシ
ト云フ程故河ノ流レスベテ緩漫ナリ、スベテ Normal + 傾斜ヲナシ全体
ノ高サ低キ故河ハ余程緩漫ナリ、即チソノ特色ハ多クノ河ハ背中合セニ連
絡シ居ル事ナリ、即チ分水嶺甚タ低シ、故ニ分水嶺ノ如ク人工的ニ運河ヲ
ツクリ、両方ヲ結ヒツク、殊ニ露ノ地方ニ於テハ大陸中テノ最モ高キ所ニ
テ三〇〇米ヲ少々越エタ位ニテ一般ノ低キ土地ヲナセリ、河ハ着シク屈曲
シ、河ト河トノ間ヲ並ベル河、背中合セニ流レル河ハ山脈ニテソノ境ヲ見
ワクルコト能ハズ、Vole 河、Caspian Seaニ注グ、コノ河ノ上流ニ於
テハ Baltic Seaニ注ゲル河、何レトモ連絡スルコトヲ得、Black



Rhine-Meuse-
 Canal.
 Loire R.
 Garonne R.
 Canal du midi
 Rhone R.
 Alps. mts.
 Marseilles
 Gulf of Lyon.

平野ニ振リ、Rhineノ谷ニ又「ライン」ノ支流ニ出デ「ライン」ニ入り
 三ハ diverse シタルナリハイル「River」ニハ又北米ニ於テ見ラル、レ共
 斯ノ如キ現象ナレハ谷筋ノ連絡モ兼故コノ谷筋ヲ通り交通スル事ハ容易
 ナリ、即チ Rome 帝國繁栄ノキハ Rhone 河ヲ溯リ直ニ Seine (セーヌ)ノ
 Rocky mt. ヲ越エル事ナドハ
 アラズ、半分テハ多少コノ性質
 ラ見ル、Newyork ヲリ Erie
 Canal = ヲリ Erie = 入り又
 Canal = テ Mississippi = 入
 ルヲ見ル、サレト歐大陸ノ如ク
 著シキ事ハナシ、是レ歐大陸ノ
 平野ノ開ケタル原因ナリ、
 河川ノ農業
 次ニ何ト云ヒテモ重要ナル河
 ハ沿岸ニ農業的生産地ヲ控ヘ、
 水量多ケレバソノ平原ヲ湿ス事
 モ多シト云フ現象ヲ来ス、日本
 ノ如キハカ、ル河ヲ有スル事ハ
 多シ、多少ハアレ共日本全体ニ
 トリテハ極メテ少部分ナリ、



歐大陸ノ諸川連絡ノ図

サレドコレガ日本ニ農産物ノ供給ヲナシ居レルナリ、利根川ハ沿岸日本
平面全面積ノ一割、木曾川ハ僅ニ三四割、今日本ノ墾ナル平野ヲモテ河
ハ利根、淀、北上、木曾、信濃、筑後、御物、能代、阿武隈、之等ノ河ノ
流域ハ日本全体ノ *Cultivated Land* ノ三四一三七%ナリ、

河ハ沿岸ニツクル平野ヲ以テ耕作ノ基本ノ土地トスルト共ニ灌漑ヲナス、
兩者相俟チテ耕作ニ適スル地ヲ作ルナリ、故ニ灌漑工事ハ何レノ地ニアリ
テモ努カシ居レリ、

コノ灌漑ナルモノハ何レノ農業ニモ必要ナレ共米ハ多量ノ水ヲ要スルコ
トハ熟知ノ事ナリ、米ガ季節風帯ニテヨキハコノ風ガ雨量ヲ多量ニ齎スカ
故ナリ、河ノミニテハ自然的ニ十分ナラス、勢ヒ人工的ニ之ヲ俟タサルハ
カラス、印度ノ西方面ニハ多量ノ雨量アリ、即チ兩カ一ツ山ニ一哩程ノ

Tunnel ヲアケソノ御蔭ニテ他ノ側ニ水供給セラル、事アリ、

コノ灌漑ヨケレハ農産豊カニナリ住民住スル様ニナル事誠ニ現金的ナリ、
米大陸ノ西ニアル「ユータ」州 (*Utah*)ニ於テハ州全体ハ面積ハ五〇
〇〇平方哩ナリ、ソノ人口ノ大部分ノモノ(四〇萬)ハヨク灌漑サレタレ

一五〇〇平方哩ノ所ニ集注シタル現象アリ、印度ノ西 *Cherwell* 地方ニ於
チハ *Indus* 河流域故 *Canal* ヲ掘リコノ工事出来タ後今マデ *deant*
ナリシ地ニハ八〇萬人ノ人民来レリ、一八〇〇万坪ノ費用ヲ投ジソノ結果ト
シテ一年ニ收穫ニ四〇〇万坪ニ上レルガ如キ顕著ナル事実アリ、

台湾ハ雨量豊富ニ水ノ供給モ十分故一年ニ二度ノ收穫ハ容易ナリ、
台湾ノ河ハ急傾斜ノ山地ヲ出テヨリ海ニ注グ、而シテコノ水ヲヨク流域ニ
供給スルコトナシ、即チ灌漑ヨク行ハレザルナリ、故ニ台湾ニ於テハ *irrigation*
rigation ノ工事盛ニ行ハル、塚洲工事ト云ハレ少クモ今日台湾平地七
割五分ハコノ工事行ハレ居ル現象ヲ見ル、

▽河川ト文化生活ノ一般の考察。河水ハ文化ノ進歩ト共ニ村落大都ノ飲料
水トス所ノ共同生活ノ大ナル機能ヲナス、上水ハ *domestic* ノモノ、第二
ハ都市共有ノモノ即チ *municipal* ノモノ防火用、或ハ又市街ノ洗滌、
公園ノ噴水、港市ニ於ケル船舶ノ飲料水ナドニ用フ、或ハ又之ヲ *indus-*
trial ニ用フ、殊ニ *Chemical industry* ヲナス地方ニ於テハコノ
上水ヲ用フル事多シ、東京ニ於テ我々ノ用ユル水ハ一日千立方尺ト見做サ

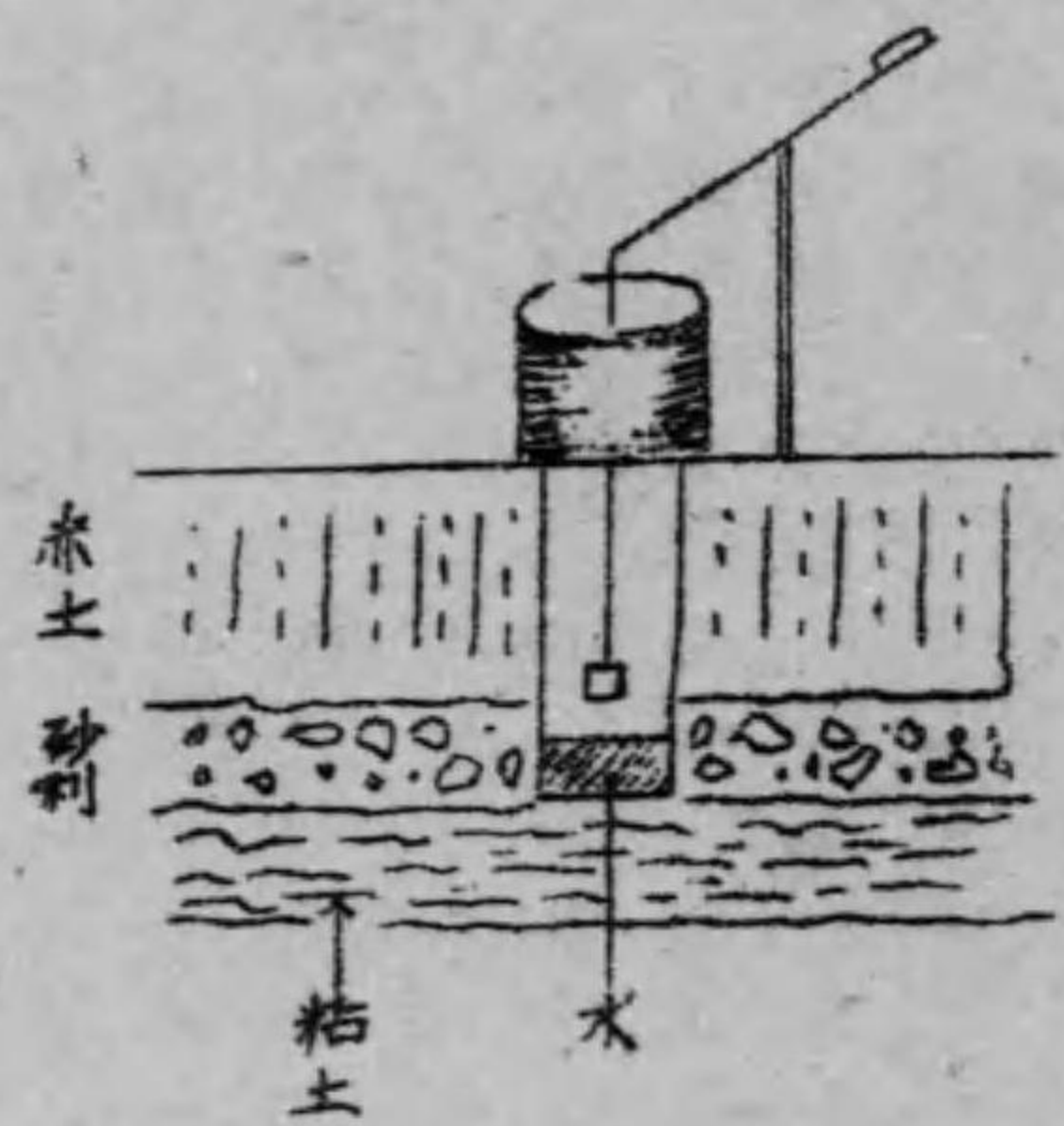
レ居レリ、米ナドニテハ之ヲ一日先ヅ一石ニ斗五升一三石七斗五升位ヲ要
ストナセリ、即チ一人宛千立方尺（四〇〇万立方尺）ノ水ヲ貯藏スルコト
ハ困難ナリ、而シテ登ミ切ツタ水ヲ要スル故（支那ナドニテハ揚子江、黄
河ノ水ヲソノマ、用ヒテタル故濁リヲレリ）明礬ナドニテノ *Suspension*
ハ止ムベキ事ニシテ微生物モ避クベク、水道工事を行ヒテヨク都会ニ流行
病、少クナルナドハ頭着ナリ。

（独 *Munich* ニテ水道工事後チフス著シク減少セリト）

然ラハ上水ハ何所ヨリ来ムベキカ、アル地方ニ於テハ雨水ヲソノマ、用
フ、熱帯地方ニ於ケルタ立ヲ受ケルタメ石油罐程ノ雨桶ヲ用ヒ之ヲ貯フ、
adren ノ如キハ之ヲ大規模ニ貯ヘ居レリ、

第二ニ *Spring* 即チ泉、地下水ヲ取リテ上水ニナシタルモノ、東京附
近ニテハ掘井ア（五、六間位ノ所ニ水出ヅル所アリ）ヲ作ル、コハ極ク
表面ノ帯水層ヨリ汲ミトルモナリ、コハ雨水、地中ニ吸収セラレタルモ
ノナリ、

サレド米國ナドニテハコノ深キ掘井戸盛ニナシ居レ共多クノ都会ハ河水



理化學研究所ノ深キ掘井戸

ヲソノ上水ヲ仰クナリ、*primi-*
time ノ状態ニ於テハコレヲソノマ
マ直ニ用フルモノナレ共、上流ニア
ル都市ノ下水下流ニ流ル、サレド始
終流レ居ル河ナレバ *pure* ニナル、
故ニコノ *decrement* ヲ到ル如ニツク
都市ニ供給シ居ルナリ、良好ナル
水ヲ得ル事ニ大都市ハ苦心ス、建築
物カ高クナレハ又ソレニ対スル方法
ヲ講セサルハカラス、

ニテ城ノ上ニアゲコレヲ高所ヨ

大阪市ニ於テハ淀川ノ水ヲ *pumping*
リ供給シラルナリ、
Newyork 市ハ *Harlem Bay* ヨリ *tunnel* ヲツクリテ水ヲ供給シ摩
天橋ニハ又 *pump* ヲ夫々用ヒテ上ゲツ、アリ、
Los Angeles ノ如キハ *winter land* ハ *desert* ナリ、故ニ二百

哩上ニヨキ水乗ヲ求メ水ヲ供給ス、

▽河川ト交通。ガク河水ハ利用セラルル力次ニ大切ナルハ之ヲ交通ニ利用スルコトナリ。河ノ地形カ交通ニ大切ナルハ勿論ナレ共交通ノ上ヨリ見テ如何ナル莫ヲ注意スヘキマト云フニ可航水路ト云フ事ナリ。歐洲ニ於テ八九%ハ可航水路ナリ、然ルニ日本ノ河ノ如キハ甚ク心モトナシ、仏方面ノ河等ニテモ「セーヌ」七%、「ロアール」九%。

亞細亞大陸楊子江ハ全長ノ半分ニモ滿タズ、四川ノ金地マデノ上流ハ交通困難ナリ、四川省ハ四方山ニテ困マレ有名ナル蜀ノ金地ヲ作り居レリ、岷山ヨリ出ズル岷江ハ四川金地ニテ急ニ拡カリ、楊子江ノ大支流ヲツクリ、ソノ会合矣ニ叙州アリ、是レ楊子江交通路ノ終矣トモ云フヘキ地ナリ、サレド普通ハ屏山縣マテ溯行シ得、之ヨリ下流ハ船ヲ通シ得、殊ニ四川ノ金地ヲ通り大峽谷ヲ出テ宜昌三峽ニテ諸支流ヲ合セ水量ヲ増シ次第ニ平原ニ出テ湖水ハ安徽、江蘇、浙江ヲ通り海ニ入ル、上海平野ノ delta ヲツクル、交通上ヨリ見テ楊子江ハ實ニ亞細亞大陸ニ貢獻スルモノナリ、黄河ニ比シ楊子江ハ格段ノ上位ニアリ、楊子江ノ裔ス恩惠ハ他ノ大陸ニモソノ比

ヲ見ズ、黄河ノ利ハ地方的ナリ、ソハ河南、山西、陝西、甘肅ノ地方ハ黄土 (loess) ヲヨク締連ス、コハ殆ンド dust ニナリ雪ノ如ク一面ニ降レリ、一〇〇ノ米、ニ〇〇ノ米ニツモリヲレリ、コレ山谷河溝地ナク降ル故常ニ黄土ヲ下流ニ流ス、河ノ水ハ甚シク濁レリ、而シテ河中ニハ常ニ新シキ洲出来瀬モ出来河ノ Course ハ変ル、サレド峽谷ノ間ニアリテハ Course モ limit セラルレ共平原ニ出デ、後ハ Course ハ始終変リ居レリ、故ニ船ヲ交通スル事困難ニシテ地方的ニ航行スルノミナリ、ソノ着シキ証拠ハ土地豊富ニ農産物多ク都会ソノ流域ニ係連スヘキ譯ナルニ都会ハ一向見ラレズ、河口ニ港ヲ見ズ、

之ニ及シ楊子江ハ河口ヨリ六〇〇哩程溯リタル漢口マテ遠洋航路ノ汽船(一萬噸級)自由ニ航行ス、換言スレハ六〇〇哩海岸線ヲ延長シ、海港ヲ内地ニ存スル訳ナリ、

楊子江ハ單ニ黄河ニ勝ルノミナラス、亞細亞、歐羅巴ヲ併セテ之程有用ナル航路ヲ有スル河ナシ、尚ソレノミナラズ漢口ヨリ約四〇〇哩溯リタル湖北ノ平野蓋キル所ニアル宜昌マデ尚ホ大河川用ヘ一五〇〇噸級ノ汽船溯

行シ得、之ヨリ奥湖北四川ノ間ニハ三峽ノ峽流アリ、此所ヲ溯ルコト困難ナル故従来ハ支那ノ河船ヲ百人位ノ人夫牽船シテ上リシガ次第ニ汽船モ交通スルニ至リ明治三十二年英ノ小 *gun boat* (河川用砲艦) 初メテ溯リタル *gun boat* ヲ作り、之ヨリ汽船ノ航通業起リ、一〇〇噸級上レリ、次第ニ發達シテ四川ノ門戸タル重慶マテ宜昌ヨリ五〇〇哩ノ間汽船業開カレ尚進ミ四川盆地西南隅ニアル叙州迄至ル、普通揚子江ノ *junk* 終矣ト呼バルルノ八屏山縣ヲ以テス、叙州ハ極ク近キ所ナルナリ、今日日清汽船ハ六七五噸ノモノマデゴノ峽流ヲ溯リ四川ノ奥マテ行キ得、コレヨリ上ハ印度支那山系ノ險阻ヲ横切ラサルベカラズ、又 *productive land* モナキ故普通叙州ヲ終矣トナセリ、コハ支那ニ非常ニ便利ヲ與ヘタリ、固ヨリ河口近クニ海港ヲ具フルハ多ク見ル所ナルガ遠ク溯リタル地莫ク之ヲ見ルハ珍ラシ。

河ニツキテハ可航季節 (*navigable season*) 可航水路ヲ見ルナリ、揚子江ノ如キハ全体ノ長サヨリ見ルトキハ殆ンドソノ半分ニシテ余リ長カラズ、サレドモ一方ヨリ見ル時ハ支流ナドニヨリ本流ノ可航水路短キニ

拘ラス大ニ可航水路ヲ増ス歎ナリ。

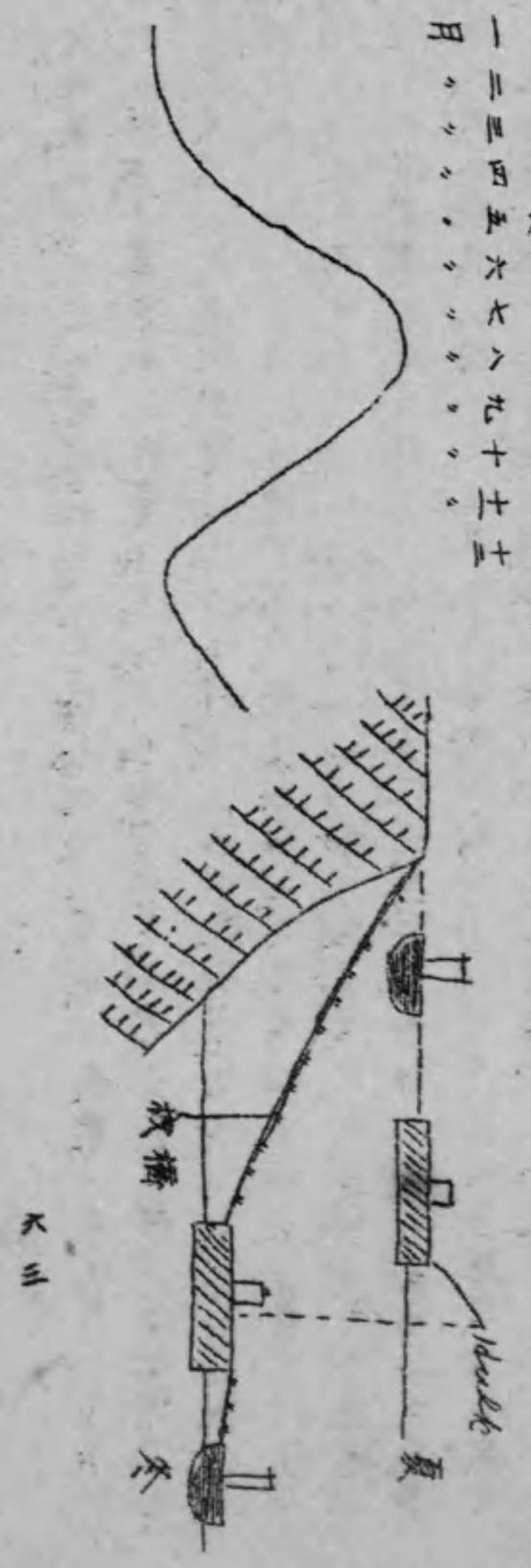


揚子江ニツキテ見ルニ湖北平野ニ出スル頃ヨリ、漢水、湘江、沅江、嘉陵江等注キ入ル、殊ニ湘江ナドハ余程上流迄汽船溯航シ得、沅江ハ常德マデ漢水ノ如キハ四川省ノ物資ヲ揚江本流ニ運ビ、湘江 (一五〇噸級湘岸運) ハ分水嶺ヲ越エテ広東ニマデ及ビ贛江ハ江西省ノ脈ノ如キ觀ヲ呈シ居レリ、一方黄河ニアリテハ大平原ニ出テ、モ支流出遭ハズ、大運河之ヲ *Canal* スル位ニテ可航水路モコノ *area* モ極メテ尠シ。

今世界各國ノ可航水路ヲ見ルニ割合ニ広カラズ。又長カラズ。北米第一
 大ニ
 ノ河川 Mississippi ノ河川用汽船、往來スルハ St. Paul マデ新ク行キ
 得。其処ヨリ上ニ於テハ余程航通不便ナリ。歐羅巴ニ於テハ地形海拔低キ
 故河川用汽船遠ク上ニ溯リ、尚ホ小船ヨク上ニ行キ得。『ロシヤ』ノ河、
 如キハ水源ヲ越エ分水嶺ヲ横切リテ他ノ河ニ連絡ス。『セー』ノ如キハ
 〇%、Leise 八九〇%モ上流マデ船ヲ行リ得。日本ノ河ノ如キハ土地ノ
 傾斜急ナリ、河ヲ航行シ得ルコト困難ニシテ大陸ノ河トハ比較ニナラズ。
 次ニ可航季節トハ温度、雨量ノ変化時トシテ山ニアル雪解ノ水押シヨセ
 増水ヲ呈ス等、河ノ水路ガ季節ニヨリテ左右セラル、ナリ、即チ温度ノ変
 化ニヨリテ結氷スル河モアリ、而シテ交通絶エ勘カラサル影響ヲ與フ。歐
 大陸ノ河ハ可航水路ハヨク發達シ居レ共露ニ於ケル冬ノ平均温度〇ハ歐羅
 巴、中央ノ南北ニ馳レリ、殊ニ露ノ方ニ至ルト温度低クナリ。河ノ交通不
 可能トナリ、狄リ露ノミナラズ中部歐ノ河 (Donau) ナドハ全部結氷シ
 水ヲ通ゼズ。『ライン』ノ如キモ時ニハ氷張り詰メ河ヲ流レテ交通ヲ妨害
 ス。

『アジア』方面ニ於テハ一層甚シ、『シベリア』ノ Ob 河ノ如キハ全体
 ノ長サニ於テハ揚子江位、流域面積ハ揚江ヨリモ大ニ navigable course
 モ長シ、現ニ支那人等ハ支那中央政府官吏新疆省ニ派遣セラル、時ハ交通
 不便故、北京ヨリ『シベリア』鐵道ニヨリ Ob 河ヲ下ル。サレド冬ハ全部
 結氷シ揚子江ガ一年中航行可能ナルニ比スレバ甚ダシク河ノ Value ヲ減
 ズ。黑龍江、遼河ノ如キ、北支那平原ヲ流ル、白河ノ如キ皆氷ル、黑龍江
 ハ一年ノ三分ノ一殆ンド交通絶スルナリ。

揚子江水量変化
 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二



又雨量ニツキテモ同様ナリ、本邦ノ如ク一年中ノ雨量ノ変化甚シカラサル所ニ於テハ差シタル影響ナケレドモ熱帯地方ニテハ河ノ水ニ非常ニ變化ヲ及ボシ乾季・雨季ニヨリテ様々ノ不便ヲ引キ起ス。

揚子江ノ如キモコノ不便アリ、即チ右図ノ如ク漢口ノ如キハ夏季ハ冬ヨリ約五〇スノ高サニ *Maximum* ノ時ニ於テモ三一八呎（九・六米）ノ差アリキ、重慶附近ニ於テハ二〇米（六〇尺）ニ及ビシ *Maximum* モアリ、尚ホ下流ノ南京ニ於テモ三米乃至四米ノ差アリ、カクノ如ク非常ニ水量異ナル故夏期ニ於テハ大汽船航行シ得レ共冬季ハ淺瀬トナリテ航行得ズ、深キ所ヲ求メテ *Canal* ヲ屈曲シ航行ク不便モアリ、河川用ノ為ニ特ニ造レル吃水淺キモノハ一年中航通シ得レドモ普通ノ船ハ航行シ得サルコトナル。

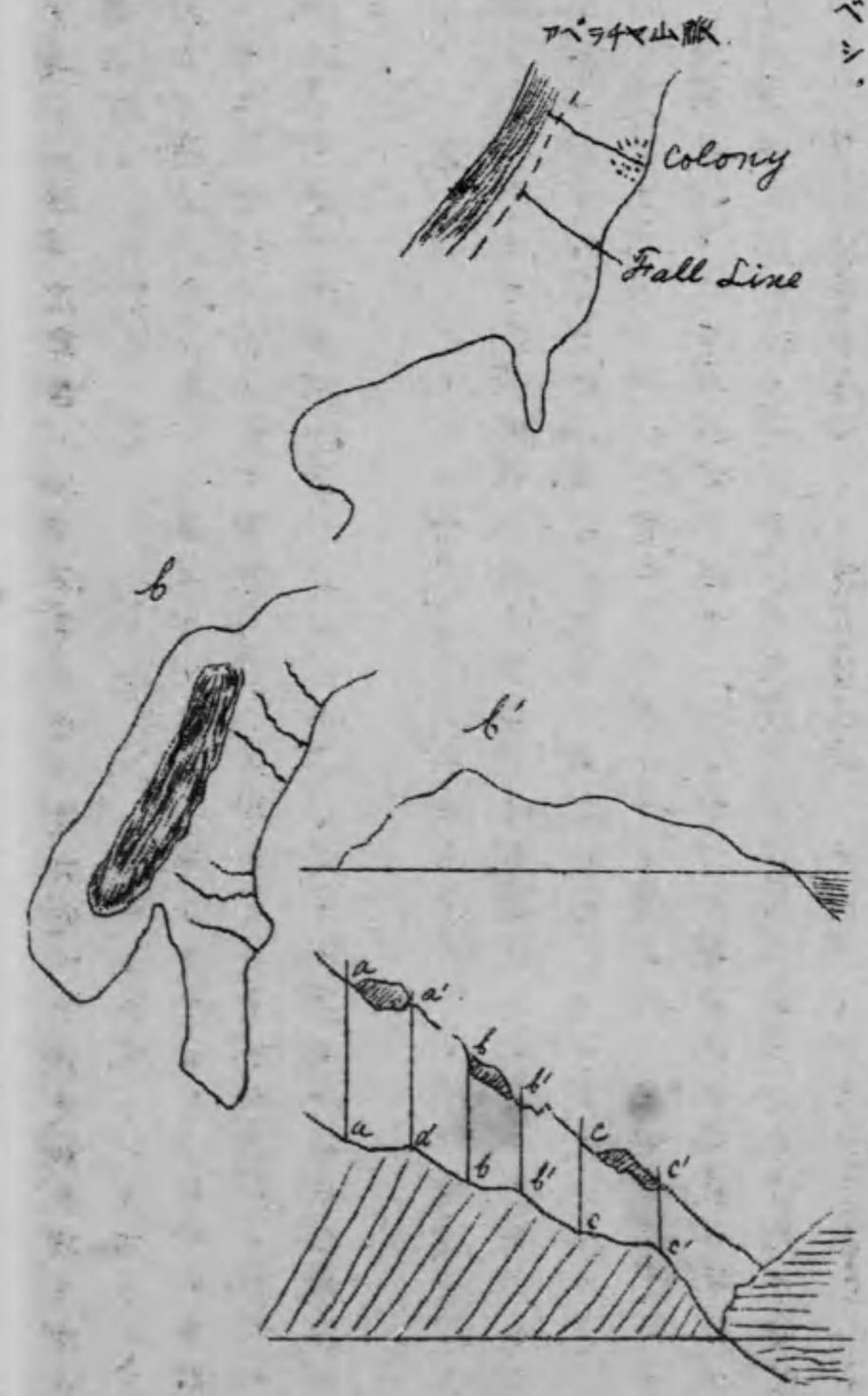
大冶鉄山ノ鉄ヲ日本枝光ノ製鉄所マデ一回モ積換ナシニ運搬シ得、之モ春ヨリ秋ノ間ニカケテ行ヒ、冬季ハ河水少キタメ中止ノマムナキ状態ナレドモ仕方ナシ。

或ハ又上流ニ高キ山アル河ニ於テハ雪解ニヨリ水流増ス、揚子江モ多少コノ影響アリ、斯クノ如ク水量ノ変化アル河ニ於テハ港ノ設計ニツキテ留意ヲ要ス。

揚子江ニ於テハ *bulks* (萬足船) ヲ用ヒ居レリ、コレハ同時ニ倉庫、棧橋ニ用ヒラル、カクノ如ク可航季節ハ支那ニテハ北支那ニ於テハ河水結氷シ汽船直接ニ天津ニ至ラズ、冬ニテハ外國貿易ハ殆ド睡眠状態トナル。

▽河川ト工業。次ニ河水ノ *Water Power* 利用セラル、河ノ傾斜緩慢ナルハ交通ノ為ニハ非常ナル利益ヲ與ヘ居レ共急流ガ航通ノ *Value* ヲ減スルト共ニ流レ急ナル河ニ於テハ落差ヲ利用シテ其ノ *Value* ヲ差引シ居レリ、即チ第一ハ落差ノ大ナルコト、第二ハ水量ノ多キ事、而シテ四季ヲ通シテ變化少ク豊富ナル事ヲ必要條件トスル、コノ水力利用ハ文化發達幼稚ナ時代ヨリ之ヲ見ル、日本ノ水車ノ如キ又大阪平原ヲ囲ム山脈ノ水ヲ利用シテ穀類ヲナスガ如キ *primitive* ノ光景ヲ見、石神井ニ於テハ *primitive* ノ針金製造ヲナシツ、アリ、米大西洋方面 *Appalachia* 山麓ニ植民セレ移住民ハコノ山脈ヨリハ水ヲ利用シ工業地帯達セシナリ、 *Fall Line* ハ

即チ小都會道路線タリ。
Scandinavia 半島ニ於ケル水力利用ハ世界ニ於ケル *typical* ノモノ
 ナルハシ。



大六

コノ地ノ地盤ハ花崗岩ノ如ク硬質ノモノ故軟地ハ早ク侵蝕シ硬キヤハ細ク緩カニ流ル。 *land of water falls* ノ名アルモ宜ナル有様ナリ。石岩ノ産ナキ地故必要ノモノハ英ヨリ取寄セラルレ共尚ホ水力ニヨリテ殆ド工業ノ作用ヲ補フ。即チ製材事業、マツチ製造ハソノ大ナルモノニシテ原料ヲ他国ヨリ取り寄セ織物業ヲモナセリ。又水力電氣ヲ利用シ鉱業ニ一大進歩ヲナセリ。

尚ホ「イタリー」「スウイス」之ニヨク似タリ。即チ「アルプス」ヨリノ水カヲ利用シ石炭ノ缺乏ヲ補ヘリ。コノ水力利用ニツキ直接ニ水車ヲ廻スト共ニ發電事業ハ極メテ大切ナルモノトナリ居レリ。水力ヲ今日 *Water* *Coal* ト呼ブ如ク、之ヲ最モ早ク、大規模ニ利用セルハ米國合衆國ナリ。カノ「ナイメガラ」瀑布利用ノ如キハ著シキ一ツナリ。コノ瀑布ニ於テハ今日利用セルハ六〇万五〇〇〇馬力。拡張工事完成ノ時ハ四二万馬力余計ニ出末、コノ瀑布ノ風致ヲ損セサル様ニ理想的ニ用フレバニ五〇万馬力ノ水力ヲ利用シ得、コハ一五〇〇万噸ノ石炭ト同様ノ力ナリ。然ラテ旅客ノ為ニ開ケラレタル町ハ今日ニ於テハ美事ナ工業市トナリ、種々ノ化学工業（曾連

大七

加里ナドノ塩化物、*Californium*、肥料、金属、ソノ合金等（乗達シ

コノ市並ニコノ附近ノ都会ニ電燈、電車ニ志用甚ダ盛ナリ、

即チ水力豊富ナル所ニ電燈所ヲ設ケ之ヲ利用スル事米ニ於テハ非常ニ乘

達シ附近ノ都市ヲヨク *Sialtanis*、電燈、電車ノ電力ノ必要上四〇〇哩

遠隔ノ地ヨリ電力ヲ引キテヨク收支ヲ償ハシメ、汽車ノ電化ニ迫進シ、甚

大規模ニ行ハレ居レリ、今

日本ヲ横断セル鉄道ノ中、

M. P. L.、如キ凡テ電力ニ

テ命蒙国ニ於テハ今日ニ於テ

ハ少クトモ五〇〇〇万馬力ノ

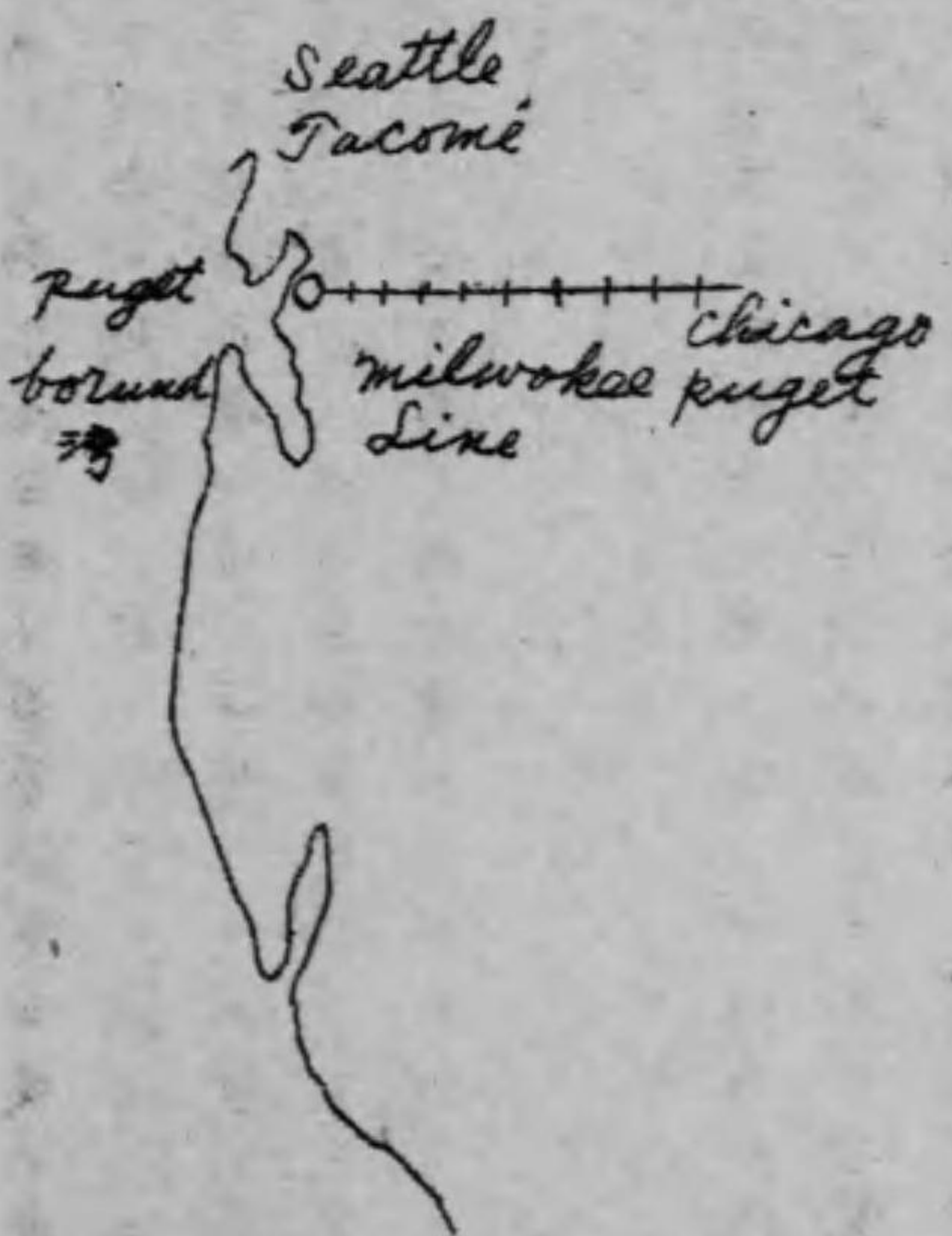
動力ヲ蒸気及水力両方ニテ用

ヒ居レ共次第ニ石炭ヲ節約シ

水力ヲ利用スルトキハ石炭ノ

壽命長ク、從テ大工業ノ壽命

ヲツナグベシ、石炭缺乏ノ声



聞ユル今日、尚水力ニヨリ豊富ナル石炭ノ壽命ヲツナグントシツ、アル米
ハ幸ナリ、合衆国現在利用ノ水力ハ精々一〇〇〇萬馬力ノモノナリ、之ニ
ヨリテ三五〇〇萬噸ノ石炭節約ヲナシツ、アリ、若シ今一日十二時間宛一
年中絶ヘズ一馬力ヲ出スタメニ石炭ヲ焚クト五五噸ノ石炭入用ナリ、若シ
今日米デ五〇〇〇萬馬力ヲ全部水力ニ代フルトキハ丁度七〇〇萬噸ノ貨車
ヲ動カス程ノモノナリ、故ニ *Constant* ニ得ラル、水力利用ハ重大視セマ
レツ、アリ、

今日全世界ニ於ケル水力ハ現ニ何程位利用セラレラルカ、
日本ニ於テハ琵琶湖ヨリ水力ヲ引キ乘電事業ヲナシタルガ最初ナリ、大
正十年末ノ調査ニ於テハ日本ハ三萬馬力ニナリ居レリ、若シ全部之ヲ利
用シ得タルトキハ現在使用ノ四〇%ノ石炭ヲ減シ得、コハ湯水量ノ時ニテ
一〇〇〇萬噸ノ石炭ハ尚減ジツ、アリ、空シクナガス水ハ四〇〇〇萬噸ノ
石炭ヲ一年ニ河ニ流スガ如シ、仮ニ日本全国ニテハ一〇〇〇萬キロワット
ノ電力ヲ得之ヲ利用セルハ七〇〇萬キロワット、有望ナモノ、ミニテ五五
〇萬キロワットヲ用ヒ居レリ、信濃川、七五萬キロワット、弟ニニ利根、

河賀川、木曾川、各々五〇萬、次ニ天龍三〇萬、神通川、ニ五萬、河武隈、黒部、ニ〇萬、富士川、大井川、一五萬、其他種々ナレ共ニ半數モ大ナルモノニシテ我國ハ急流多ク、雨量多ク雨量ノ差大ナラサルハ *white coal*ヲ得ルニ甚タ有望ナルニヨリ本邦工業促進ニカヲ添フルモノナリ。

	水産	炭産	
U. S. A.	30,500,000 ^{H.P.}	9,540,000	31.3%
Norway.	5,500,000	1,350,000	24.6%
Switzerland	1,400,000	1,070,000	76.5%
India	27,000,000	180,000	0.7%
Brazil	25,400,000	250,000	1.1%
China	20,000,000	1,365	0.
日本	8,230,000	1,700,000	18.9%

△河川ノ價值ト地理的位置。河ノ *Value* ヲ考フル点ニ成ルナレハソノ地理的位置 (*Geographical position*) ナリ。

即チ「*シベリア*」ノ河ニ就キテ *geographical position* ニ於テ著シキモノナク河トシテハ大ナルモノアレ共ソノ *geographical position* 不備ナリ、何レモ北極海ニ面シ歐洲ニハ近キレドモ交通上、*Value* ハ殆ンドナシ。

反之英ノ河ハソノ *Value* 極メテ大ナリ、ソハ必ズシモ河ノ長短流域ノ如何ニハ因セザルモ英ノ位置大西洋ノ門戸ナリ、又流域ニ *productive* ナル工業地ヲ備ヘ其上英ハ歐洲中テモ雨量多ク河水豊富ナリ、又河流ハ幅広ク速洋航路ノ船モ内地ニ入ルコトヲ得、何レモ其河ニ港市ヲ備ヘ且ツ英ノ島ノ *Slope* 險阻ナラザレガ故ニ上流ハ運河ニヨツテ連絡セラル、*Stames* ヲ溯ルト *Bristol Channel* ニ行クヲ得、歐洲ノ河ニアリテモ「*ライン*」ハ有利ナル地ニアリ、ソノ河口ハ大西洋航路ノ終点ニシテソノ航路ハ歐洲ノ交通路ト關係ス、ソノ河口ハ和蘭流域ノ大部分ヲ占メ、ソレニク一大工業地ヲ控ヘ居ル莫ヨリ大ニ工業品ヲ輸出ス、通過貿易ノ爲メ便利ヲ與フ。

米ノ Mississippi 河モ *productive* ナ平原ヲ流ル、故便利ナリト云ハル、
 ガ若シ東ニ流レテ太平洋ニ注クナラハ今一層ソノ Value 高メシナラン、
 現今航通上ツノ弊ニ付キチハ少シク不備ナリ、ソノ河アルタメ下流ノ綿、
China ノ生産地ハ非常ニヨイハケロヲ見出ス、
 コノ地理的位置ヲ考フルニ *position* ノミナラス政治的ニ河ノ位置ヲ考
 慮スル事又肝要ナリ、今平野ヲ河ガ流レ居ル際 *Alps* 緩カナル場合ソレ
 ガ国境ヲ通ルタメ非常ナル障害トナリ又一国内ニテリテモ行政區画ニ妨害
 トナル事多シ、支那、如キ一省毎ニ行政ヲナス国ニ於テハ河ヲ溯ル間ニ幾
 回モノ関稅ヲ課セラル、事多シ、歐洲ニテモ十八世紀末迄ハ「*ベルベル*」河
 ニ於テソノ中心タル *Magdeburg* ヨリ *Hamburg* 行クトスルトソノ僅
 カノ間ニ十四ヶ所ノ関所ヲ *pass* セネバナラヌ状態ニシテヌ「*ライン*」ノ
 如キモ十九世紀ノ初メニ國際河川ト成リ變ル迄ハ到ル知ニ於テ課稅セシメ
 ラレタリ、ソノ妨害ヲ取り除キ自由ニ國境ヲ開放スルコトハ河ノ為ニ非常
 ナル利益ヲ興フルモノナリ、カノ *International River* ノ如キハ即チコ
 レニシテ而シテ現在ノ「*ライン*」河ハソノ著シキモノナリ、*Donau* 河下

流ニ行ハレシガ大戰ノ後 *Versaille* 會議後開放セラレテ新ニ國際河川トシ
 テ開カレタルハ *Elbe* (*Prag* ヨリ會長ニ至ル間) ニシテ *Moldau* *Wlta-*
na) トキバル、
 (a) *Elbe* 河
 (b) *Walter* (*Oppa* 河ニ合フ)
 (c) *Memel* (*gradens* 下流)
 國境
Prague
Wlma
Donau 河 (*Wlma* 下流)
Oppa
gradens
Memel (*Niemenz*) 河
 (c)

七四

International river / 特色ハコノ水路デ一切ノ国ノ国民ノ財産ノ船
 船ガ凡テ均等ナル待遇ヲ受ケル。何レノ国ノ国民ノ財産ノ船舶ニ対シテモ
 沿割區ノ最惠國ノ国民又ハ財產ノ船舶ニ比シテ何等ノ利益ナル差別ヲ致ス
 ル事ヲナサズ。若シ國際河川ノ兩岸ガ一國ニ屬シテ居ル場合ニ於テハソノ
 川ヲ交通スル船ハソノ積メル貨物ニ封印シ又ハ税關ノ官吏兼リ込ミ監督ス
 又ハ河ガ二國ノ國境トナリ居ル時ニハソノレヲ通過スル貨物ノ船客ハ一切ノ
 関稅ヲ免除サレ。若シ貨物ノ乗客ガ降昇スルトキニハソノ河ニ沿ツタ國ニ
 於テ特ニ定メタ港ニ於テナス。即チ課稅ス。
 之等ノ河ニ於テハ海ヨリ大船ニテハ航航不可能ナレ共小蒸汽ニテ行クコ
 トヲ得ルナリ。國際河川ニヨリ直接利益ヲ受ケル國ハ *Checks* *Blankie*
 ナリ。元ハ英國ニシテ。其時ニハ海ニ出ル路アリキ。即チ海港ヲ有シ居
 リシナリ然ルニ以前ニハ河ニヨリテ *bartering* = 貨物ヲ出セシガ其ノ時ニハ
 故國內ヲ通過セザルベカラザリキ。大戦後分發シテ純然タル内陸國トナリ
 シ故ソレヨリ出入スルモノハ必ラズ他國ヲ通過セザルベカラズ。然ルニ國
 際河川ニヨツテ豊富ナル工業品ヲ自由ニ輸出入スルヲ得ルニ至レリ。南洋

船ハ河ニ入ル事ヲ得サル故ニ小蒸汽ニヨリテ河口ニテ大船ニ積ミ換フルガ
 其知ニハ自由ナルモノアリテソノ地代ヲ拂フノミニテ税關稅ノ未償ヲ受ケ
 ズ。

第二章 海洋ト經濟トノ關係

▽自然的状态ヨリノ影響

海洋ニ就キテ自然の *condition* ヨリ見レハ陸ノ溫度ノ調節、湿度、雨
 量ヲ供給シ、更ニ海ヨリ如何ナル自然ノ利源ガ得ラル、セト云フニ水産
 物アルヲ知ル。之ハ自然ト直接ニ關係ヲ有シ、ソノ深淺ニヨリテ鯨魚モ異
 リ、或ハ温带、熱帯ノ海ニヨリテ夫々異ル、熱帯ニハ真珠、珊瑚、寒帯ニ
 ハ毛皮等アリ、水ノ湿度、清濁等ノ區別ガ悉ク水産物ニ影響シ、季節ニ
 態シテ又變化スル、或季節ニナルト大魚群移住ス。

又海ノ地形(深淺)ニヨリテ海草類ノ繁茂ニ影響シ、又海草アル事ハ魚類ノ棲息ニ好條件ヲ與フ、之等ハ食料ノミナラス又化学工業ノ原料トナル(大度)、故ニ恰度陸上ノ土地ヲ吟味シ、如何ナルモノガ適スルカヲ調査シテ適シタモノヲ植ウルト同シク海ニ於テモ systematic ノ調査ヲナシ根本的方法ヲ定ムル事ハ最モ大切ナル事ナリ。(臨海実験所ナドハコノ一例ナリ)

又独リ其ノ海ノ自然ノ條件ノミナラス、陸上其他ノ Condition モ之ニ加ハル、即チ熱帯ニアリテハ魚類多ク取レル如ニアリモ蒸着キ為メ加工シ貯藏スル事不可能ナルガ故ニ十分ニ Resource ヲ開墾スル事ヲ得サルモノアリ、サレド文明國ニナルト大々文化的設備ニヨリテ中央市場ニ送ル、印度洋等ハ大海ナリ、印度洋ハ勿論大洋ノ熱帯ノ魚類ガ世界ノ市場ニ供給セラレザルハ之等ノ故爾ニヨルナリ、今日大漁場ト稱セラル、ハ温帯ヨリモ寒帯ナルガ之ヲ処理スル上ニ好都合ナル條件アルガタメナリ、 Near-land 附近ニハ Newfoundland bank ト稱セラル、大漁場ナリ、其所ニ魚ノ棲息ニ便アリ、現ニ米大陸ガ大植民地トシテ發展スルニ至

リシハ Columbus ノ発見ニモ依ルガ直接動機トナレルハ Canada 及ヒ Newfoundland ノ北ニアル漁場ヲ開墾スルヲ為メ漁人ノ移住シ来リシヲ最初トス。

第二ニ大ナル地方ハ North Sea 附近、尚ホ英海峡ナリ、之ハ氷キ海ナリ、ソノ大部分ガ一〇〇米未満ニシテ Banks 無數アリ、殊ニ有名ナルハ Dogger Bank ニシテ各國ノ漁船ノ集中スル所ナリ、又英海峡ハ鯨ノ大群ノ来ル所ナリ、 Norway ノ北岸ハ鱈、鯡、等得ラル、又太平洋ニアリテハ日本近海ナリ、独リ日本ノ近海ノミナラス、シベリアノ河川ハ鱈ヲ以テ着ハル。

反対側ノ米モコノ Resource ニ富ミ、又海獸ニモ富ム、又斯ノ如キ有機物ノミナラズ、鉱物モアリ、塩ナドコノ例ナリ、又大洋ニ孤立セル珊瑚礁ニアリテハ其ノ地方ニ独特ノ肥料ヲ供給ス、(日本ラツサ島、Bangaul) 一番最初ニ発見サレシハ印度洋ノ Christmas Island、南洋ヨリ少し前ノ Ocean Island、Hawaii Island ニ於テハ盛ニ燐礦ヲ出ス、之等ハ所云珊瑚礁ナリキ、其如ニ魚ノ骨ニアル燐、カ炭酸石灰ノ上ニ落チ高熱又

ハ雨ノ為メニ化学作用起リテ燐酸石灰生ズ、之ハ熱帯ノ絶海ノ孤島ニ限ラ
レタル富源ナリ。

▽生産以外ノ海ノ影響

生産以外ニ海ハ又 *Transportation* ノ為ニ役立つ事重要ナリ、海ハ大
々ノ国ノ領海トナレル所ヲ除キテハ公海ニシテ何國ノ船ニテモ *free fair*
trade トシテ利用スルコトヲ得ルナリ、殊ニ特殊ノ海流、風アル如ク
ハ初期ノ時代ヨリ運搬ノ業ハ初マレリ、又之等ノ海流アルタメ新地、新航
路発見セラレシ事ハ世界ノ歴史ニ見ユ、海ヲ交通ニ利用スルト動力ヲ要ス
ルコト少クシテ事足ル、帆船時代ニハ勿論一文モ費用ヲ要セス、石炭ヲ利
用スル様ニナリテモ陸ニ比シテ極メテ少シ、海ニアリテハ一人ヲ四十噸ヲ
動力ス事ヲ得、假リニ一ニ〇〇噸ノ船トリトスルトニノ乃至三ノ列車ニ
積ミ得ルト等シヤ、*capacity* ヲ有スルナリ、ソノニ〇―三ノ列車ニアル
人ハ職員等ヲ *average* スルトセニ〇人位ヲ要スルガ船デハ百人位ニテ樂

ニ固ニ合フナリ、製造費ヨリ云ヒテモ汽車ヨリ速ニ廉シ、又一方海ハソノ
沿海地方ニハ自然ノ整潔ヲ回ラシ敵ノ防禦物トナレ代リ又一方鎖國的ニ十
リテ自己ノ發展ヲ妨グル事モアリ、少シ自然ノ低ニ築造ナスト海國、島國
ハ初メニハ *expansion* スル事少キモ、少シク文化進メバ却テ反対ノ現
象トナリ、移民文明光ニ来リ、探險等ニ依リテ開闢セラレ特殊ノ経済区域
(*economic provinces*) ヲ作ルコトアリ、英ハ輸入超過國ナルガ海ヨリ
度タル運賃等ニヨリソレヲ補フ、海岸地帯ガ交通業者、漁業者ノ集合スル
地トナルコト珍シカラズ、

第三章 世界各大陸ノ自然的地位及ヒ生産

▽亞細亞大陸

世界ノ各地ニ於ケル経済上大切ナル地方ニ就キテ大体述ブベシ、
亞細亞ニ大切ナル地方(主要ナル生産地)ハ *Mesopotamia* 地方ニ限ラレ、

サレド其他ノ都市ニテモ或特殊ノ事ニ就キテ意義アル活動ヲナスモノ粉カ
 ラズ、
 「シベリヤ」ガ「シベリヤ」鉄道開通後交通ノ要路トナリシガ如キ
 好例ナリ、今「アジア」ヲ南ヨリ見ルニ西「アジア」ニ於テハ「アラビヤ」
 等ノ heart アリテ見ルベキモノナシ、ソノ大砂漠ノ間ニアリシ *Assyria*,
Babylonia ノ栄ヘシ *Mesopotamia* 平原ハ「アラビヤ」人「トルコ」
 人ガ農業ニ励マザリシタメ昔ノ沃土ハ無價値トナレリ、南印度ハ大切ナル
 生産地ナリ、印度ノ語ハ色々ニ用ヒラル、乍然英ノ印度帝國ハ印度支那半
 島ノ一部ヲモ加ヘテノ名称ナリ、今所云 *India* ヲ見ルニ面積大ニシテシ
 カモ西方ニ於テハ heart 横ハリ、半島部ニ於テモ雨量少キ所アリ、最
 モ有利ナル如ハ西北 *Punjab* 地方ナリ、*Indus R.* ノ上流地方ナリ、コノ
 地方ハ *Five-River-Land* ト呼バレ、殊ニ印度ノ *geographical*
position 良クナリタルタメ農業状態変リ、稍マ氣候良好ナル如ニ於テ
 ハ小麦ノ栽培ヲ見、従来ノ米、麦、麻、外ニ世界的生産ヲ加ヘタリ、其コ
 リ東ニアル *Ganga* ト一方 *Brahmaputra* アリ、水量豊富多ク、*Cannal*
 ニヨリ交通便ナリ、其所ニ *delta* アリテ *hundreds* ノ地方ハ一五

ノ米ハ細カイ土壤ニ掩ハル一帯ノ平野ハ *Hindustan* 平野ト呼ハレ一億ハ
 千万ノ住民アリ、九〇%農業ニ従事ス、殊ニ之等ノ河ハ雨季ニナルト上流
 迄通ジ三〇〇哩ニ到ル、コノ地方ダケデニ回乃至八回ノ收穫ヲ得テレ重要
 ナルハ米ニシテ八千四百万 *acres* 小麦三五五〇万、綿ニ五〇〇万、油
 からし、七〇〇万、胡椒四三〇万、黄麻ニ五〇万、*Sugar* ニ八〇万、
 ニ七〇万、殊ニ台地ニ至ルト一面ニ平ニシテ玄武岩ガ崩レテ良土壤ヲ造リ
Deccan 地方ガ世界ニ有名ナル麻産地ナリ、之ニツギ黄麻、阿片、其他
 種々ノモノガ世界市場ニ送ラレ砂糖ハ自己消費ヲマシ、之等ノ生産物ハ印
 度支那半島ニ於テモ同シク米ガソノ生産品ナリ、
 印度支那半島ハ全体ニ山勝ナリ、ソノ間ニ「アジア」ノ内部ヨリ流レ
 来レル大河貴キ大ナル平野ヲソノ下流ニツクル、コノ地方ノ氣候ノ特色ハ
 湿度高キコト、雨量多ク米ノ耕作ハ理想的ノ地ニシテ *export* ナル、米
 ハコノ地方ガ主ナリ、*politically* ニハ複雑ナル地ニシテ西ハ *Burma*
 (英)半島部ニ於テハ英ノ直轄植民地如クニ散在ス、(Singapore)
 (Malacca, Penang) } *straits settlement* ノ、後部 *separated*
 ノト

Malay States. コハ英ノ勢力範囲ニアリ。『シヤム』独立国アリ。ソノ東ニハ仏領印度支那ナリ。如斯政治同ニハ複雑シ『シヤム』独立シ居レ共一方ニハ英ノ植民地一方ニハ仏ノ植民地アリテ兩勢力ハ一歩一歩コノ國ニ侵入シツキアリ。即チ『シヤム』ハ Raffles State トシテソノ存在ヲ全クシ居レリ。ハ緩衝國。殊ニ最近『マレー』半島ノ『シヤム』領モ英ニ侵サレ居レリ。サレド産業上ニ於テハ著シク共通ノ性質ヲ具シ。Pravara, ji, Saluin, Meran, Mekong, Songkoi 等ノ沿岸。殊ニ Prava-rai 下流。Saluin 下流。Meran, Mekong, Songkoi ノ流域等何レモ極メテ豊饒ナル米ノ産地ヲ造リ。有名ナル米ノ輸出港コノ河口ニ存ス。Pravara 下流ニ Rangorn (葡貢) Saluin 下流ニハ Kaulman, Saigon (西貢米) Bangkok 等アリ。此等ノ地方ニ於テ如何ナル人間ガ米ノ栽培ニ從事スルカ。土人アレ共支那人ノ勢力甚大ナリ。殊ニ『シヤム』ニ於テハソレガ最モ著シク『シヤム』ニ於ケル人口ハ一〇方アレ共支那人ニ五〇方ト推定サレソノ大部分ハ米ノ耕作。ソノ精米ソノ輸出事業ニ從事ス。而シテ『シヤム』輸出現額ハ〇%ハ米ナル莫ニ於テ見ルモ如何ニ米ガ

主要位ヲ占メ從テ支那人ノ勢力ノ如何ヲ知ルヘシ。
 佛支ハ『サイゴン』ノ脇ニ Cholon (提岸) アリ米ノ market ナリ。十六万ノ人口ノ中四万ニ千支那人ニシテ精米所ノ過半ハ支那人經營ス。仏支ノ北東京ニハ大部古クヨリ支那人入り居レリ。コノ方面ニ於テハ米ノ耕作地ハ重ニ干澆ニシテソレヨリ上ハ mountain land ナレ共『シヤム』ニハ Teak 等ノ木材アリ。最モ注意スヘキ産業トシテハ Plantation (栽培事業) ナリ。
 又コハ最近十数年ノ間ニ非常ナル急速ヲ遂ゲ自動車用ノ『ダイヤモンド』ノ需要トホ甚大ナルモノアリ。コレニツキテハ英領植民地模範栽培地トナリ米レリ。彼等ハ只土人ガ従来耕作セルモノニ注意シテ番殖スル道ヲ講ズルノミナラス。氣候、地味、勞力ニツキテノ長ヲ十分ニ調査シテソノ土地ニ最モ適スルモノヲツクルナリ。二十世紀ノ初(一九〇〇)世界ゴムノ産地ハ『ブラジル』(ニ六七五〇噸) Wild Rubber 栽培地ニ於テハニ七一四六噸) plantation Wild Ru. 27/36

1900: - Brazil 26750 plant riv.

合計

53,890

八四

Brazil の Amazon 地方ニホツホツ繁茂セル「ゴム」樹ニソキテナリ
 リ仲買人ノ手ヲ経テ賣買シ居レリ。サレド極メテ primitive ノ方ナリ。
 Wild Rubber の Malay, Africa 等ヨリ出ズ。印度支那半島ノ「ゴム」
 樹ノ種類ハ非常ニ多ク、中デモ最モ有名ナルハ *Ficus elastica* +
 リ。「ブラジル」ノ樹ハ *Hevea brasiliensis* ニシテ後者ノ方多ク液ヲ
 出ス。英人々ニ注目シ初メ *Hevea brasiliensis* ノ実ヲトリ London
 Herbarium ノ植物園ニ於テ試ミシニ好成績ナリシ故苗木ヲトリ英領ノ熱帯地方
 ニ植エシメテ Ceylon ニ植エタル如成績ヨク、更ニ Malay 半島ニ植エタ
 ル如結果良好ナリシ故大規模ニナスニ至リ。「ゴム」園ナル人造園ヲソク
Ficus elastica ヲナゲウチ、新ニ *Brasiliensis* ノ種ヲ植エ付ケ今日
 ハ殆ンドコレナリ。英ハ勿論大資本ヲ投ジ土人ヲ使用シタリシガ *Logg*
 ナル故印度人ニモ試ミサセタレ英一番良好ナルハ支那人ナル故之ヲ多く使
 用シ。支那人自身モ plantation ヲナシ日本人ノ栽培モ勘カラズ。殊ニ

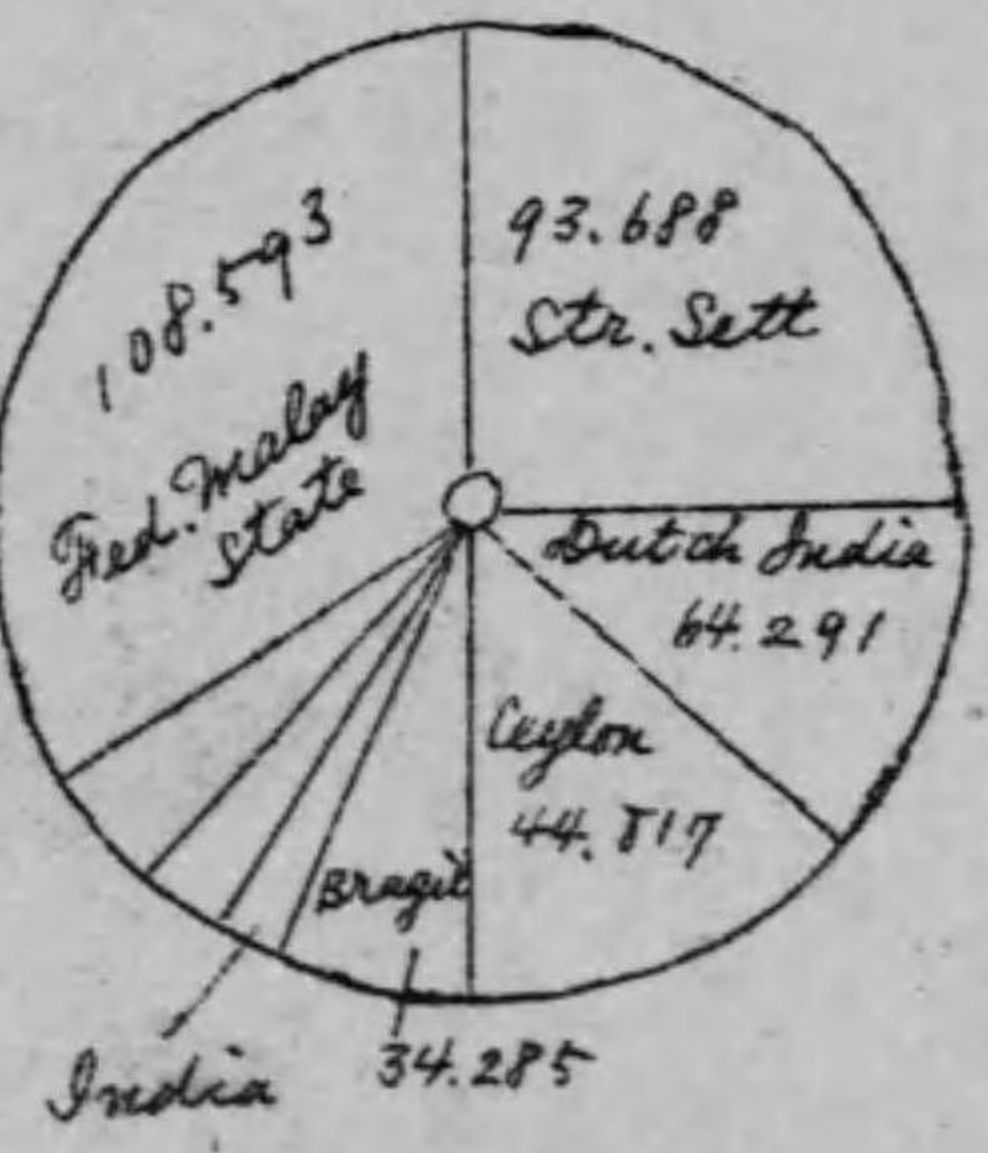
Singapore 後部 Johore 河ノ河口附近ニ多シ。日本人ノ投資額一〇〇。
 〇田ニ及ビ Johore 州ニ於ケル「ゴム」ノ三〇%ハ日本人ノ「ゴム」園ヨ
 リ出シ。

即チ二十年後ニ於テソノ状況ハ左ノ如シ。

1920: Wild Rubber A 3000 tons

plantation 360000 tons

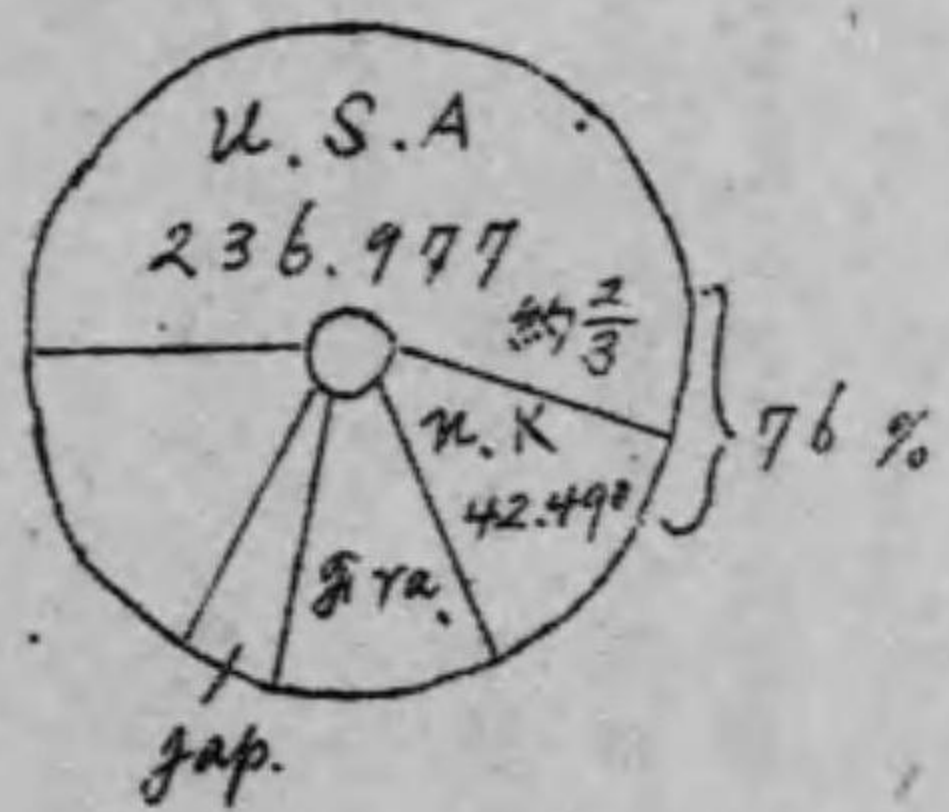
plantation ノ数量ニ植エタルハ注意スバク「マジメ」ノ Monsoon



地方ニ於テハ「ゴム」ノ栽培着シクナリ
 印度・和領支那ニ於テモ栽培ノ「ゴム」
 生産額ノ殆ンド九〇%ハ Asia Mon-
 soon 地方ヨリ産ス。
 之等重量ノ「ゴム」ヲ受入レ消化スル
 國ノ方ノ側ヲ見ルニ次頁ノ図ノ如シ。
 之等地方ハ尚錫ニ於テ優位ノ産地ニシ

八五

テ *Bangka*、*Billiton Island*、錫ハ世界ノ六〇%ヲ占ム、ソノ労働者亦支那人ニシテ、之等ハ露天掘ニテ極メテ簡單ナル採掘法ニシテ *Strait Settlement*ニ於テ最大多數ヲ占ムルハ支那人ナリ、一九二一年ニ於テハ「ゴム」一億九千萬噸、錫六八〇萬磅ニシテ輸出金額五八〇〇萬磅ナリ、コハ近年中最も不景氣ノ時ニシテソノ前年ハコノ倍ノ輸出ヲナシニ億九千万円アリナシ、*Strait Settlement*ノ住民中之等産業ニ従事スルハニ



百萬人位ノ人ナリナリ、故ニ一人ノ仕事量ヲ獎勵ニスルニ一人三〇〇ノ田乃至六〇〇ノ田ノ輸出ヲナシ居レリ、之ヲ日本ニ比ブルニソノ年ニ於テ内地人口、内地輸出額ヲ見ルニ二ノ田乃至三ノ田ニ過ギズ、即チ十倍乃至二十倍ノ *production* ナリ、自然ノ風土、善悪ニヨレ共價カニ二十年間ニ之大ノ差度ハ英人ノ指導宜シキ結果ト見ラレ、之ト同シク和領印度支那ニ於テハ *Batavia*、

Buitengorg、植物園ハス農事試験場ニシテ植民地各地方ニ送ル植物ハ「ゴム」砂糖 *opie* 煙草 *Judigo* 靛那 (*Chin-chona*) コハ *Andes* 山中ニ産シ、熱帯ヲ直スル *Indian* 使用シ居タリシガ *Peru*ニ植民地 *Spainia* 人自國ニ持チ帰りタルヲ起原ナリ、而シテ南人ガ熱帯ナレ *Java* 等ニ植エツケタルナリ、ハ塩酸キニ一ネ、硫磺キニ一ネ等ニシテ輸出セリ)

支那ニ於テ最も経済的活動ノ盛ナルハ大眼揚子江黃河流域、滿洲、遼河、松花江流域ニシテ之等ノ地方ハ又 *Monsoon*ノ影響ヲ受ケ交通開ケラル故多數ノ物産ト共ニ多數ノ人口ヲ擁シ世界最高ノ人口密度ヲ有シ、揚子江流域ハ支那全面積ノ四割ナレドモ人口ハ七割ヲ示シ居レリ、殊ニ揚子江流域ノミナラズ、黃河下流ノ平野、直隸、河南、山東、安徽、江蘇、湖北、江西ニ既キテ見ルニソノ面積英佛独三ヶ國ヲ一所ニシタルヨリ大ニシテソノ上ニ人口密度一四七、農園ナドモ大規模ニ巧シニ家畜ヲ用ヒ居レリ(北米合衆國程ニハアラザレ共)又土地肥エタル故ニ毛作ヲナス事モアリ、黃河流域ノ如キ交通ニハ便ナラザレ共黄土ヨリ *Transport* シ未リ平原ニ

末ルトソレヲ河底ニ沈澱シ、河、Course 変化スル故黄土ハ到ル知ニ肥
沃ナル地ヲツクル、揚子江ニ於テハ黄土ハソノ下流地方ニノミ見ルガヨリ
上流ヨリ砂ヲ流シ末ル故ニ下流ノ Delta 附近ハ豊饒ナリ、

揚子江ハソノ面積「ガンダス」コブラマ「ブトラ」ヨリ大ニシテソノ河ノ
途中ニ於テ先ズ四川省ニ Red Basin (Red Basin) (成都盆地又
ハ蜀盆地)ヲ作り居レリ、殊ニソノ首府成都ニハ美事ナル沖積盆地アリ、
如斯山奥ニ於テ農産物ニ富メルノミナラズ絹ノ名産アリ、サレド揚子江ノ
ヨリ大切ナルハ湖北ニ入りテヨリ下流地方ナリ、湖北ニアリテハ湖北ハ湖
南ヨリ北ヨリ溪水流レ、湖北ヨリ湖南ニカケ大ナル平野アリ、是既ニ大ナ
ル米ノ生産地ニシテ綿、茶ノ生産地ヲ作り居レリ、支那ノ常食物ハ米ナリ、
ソノ東ナル産地ハ揚子江流域及ビソノ南ノ地方ナリ、漢口ヨリ北京ニ到ル
トキ淮山脈ヲ越ヘ河南ニ出ルト田舎ノ下ナク黃河流域ニ於テハ田ヲ見ル
コト甚ダ少シ、モトヨリ近年ハ北京、滿洲方面(内蒙古ノ地方マデ)マデ
田ヲツクルモノモアリ、尚揚子江ニ沿ヒテ下流ニ至ヒ農業地帯運シ Bel-
to 地方殊ニ著シ、南京附近ニ於テ山ヲ開レ Delta ヲツクリ居レリ、

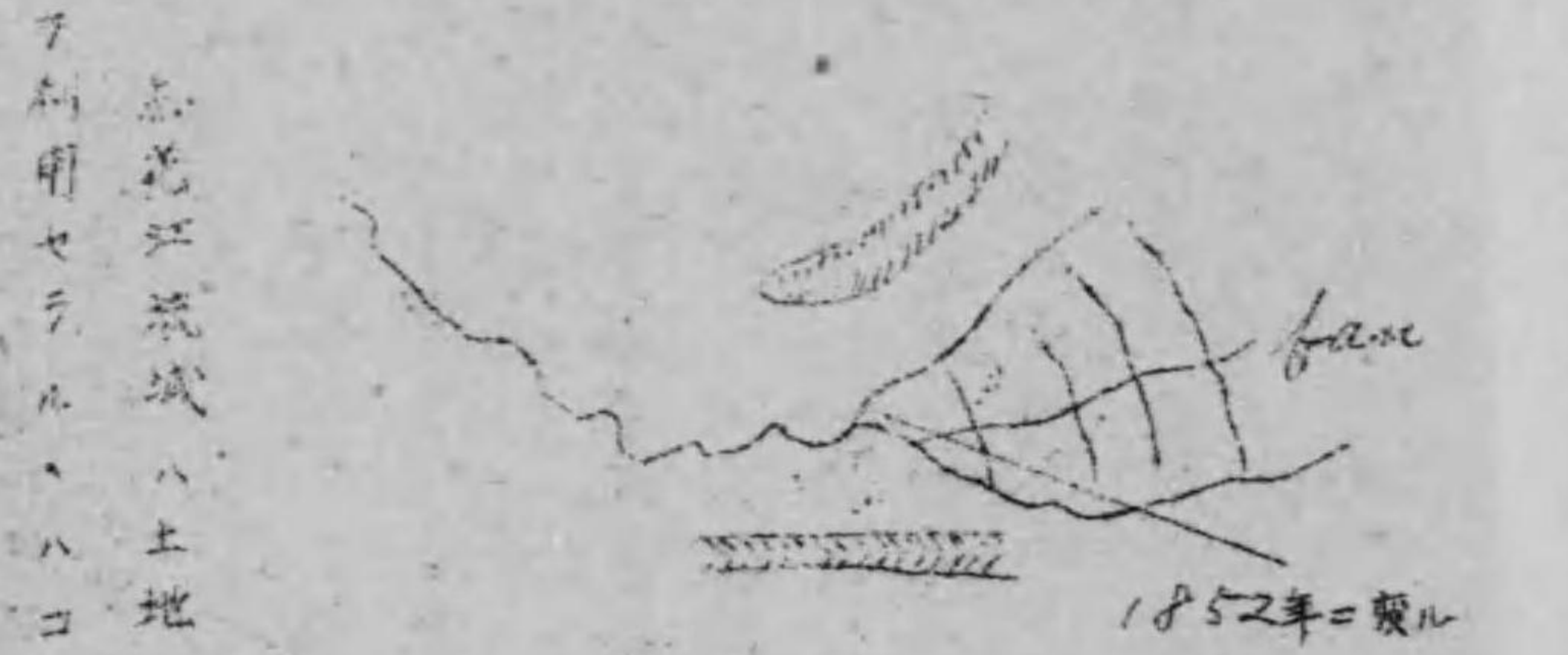
江蘇ハ近キ省ナリ、コハ大部分揚子江ノ Delta ヲリ出来テキル、南ハ揚
子江ノ Delta 北ハ昔時ニ於ケル黄河ノ Delta ヲリ成レリ、揚子江ノ
Delta ハ支那米産ノニ割ノ米ヲ産シ、数量多ク且良好ナリ、北支那ニマ
テ供給シ外國トノ交通開ケザリシ時ニ於テハ上海平野ヨリ北支那ニ向ヒテ
大運河通ズ、コハ杭州ヨリ起リ、揚子江ノ岸鎮江ノ如ク揚子江ヲ横切リ江
蘇ヲ縦ニ走リ、天津ニ終ル、コノ運ナル目的ハ貢米ヲ送ルトノ事ナリシガ
南方ノ米ヲ北方ニ送ル為メナリキ、勿論他ノ物資モ運搬セシガ運ニ米ナリ
ヤ。

(江浙不實天下餓潮廣熱天下足)

尚、綿、絹ノ生産地ナリ、殊ニ絹ハ輸出ノ第一ヲ占ム、江蘇省ハ内外兩
方面ノ關係ニ於テ支那第一ノ position ニアリ、從ヒテコ、ニハ上海ノ如
キ支那第一ノ貿易港ナルカ、独リ上海ヲ有スルノミナラズコノ河筋ニハ到
ル知貿易港ナルカ、重慶マデ開港場ナリ、漢口ノ如ク海港ト同様ノ性質、マ
ノ大ノ口運モ海ヨリ内地ニ入り、各因汽船公海ノ如ク各河川ヲ交流シ居レ
リ、殊ニ英人ハ早クヨリコノ地ニ目ヲツケソノ經濟的勢力ノ扶植勢カラス

黄河流域ハソノ上流地方ニハ楊子江ノ蜀ノ盆地ニ匹敵スルモノハナケレ
 ドモ渭水盆地ハ注意スベキ所ナリ。コノ流域ハ相当ニ大ナル平野ヲ開キ、
 フノ地方ヨリ北ニ行クニ從ヒ農業的性質ヲ大ニ遊牧ニ移ル。支那ノ古キ正
 文ニ *Climate* ノ變々変レル正丈アリ。所謂北方民族ナル遊牧人種ハ懷
 悍ナルモノニシテ侵略速征ハ帝習ニシテ殊ニ南ニ向ヒテ南ケル方面ニ於
 テ朝ノ如ク侵シ来リ、支那正代ノ皇帝ハ之ガ防禦ニ苦シシ萬里長城モ亦之
 ガ為メニシテ南方ノ努力弱キトキ第一ニ台嶺スルハ黄河流域即チ渭水盆地
 近クハ清朝ノ起ルモ北京ニ遷都セシナリ。而シテソノ蠻人ハ次第ニ南方ニ
 化セラレ次第ニ普通ノ支那人ニナル。渭水盆地ハカ、ル正代ノ重要ナル意
 義ヲ有セリ。

黄河ノ河口ヨリ新河口マデノ間ハ *Plain* ナシ一五〇哩隔ル、ソノ面
 積日本内地ノ一ニ、本州位ノ面積ナリ。米コソ作ラザレ粟、小麦、大麦、
 大豆、胡麻等ノ農産物ヲ作ル。山東省ノ如キ山勝チナレ共人口密度大ニ積
 民ノ出ル知ニナリ居レリ。山東省ニ於テノ人口密度ニ五〇ナリト云フ人ア
 リ。コハ世界的ニ大ナル密度ナリ。



向西江アリ。コハ上流ニハ夫々他ノ名アリ。 *Red-
 Ta* 海岸ノ平原ハ南方ニ重要ナル地ヲナシ米三回、
 蠶ハ数回トル事ヲ得ト云ハル。殊ニ丘陵地ニアリテ
 モ暖ク茶ノ生産地トナリ居レリ。北ニ移リ遼河若ク
 ハ松花江附近ハ氣候モ異リ生産品モ異レ共世界的意
 義ヲ有スル産物アリ。高粱、豆、ソノ主ナルモノナ
 リ。前者ハ支那ハノ主食物、後者ハソノ *vitinity*
 大ニ海外ニ輸出セラル。殊ニ豆粕ハ歐洲ニモ入り。
 植物性ノ油用ヒラル。煤ニナリ *olive* 油、椰子油
 ニ次ギテ珍重セラル。種々ノ化粧品、「ゴム」製造
 人造バトリーニ用ヒラル。豆餅ハ肥料トシテ入り、政
 ニアリテハ之ヲ家畜用ノ「ビスケツト」ニナシ居レ
 リ。 *Soga* *Beam* トシア盛ニ輸出セラル。

黄河流域ハ土地一般ニ平坦ニ高粱、豆、麦ハ生産盛ナリ、農業地トシ
 テ利用セラル。ハコノ流域附近ガ最北端ナリ。

如斯支那人ハ自給自足ヲ以テ固是トシ防穀制度ヲ採用シ逐々條約トシニ定メ居レリ、故ニ原則トシテハ支那ノ米ノ輸出ナキ訳ナレドモコノ内ニモ種々ナル *condition* 生ジ支露間ノ一八八一年條約ニハ穀物ハ米ニ限ルトシ、英支(一八九二年)條約ニ於テハ米、豆、五穀ノ輸出ヲ禁シ、安南、支那國ノ條約ニハ米、豆、日支間ニテハ滿洲産ノ穀物ニ限り輸出ヲ禁シ、小麦、粟、高粱、玉蜀黍、ソバハソノ輸出ヲ許可シ居レリ、斯ノ如ク支那ハ農産物輸出國ニ非ズ、

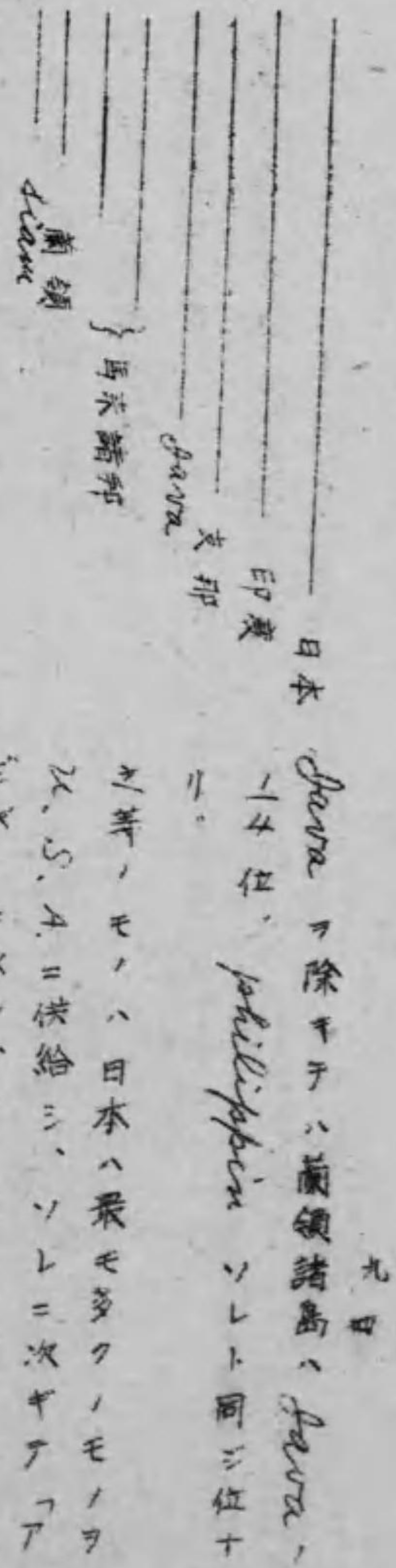
次ニ支那ニ在リテ大切ナルハ磁産ナリ、ソノ兩利利用ニ至リテハ支那ハ未ダ甚ダ幼稚ニシテ石炭、アル知トシテハ北支那地方平原ノ背後ノ山、殊ニ山西省ノ台地ノ如キハ地下一面ニ無煙炭アリ、有名ナル支那ノ地質ノ研究者 *Richthofen*、如キハ之ヲ *anthracite Plateau* (無煙炭高原)ト呼ベリ、支那人ハコレヲ小規模ニ採掘シ居レリ、外國人モ利権ヲ次第ニ得ツ、アレ共交通不便ナリ、

直隸省、南平、石炭ハ比較的大規模ニ採掘セテレツ、アリ、山東省ニアリテハ山東鐵道附近、殊ニ私人最ニ發達セル方法ニテ採掘シ、

揚子江沿岸ニテ重キヲナスハ萍鄉ノ石炭ナリ、漢陽ノ製鐵所、製鍊所最モ大切ナリ、支那本部ニ於テハモハキ採掘法ヲ施サズ、撫順ノ炭坑等見ルベキモノナリ、九州炭、北海道炭、如ク新シキモノニシテ船舶用、汽船用ニモ用ヒラレ、支那炭ニ於ケル一番広ク用ヒラレ居ルモノト云フモ適言ナラズ、

次ニ鉄ハ揚子江以南殊ニ盛ニ湖北、湖南名アリ、大冶鉄山揚子江ノ岸ヨリ十數哩ノ地ニ横ハル、今日支那ニ於テ最モ大ナルハ大冶鉄ニシテ枝光ト連絡ス、漢冶萍公司ノ合同事業ハ揚子江流域ニ於ケル極メテ大ナル *districts enterprises* ナリ、安徽省ニハ桃中ノ鉄産地アリテ比較的有名ニシテコノ外ニ山東省ニハ金嶺鎮ノ鉄山アリ、私人経営ノ下ニ採掘セラルレ居タリ、尚滿洲ニ鞍山、湖北、湖南附近ニハ錫、銅、正鉛、アムチモニ、(*antimony*) 等ノ金屬磁物多少アリ、

以上「アジア」ノ諸地方ノ世界的供給ノ状態ヲ觀察スルコト輸出ノ第一ハ日本、印度、支那ノ順序ナリ、即チ外國貿易ノ長ニテハ日本第一位ニ位シ *Java* 支那ノ次位ニアリ、ソノ次ニ海峽植民地アリ、



Silk industry 製造シタルタメ日本ノ生糸モ大ニ需要セラル。近年人
 造絹糸ノ製造日本生糸ニ大ニ影響ミ居レリ。
 印度ノ綿モ亦重要ナリ。豆油 *oilseed* 多ク出ス。砂糖ノ如キモ多
 ク産スレ共。印度ハ未ダ *export* スルニ至ラズ。コジヤワソノ大ナル
 輸送國ナリ。近年熱帯「アジヤ」ノ「コプラ」政羅巴ニ向キノレヨリ取ル
 油盤ニ歐洲ノ工業ニ対シ輸出セラル。
 次ニ「シベリヤ」ヲ農業地トシテ見ルニソノ温度余リニ低ク、世界ノ他

地方ヨリ比較的低温ニ故農業地トシテ見ルベキモノナク。緯度ニ比シテ温度
 低キ故穀物ニ適スル地トナク。浦塩 (*Wladivostok*) ナド比較的温暖
 ノ地ニテモ日本ヨリ野菜、穀物ヲ仰ゲル次第ナリ。
 只 *Amur* 河畔ノ西「シベリヤ」ニ良好ヲ見ルノミ。ナレド地盤低キ故沼澤
 地トナシ。 *Steppe* 地方モアリ。「シベリヤ」鉄道沿岸ノ地ハ一年ノ *har-*
vestable 期ヲ利用シ小麦ナドノ耕作ヲナシ居レリ。露南部ノ肥沃ノ
 地ト同地質ヨリ成リ。一年ノ内ノ最暖期ヲ利用シ耕作セリ。「シベリヤ」
 ニアリテ最大ノ人口ヲ有シ、コノ方面ニ限リテ自ニ立チ村落アリ、シカモ
 ソノ産スル麦ノ高ハソノ地方ノ住民ヲ養フニ余リアリ。尚輸出スル程ナリ
 故ニ農業地ハ僅ニコノ地方ノミナルナリ。広キ「シベリヤ」ニ他ニ見ルベ
 キ地ナシ。
 尚「シベリヤ」ノ産物トシテハ東方ノ水産業ナリ。日本ハ既ニ其ノ漁業
 板ヲ得、毛皮獸ヲ獲ル産物アリ。
 更ニ銀物ノ産ハ「シベリヤ」ノ東部ガ世界産金地ノ一部分ヲナセリ。即
 チ太平洋ノ東側 *Roadway Int.* ガ合衆國ヨリ *Canada* ハカテテ駛リ、尚

Alaska に入り、到ルル知金銀アリ、 Yukon 河畔、コロンバイク (Klein-
 Alsea) 等ハ著名ナリ、「アラスカ」ノ西端「ベリリング」海峡マデ金ノ
 出ル如アリ、一善帯水、西側ニモ金糸見セラレ、「シベリヤ」ノ金銀モ、一
 ノ一部分ヲナス、黒龍江省一帯ノ山脈ヨリハ primitive ナル砂金採掘ノ
 事ナラズ Mountain gold ヲ採掘スル Step 二アリ、將來ノ發達見ルベ
 キモノアラン、殊ニ黒龍江ノ大支流 Seiya (セイヤ河) ノ河西ノ如キ豊
 富ナル知トシテ知ラル、又「アルタイ」山附近ハ種々ノ金銀礦物古クヨリ
 知ラル、之等ハ世界ノ他地方ニ較ベ別ニ著シク大ナルエアラザルナリ、

▽歐羅巴ノ産業状態

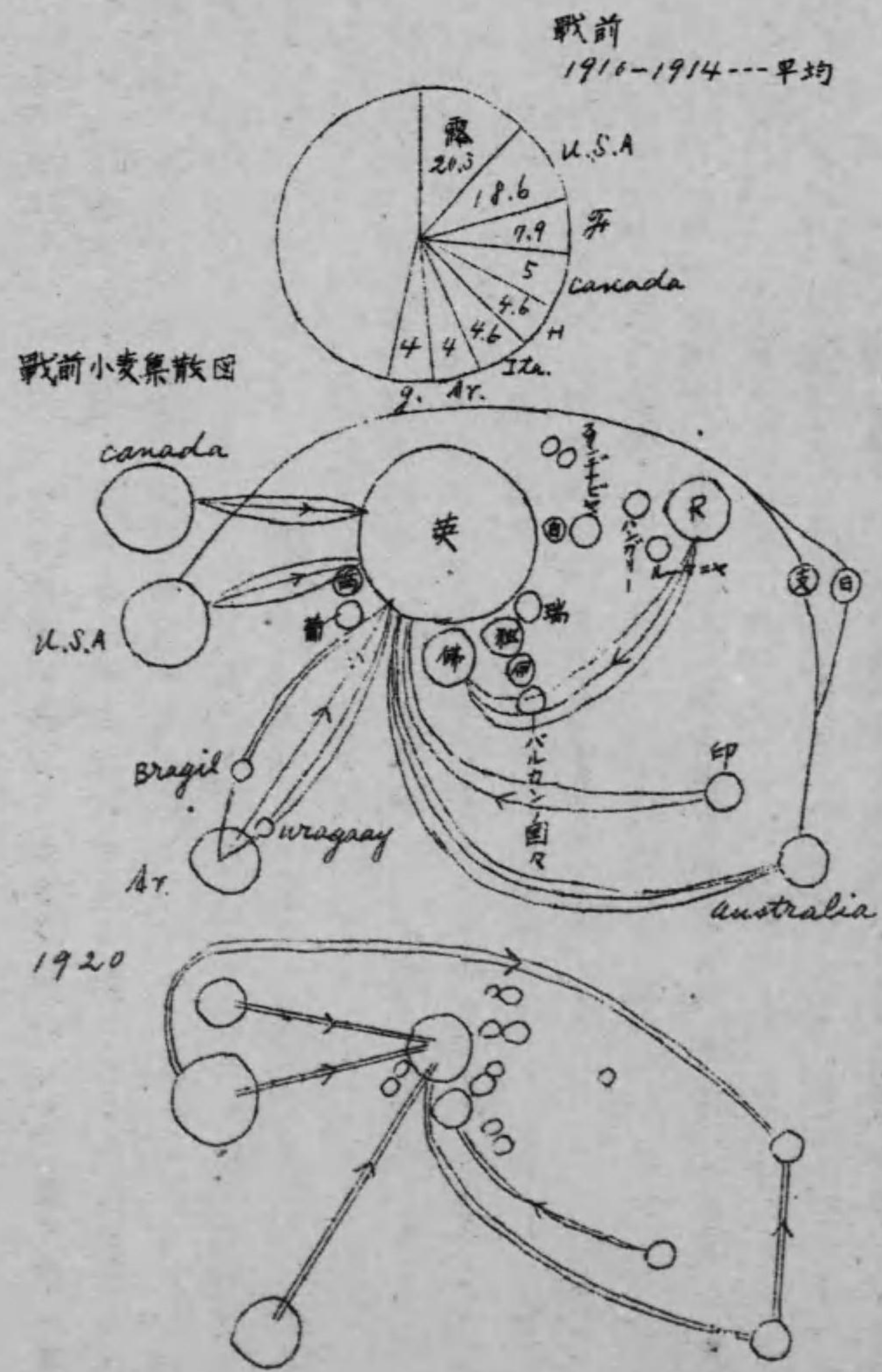
次ニ歐羅巴ガ如何ニ産業上利用セラレ、カヲ大觀スルニ現在ノ欧ノ産業
 状態ハ西北ヨリ東南ニ行クニ從ヒ産業次第ニ變ル、即チ歐ニ於テハ東ヨリ
 東南ノ大部分ハ農業、畜産業行ハレ、殊ニ西北ハ Manufacturing
 industry 行ハレ、中央部、英、白、仏ノ北部等ハ純然タル製造工業ヲ

以テ知ラル、独ハ十九世紀ノ後半ノ初期ニアリテハ純然タル農業國カ工業
 國ノ仲間入りシ、独ノ北部ニ於テ一大工業地ヲ造リ、中部モ次第ニ工業ニ化
 セシガ、東方ニ行クニ從ヒ農ノ産多クナル、独ノミデナク、埃太利、匈牙
 利ニアリテモ「コチエコ」スロバキヤ」ガ最モ工業盛ナリ、之ヨリ東ニ移リテ
 ハンガリー」ニ移ルト農牧主トナリ、「ルーマニヤ」ハ小國ナガラ農ヲ以テ
 殊ニ農産物ノ輸出ヲ以テ國ヲ立テ居レリ、露ハ農ノ最大國ヲナシ、世界穀
 物ノ供給國トシテ世界戰當時ニハ役立テリ、
 又歐ノ地中海方面ノ南部ハ「コ」ニツク Climatic region フツクリ
 特殊ノ産物ヲ出ス、故ニ普通ノ穀物ヲツクルニハ適セズ、夏雨少ク冬多キ
 ハ穀物ヨリ寧ろ口果實ニ適シ、葡萄、柑橘ヲ産シ、從テ葡萄酒ナドニツキ世
 界第一ナリ、牧畜モ亦之ニ伴ヒテ羊ナドノ飼養アリ、
 又歐ノ東半ハ大ナル平原、低原ヲ伴ヒソノ上都合ヨキ事ハ露ノ南部ハ又
 那黃河流域ノ如ク黃土 (Sols) 著シク發達シ、豊富ナル草ヲ産キ、Horse-
 mules (商榷) 交レリ、故ニ世界戰當時ニハ世界ノ穀物倉トシテ、聖堂ガ
 ラレタリ、サレド露民ハ文化程度ノ低キ故ニ之ヲ農業者トシテ土地ノ收獲

ヲ拳ブル事ニハ不利ナリキ、シカルニソノ土地ヨリ拳ブル産物ハ多量ナリ
ヤ、是レ *Woolly* 地負ノ恩恵ニ依ルモノト見ルベク、ソノ文化進ミタ
ル曉ニハ余程收穫ヲ拳ゲン、戦前 *Rye* 麦五八%ハ露ノミニテ供給シ、大
麦ハ、上ヨ、カラス麦ハ世界産額ノ一、小麦ハニ%ヲ産シ居タリヤ、
「バルチック」斜面ニハ又蘇ノ栽培アリ、政ノ麻製造品ノ原料ハ殆ドコ
ノ地方ノモノヲ用ヒ、又砂糖 = *Cane sugar* ト甜菜ナリ、後者ハ熱帯
ニ産シ、熱帯以外ノ地ニ生スルニ至リシハ近世ノ事ナリ、即チ「ナボレオ
ン」一世ガ大陸封鎖ニ遭ヒシニ起源ス、今日ニテハ世界砂糖ノ半分宛ヲ西
糶ノモノ産シ、甜菜糖ノ主産地トシテ露、「ポーランド」ヲ推スベシ、
且又一方ヨリ見テ氣候ノ関係ヨリ冬長ク、冬ニハ夜長シ、割合ニ北ニ緯
度ヨリ、黒海沿岸ニテモ北海道位、「モスコ」ハ樺太位ナリ、故ニ「ベ
テログラード」ノ如キ夏ト冬トニテ日ノ長サ甚シク異ナル、冬ハ日ノ暮レ
方早シ、露ノ冬ハ寒ク夜長シ、故ニ住民ガ家ニ居ル間長シ、コノ間ニ家内
工業ニ親シミヲ有ス、幼稚ナル織物、手工業ナドノ副業行ハレ居タリ、
ガ戦争起リ革命起リ一大打撃ヲ受ヘラレタリ。

先ツ国民ノ大部分ノ農村ヨリ多大ノ労働力即チ十八才一四十五才ノ最良
好ナル農民戦場ニ送ラレ金ク不生産的ノ境遇ニ置カレ、残レルモノモ軍需
品ノ製造ニ余儀ナク従事シ引続キ革命起リ、一九一七年頃ニ於テハ一番働
キ盛リノモノ、軍隊ニアルモノハ戦ニヨリ四四%中ニハ五三%、モノ軍隊
ニ在リ、故ニ農家ノ *family* 牧減少シ耕作地ノ面積減リ、農村ノ出生
率減リ、人口増加ノ上ニ渺カラザル打撃ヲ蒙レリ、直接原因トシテ負傷者
死者ニヨルモノモ勿論多大ナリキ、又耕作用ノ馬モ着シク減少シ、山作起
リ、家畜ノ食料マデ失ハレ地方ニヨリテハ馬ノ数ノ五%マデモ失ヒタル
悲惨ノモノモアリ、コノ地方ハ牧畜モ亦盛ナリシガ同ジク大ニ打撃ヲ蒙リ、
乳獸ノ減少トナリ、国民營養上ニ大打撃ヲ受ヘラレタリ。
又革命ノ結果交通不完全ニナリ、軍需品ノ製造盛ニナリ、農具ノ製造減
少シ且又第三ノ影響トシ副業(即チ商工業者ノ資格)失ハレ不勤恐慌ヲ来
シ、誠ニ憂ナル状態ニ陥リ、穀物倉ノ戸ヲ閉スノ已ムヲ得サルニ至レ
リ。

露ニ牧畜ノ盛ナルハ一ツニハ先天的民族ノ特性ニヨル、元来「ロシア」



ノ住民ヲ解剖スルニミツノ別ハ小露西亜人、白露西亜人、大露西亜人一アリ、
 白ハ西ノ部分、小ハ *Donnieks* 河畔、大露西亜人ハ露ノ大部分ニ抜カレ人
 口のニ、政治的ニ、経済的ニ最も多キモノナリ、コノ大露西亜人ハ比較的
 新シキ雑種ナリ、純粹ナルハ白露西亜人ナリ、然ルニ彼等ハ極ク小規模ノ
 集団ヲ作り、最も劣レリ、小露西亜人ハ白露西亜人ニ次グ、サレドモカハ
 白露人ヨリアリ、コハ白露人次第ニ東方ニ抜マリシガ西曆九世紀ノ頃マテ
 ハ露ノ東半ニハ露人ナシ、主トシテ「アジヤ」人即チ *Plains* 種マ、
Turks, *Mughals* 居タリ、次第ニ之等ノモノト雜混シ大露西亜人ニ
 ナレリ、之等ノ「アジヤ」人ハ家畜ヲ養フニ先天的ニ慣レ、コレヲノ地方
 ニ *settle* シ居タリシナリ、故ニ彼等ハ農業ヲナス傍ラソノ先天的職業タ
 ル牧畜ヲ失ハス、故ニ露ハ政ニアリテ最も牧畜ノ發達シタル國トシテ知ラ
 レ、ソレニ伴ヒタル工業モ自ラ發達シ、製革事業著シク發達シ居タリ、
 之等モ亦カラズ打撃ヲ受ケタリ、
 然ラハ如何ナル國ガ代リテ穀物ナドヲ供給スルニ至リシヤ、即チ小麦ノ
 生産状態ヲ之ヲ機會ニ觀察センニ、戦前世界小麦ノ産ハ左表ノ如シ、

即チ戰前ニアリテハ露ハ独方面ニ穀物ヲ出ス事ヲツトメ、運賃等モ廉カ

リシ独ノ穀物ハ到底露ノ廉價ナル穀物ニ敵対セズトナシ、因稅ヲ高クシ、

又露ニアリテハ独ヨリノ穀物機械ニ高キ因稅ヲ課シ、因稅ゴツコヲナシ、

「ルーマニヤ」、「ハンガリー」トモ然リ、サレド革命ニヨリ恩ルカゲモ十

クナレリ、サレド近年ニ三年ハ多少回復シタリシガ戰前ノ如キ事ハ到底十

シ、

「オデッサ」等ノ沿岸町村ハ穀物集散地トシテ賑ヒ、黒海方面ヨリ南政

ニ出ス穀物ノタメ沿岸地方ノ都会ハ穀物市場トシテ有名ナリヤ、

「ポーランド」ハ元ハ露領ナリシガ余程政風味ヲ帯ビ、農業モ小規模ニ

人口モ小ナリ、コノ地方モ木ダ戰前ノ状態ニハ復セズ、

次第ニ中政ニ入りテ先ツ独ヲ見ン、

即チ十九世紀ノ前半、崩壞シタル独帝國ハ戰前ニハ國民ハ大部分ハ農業

ニ従事シ居タリ、*mt. Land*、地方ニアリテモ高峻ナラズ、故ニ農業ヨク

行ハレ居タリシガ露等ニハ造カニ地味劣リニモ作ナドハ到底見ラレズ、農

民ノ智識、經驗ハ露ヨリモ進歩シ居リシモ露程收穫率ヲズ、次第ニ工業ニ

轉ジ、國民ノ半数位ヲ僅ニ農業ニ従事スル有様ナリ、

穀物トシテハ種々ノ麦類、甜菜(重要ナル事業ニシテ殊ニ「エルベ」流

域ニ於テ最モ盛ニ、殊ニ大ナル輸出國ニシテ英最大草容ナリキ)、葡萄(

Rhine wine)、*Hop*、*Tobacco* 等栽培シ居タリシガ農業國トシテハ感心

セズ、「ハンガリー」地方ハ農收盛ナリキ、

「ルーマニヤ」ハ又政ニ於ケル小ナガ輸出國ヲ以テ任ジ居タリキ、ソノ

外ニハ独ノ隣リノ佛、伊ハ自分自身デハ穀物ヲ出シ居レ共盛ナラズ、瑞ハ

スベテ外國産ノモノヲ用ヒ居レリ、

英等ハモトヨリ大ナル工業國ナレ共、「イングランド」、「アイルランド」ニ

ハ農地開ケ、牧畜ニテモ英、仏、独ナド羊ナド大ニ見ラレドモ足ラザル

ルナリ、次ニ小ナガラ農業國トシテ恩落シ難キモノアリ、

即チ丁林之レナリ、コ、ハ農業並ニ牛等ノ畜産盛ナリ、數千萬田ノ牛産

出ヲ英ニ出ス、又和蘭ハ國產ヲ以テ大ナル *Reynolds* ニシ居レリ、(球版

ヲ鑄外國ニ送ル)、サレド政ニ於テノ最大農業ハ露ノ穀物ヲ除キテハ工業ニ

シテコノ源ヲナス鉱物即チ是ナリ、

▽政ニ於ケル鉱産状態 (Mineral Resource)

大陸ニ於テハ露モ相当ニ有ス。新世界アマリ用ケザレ時ニハ世界第一
位ナリキ、*「ウラル」* 山脈ハ金、白金ナドヲ出ス。タメ有名ナリシガ、*「オーストラリア」*、*「アフリカ」* 等ニ出ズルニ至リシタメ見劣リサル、ニ至レリ、
鉄、石炭ニツキテハ露ハカナリ大ナル富源ヲ有ス。即チ「モスコ」附近、
黒海附近ニ存ス、*「ウラル」* 山脈ノ西麓ニモ鉄ノ大産地ヲ控ヘ、*「ウラル*
」 附近ノ *Permian* ノ製鉄業ナド大ナルモノトシテ知らレタリ、*「コーカ*
サス」、地方ニ亦 *Baku* ニ油田ヲ有シ、二十年前ニハ米ニ対シ東西両方
面ノ大供給場タリシガ露次第ニ衰微シ、米ノ石油業ノ極端ナル飛躍ニヨリ
今ニ於テハ比較ニナラズ、然シ乍ラ米ノ突飛ナル飛躍ヲ除ケバ露ノ *Baku*
field、油田ハ尚ホ主要ナルモノナリ、
又一方ニ於テ英ヲ中心トシ独、日、ニ直ル工業ニ付キテハ次回ニ述ブベ
シ。独ハ北政ニシテ地方、*「オーストリア」*、*「ハンガリー」* 等ト同ジク大ナル

森林ヲ以テ掩ハル林制ノ整備シタル英デハ最モ発達ス、近年中政ニ独ヲ
シテ乗取セシメタルハ地下ノ *Redwood* ニヨル事大ナリ、最モ今日工業ニ
大切ナル鉄、石炭ニ就キテ見ルニ十九世紀ノ後半初葉ニ於テハ英世界ノ第
一位ナリシガ十九世紀末ヨリ二十世紀ニカケテ独、米ノ飛躍著シク最近ノ米
ハ英、独ヲ遙カニ凌グ、十九世紀ノ独ハ石炭ハ英ト同等位ニノビ、一方鉄
ハ英ヲ遙カニ超シ *「Steel」* ニ於テハ英ヲ超セリ、コハ畢竟独國民ガ之等ノ工業
ニ対スル熱心能率ヲ擧ゲント見ラルレドモ地下ノ富源ニ英カ爾事モ亦大ナ
リ。

先ヅ石炭ニ於テハ独ハ中政ノ大炭田ヲソノ領内ニ數ヶ所有セリ、然シ昨
ラ戦争ノ結果之等ノ幾分ヲ失ニ又諸國ニ分與セラレシタメ「ザール」大打
撃ヲ被レリ、又上「シレシア」境界確立ニヨリ「ポーランド」ニ譲ラレタ
リ、少クモ従来ノ「ウラ」ヲ失ヒシノミナラズ戦争中ノ敵國ニ於ケル損害賠償
ノタメ實物ノ石炭ヲ聯合國ニ送ルベキ義務アリ、之ニテ足ラズ仏ノ「ル
ル」差押ヘ騒ギアリ、或ハ石炭ノ損害ノミナラズ鉄ノ損害アリ、
独ハ自國ノ鉄ノミニテ精鍊ヲナシ居タリシガ外國ヨリ多量ノ鉄鉱ヲ購入

シテ精鍊シ居タリ、*「ルタセンブルグ」*、*「イタリー」*、*「スウェーデン」*、*「ノールウェー」*等ヨリナリ、*「スウェーデン」*、*「ノールウェー」*ノ北部ニハ大鉄鉱横ハリ居レリ、サレドコノ*「スウェーデン」*、*「ノールウェー」*ハ石炭少シモ出ズ、必要ナル部分ノ為メニハ英ヨリ石炭ヲ仕入レテ精鍊シ居レリ、大部分ハ鉄石ノマ、外國ニ輸出シ居レリ、サレド日本國ニモ全ク鉄鉱ナキ訳ニハアラズ、仏トノ境*「ルクセンブルグ」*ニ置リテ大鉄鉱アリ、然ルニ大戦ノ結果会然ニ移レル事大ナル打撃ナリ、従来彼ニ産セレ鉄鉱ノ $\frac{1}{4}$ 、故ヨリ災ハレタルナリ。

尚ホ *Mineral Resource* トシテハ *Rock Salt* 其他加里塩類ナリ、之ニヨリテ他ノ化学工業興レリ、即チ「*エルバ*」流域ヨリ *Meal* 流域ニカケテ地下ニハ之等化合物ノ大ナル層横ハレリ、ソレ等ノ塩類ノ溶ケテ地下水トナリテ採取セラル、モクモ鈔カラズ、「*アルサス*」、「*ローレンス*」ニモ見ラル、一年ニ一三〇〇萬噸出デ居リシモノ約百萬噸位ニナレリ、コノ國ハ産業上十九世紀マデハ農ヲ以テ立チ居タリシガ今日ニテハ工業従テ商業盛ニ農民ハ昔ノ約 $\frac{1}{2}$ ニナリ、其ニ次ゾ商工業國トナリキ。故ガ

戦前戦後下ノ位ノ製造力ヲ有シ居タリシマ、今日ニテハ下ノ位ニ減ゼシマ
ヲ大觀スルニ(外國貿易ニヨリ)(左表参照)

戦乙戦前戦後輸出入表

(金貨馬克)	<i>Imp.</i>	<i>Export.</i>
1913.	1,120,600 (45.5 億圓)	10,198 (150 億圓)
1923.	482,400	5,550 (26 億圓)

戦乙戦前戦後輸出入表(細別)
百万馬克

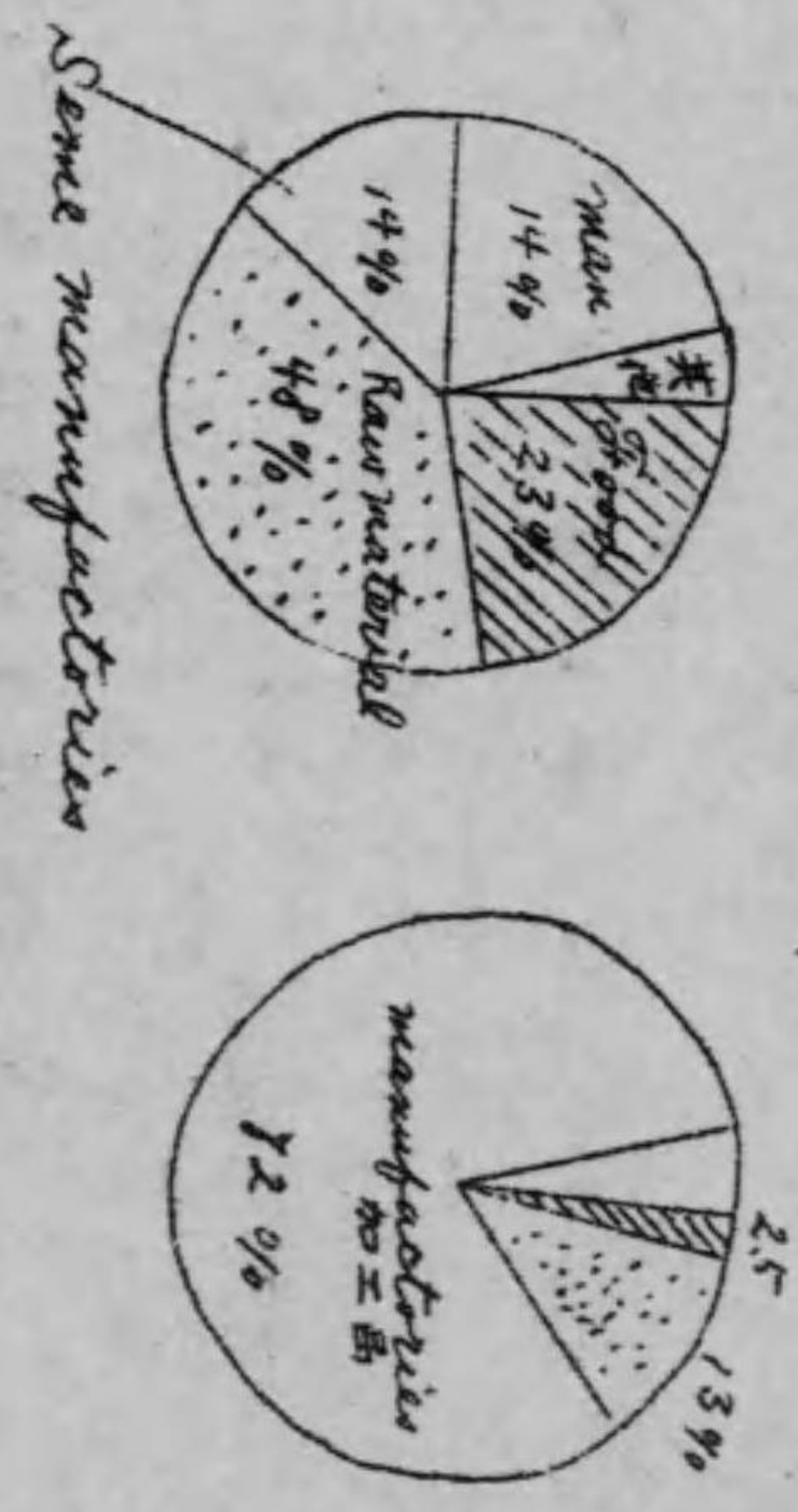
畜産	41.7	3.8
食料	1122.7	125.6
燃料	2337.4	335.6
粗製品	650.9	352.6
製造品	661.2	4519.2

金銀	10.7	14.8
4824.4	5350.7	

全上百分率

Emp.

Exp.



又白国ハ周田ニ大ナル生産地、消費地ヲ有シ *Winteland* ヨリ海岸ニ面ス故國際商業ニ大ナル位置ヲ占ム、輸出額ハ日本ノ倍、輸入ハ日本ノ三

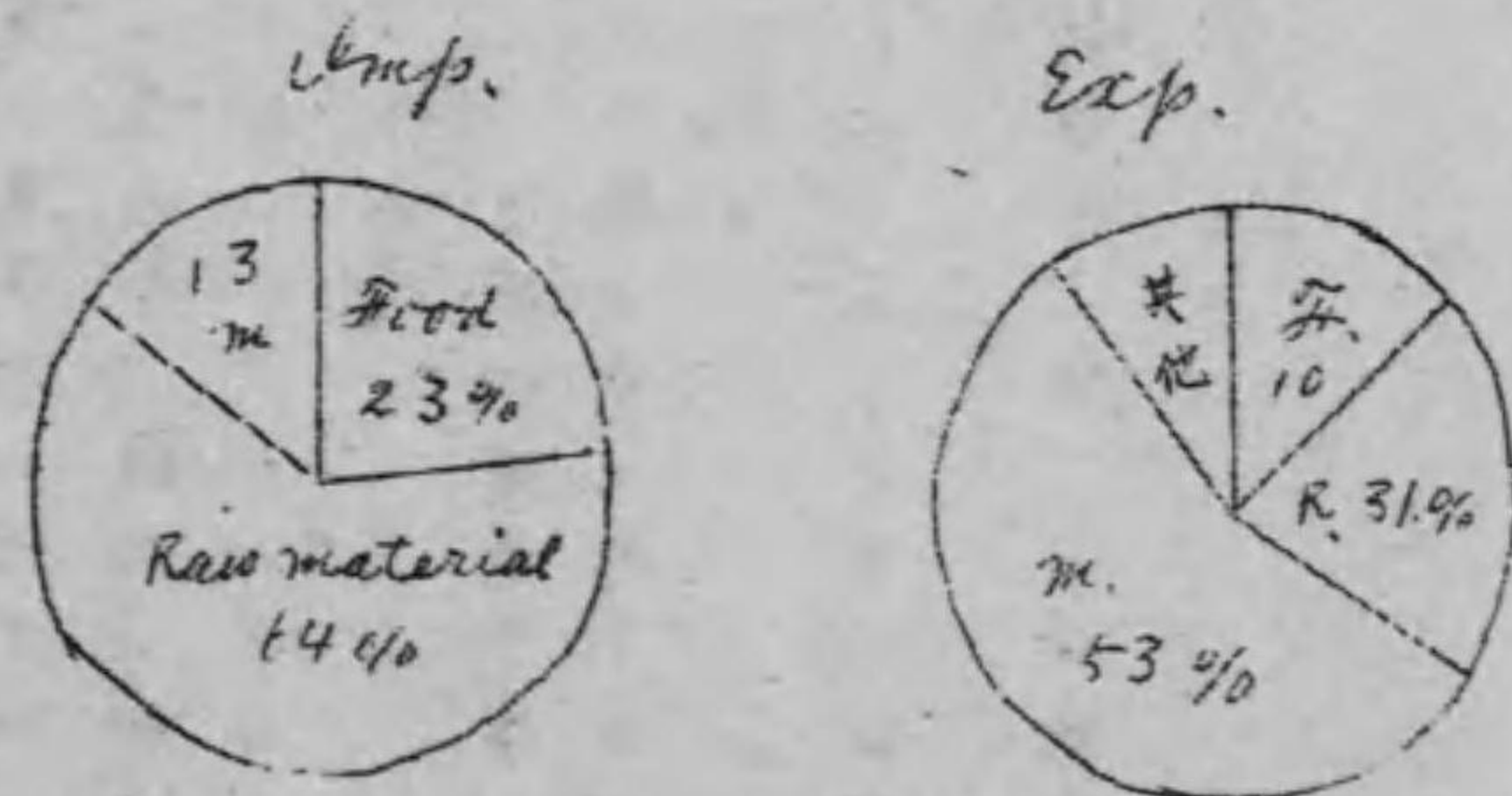
倍ヲ占メ居レリ、又白国ノ工業モ盛ナリ、又佛ハ独トハ生産物、状況異リ農産物ハ地中海ノ影響ヲ受ケ葡萄酒、産額世界一ニシテ *olive* 油ヲ大ニ産出シ、穀物ノ耕作モ努メ居レ共英、露ハ今ハ然ラズ一等ヨリ輸入ヲ仰ギ居レリ、サレドコノ國ノ産業ハ工業主位ヲ占メ居レリ、要スルニ独ト同ジク石炭鉄ニ富ミ、仏ニ於テハ北ノ州ニ大炭田横ハリ到ル所ニ工業市ヲ見ル、木綿紡績最モ盛ナリ、又南ニ於テハ絹ノ製造盛ナリ、鉄モ從來仏ハ独トノ境ニ有シタリシガ今度ニ極ノ一部ヲ併セタル故大ニ盛ニナリ中央部ニモ見ラル、

- Export.....絹、水眼、棉織物、皮、化学薬品、自動車、
- Import.....石炭、cotton、羊毛、

併国輸出入表
mill. Franc
(1923)

	Imp.	Exp.
食料	7,474	3,189
原料,粗製品	20,721	9,348
製造品	4,353	4,232
		12,580
	32,614	30,431

全上百分比率

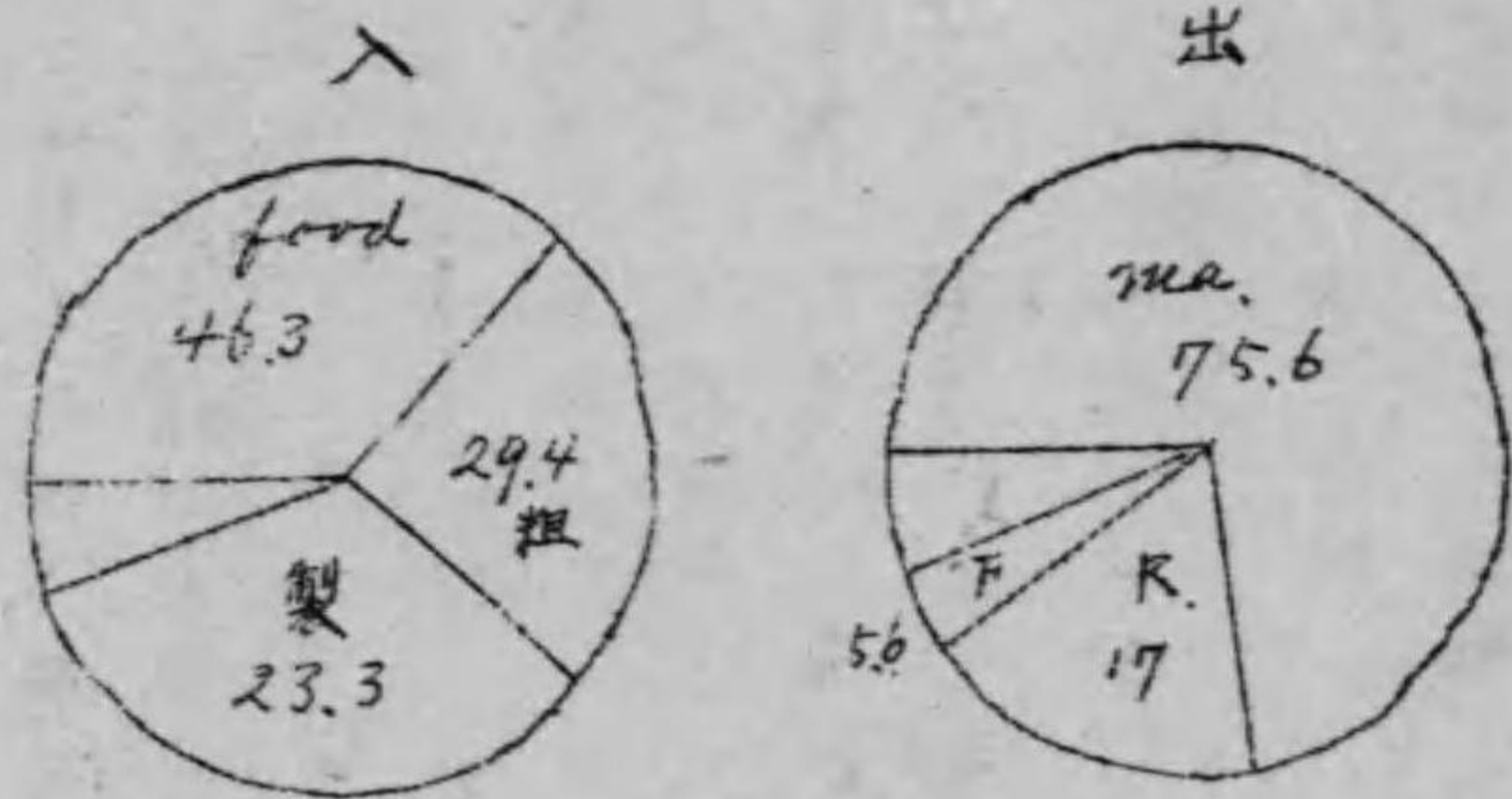


次ニ英ニ歩リテ着シキ
商工業ヲ見ル。英ノ地
理的位置、自然の産物
ガ不勤恩恵ヲ與ヘ居レ
リ、國広カラズ土地概
不平坦、丘陵性ノ山ア
ルノミ、コアイルラン
ドニ殊ニ然リ、故ニ耕
作、牧畜甚ダヨク行ハ
レ、コアイルランドニ
ハ農牧ヲ以テ立テリ、
サレド又地下ノ富源多
ク、最も早く開採セラ
レタルコトコノ國ヲ大
工業國トナシタルナリ。

コイングランドノ真中辺り最も多シ。又コウエールズニ *South Wales* ノ大炭田アリ。 *Cardiff* 輸出港ヲ有シ *Cardiff* 炭ト呼ハレ、又スコットランドニ於テハ *St. Leonards* ニ多大ノ炭田ヲ有シ、スコットランドノ内最も栄エ居レリ、殊ニコイングランドニテアリテハ *Birmingham* ノ中心トシ炭田、大工場横ハリ *Black Country* ノ名譽ハラレ居レリ、又幸ニシテ之等炭田ノ附近ニ鉄ノ産地横ハリ大工業次等ニ盛ニナリ、コスカンヂナビマ、コスペインノ鉄ヲモ輸入シ精鍊シ居レリ。

之ニ加フルニ大工業ノ發達ト共ニ新世界發見セラレ通商区域ガ政近海ニ限ラレ居タル時代ヨリ世界各國トノ交渉行ハル、ニ當リテハ英ノ地理的優良好ニシテ英ノ海岸又出入ニ當リ、コスカンヂナビマノ如ク河レノ河モ雨量多キタメ水豊富チ、ソノ口ニ遠洋航路ヲ收容シ得ル港ヲ有シ *Queen Steamer* デ内部ニ航マ入ル、エ弗ヲモナシタルモノアリ、コリバーブール、*(Liverpool)* 背後ニハ大炭田、殊ニ *Manchester* アリ、コ、*Cotton industry* ニ於テハ世界一ニシテコ、ニ入り来レルモノハ

(b)



(c)

Woolen	17.00 萬磅
Linen	4.00 "
Cotton	1.00 "

(d)

[輸入]

1. Cotton	± 93.5 mil.
2. Wool	50.3 etc.

[輸出]

Raw m.	1. Coal	99.8
	2. Wool	9.75
ma.	cotton	177.3
	Iron & steel	76.2
	Wool	62.6
	Machinery	44.5
	Ship. car	27.1

± 1,090.0

767.3 (118.0)

皆「リバープール」ニ入り、更ニ運河ニヨリテ「マンチエスター」ニ至ル、又 Scot. Lowland 中、Glasgow モ河ヨリ汽船入レリ、工業ノ發達ニ伴ヒ、商業的活躍ヲナスニハ様々ノ便利アリ、又 *politic* Caly = 様々ノ領土ヲ有シ、其内ニハ十分ニヨク開ケ（住民ニ英人多ク本國ト親子ノ關係ニアルモノ）（「カナダ」）「オーストラリア」南阿ノタル植民地アリ、其等植民地ノ豐富ナル産物ヲ利用シ得、製造品ノヨキ華客ニシテ関稅關係モ特別ノ恩典ヲ與ヘ居レリ、今日政ノ商工業國トシテ英ヲ見ルコトハ世界ニ於テ最モ發達シタル商工業國ヲ見ル所ナリ、

出. R — 石炭（大戦ノ結果独ヨリ出スル額少ナクナリシモ一原因）

(1923)

Imp.	Imp.
Food	44.3 (24.5)
Raw Semi. manf.	130.8 (66.0)
Manu.	58.0 (27.0)
Miscell	12.1
	5.4

一三三ニ

次ニ注意スベキハ輸入超過ナリ、先ヅ如何ナル物資ヲ輸入シ居ルカ一瞥
 センニ食物、穀類大部分ヲ占メ、北米、^{「アルゼンチン」}、「オーストラリア」
 ヲヨリ入ル、原料岳、最モ大ナルハ綿ニシテ穀類ノ粉位ノ部分ヲ入レ居
 レリ、次ニ羊毛ナリ、元ハ政ノ地ハ羊毛多ク、次ニ麻、棉ナリシガ（今ヨ
 リ百年前ノ産出額ニツキテ見ルニ右表（））、今デハ反対ニ棉主位ヲ占メ
 Woolノ倍ニ達セリ。（2）

コノ輸入超過ハ invisible trade ヲ示シヨレリ、而シテコトニ英
 ノ商業上ニ於ケル Weight ヲアラハセリ。

対外債務	1913年	1922年	1923年
輸入超過	146	166	197,000,000
対米債務及利子償還	—	50	35
其他	5	25	20
	151	251	252

(25億円)

	1913年	1922年	1925年
海運収入	94	110	110,000,000
外國其償利子	200	150	160
保除料	30	40	40
其他雜収入	20	20	20
債務、債収差額	344	320	330
	193	79	78

戦前ヨリハ米ニ対スル債務ノ償、国防ノタメノ軍事費等ノ為ニ減シ居レ
 ドモ商業回トシテノ英ノ誇リトスル所ナリ。

▽亞弗利加ノ經濟狀態

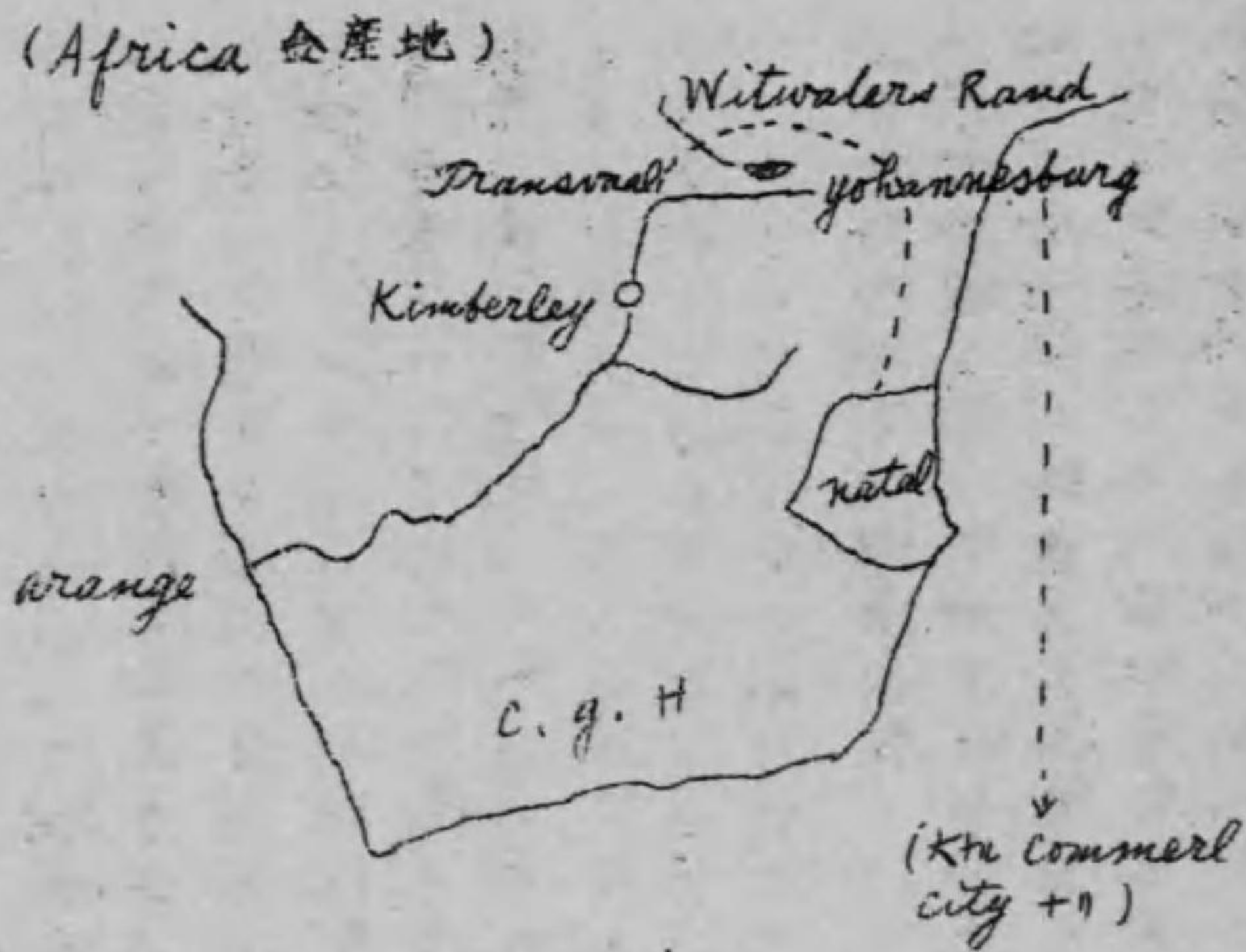
コノ大陸ハスベテノ産業狀態ニ於テ各大陸ニ連ル、全面積ノ上ヨリアフ
 ト南阿ニ尚埃太羅利ヲ加ハタルヨリ大ナリ、サレドコノ大陸ニハ least
 大部分ヲ占メ Sahara, Kibia ノ砂漠横ハリ、南半球ニ unproductive
 一一五

地横ハレルハコノ大陸ノ為ニ *Kanaticap* ヲツケタルモノナリ、自然ハサ
 レド甚ダ恵マレ、熱、雨ノ供給ヨク現代的一利用シ居ラザレ共中部地方ノ
Nigeria ハヨクコノ自然ニセシ自給自足シラレリ、之等ノ富源ハ最モ違
 レテ世界市場ニモタラサレ分量モ尠少ナリキ、遠分古クノ時代ヨリ多少ノ
 貿易ハ行ハレ居タリ、「エジプト」、「アラビヤ」人多少内地ニ入り込ミ、金
 象牙ヲ持チ来リ又奴隷ヲ伴レ来リ地中海方面ノ「フエニキア」人等沿岸ニ
 貿易ヲ試ミシガ内地深ク入ルニハ自然許サバリヤ、コノ大陸ノ西ヨリ東ニ
 カケ新次通商開ケ、「ギニア」湾附近ノ金、象牙、奴隷等ヲ中心トシタル
 輸出行ハレ、今ニソノ名残ル。

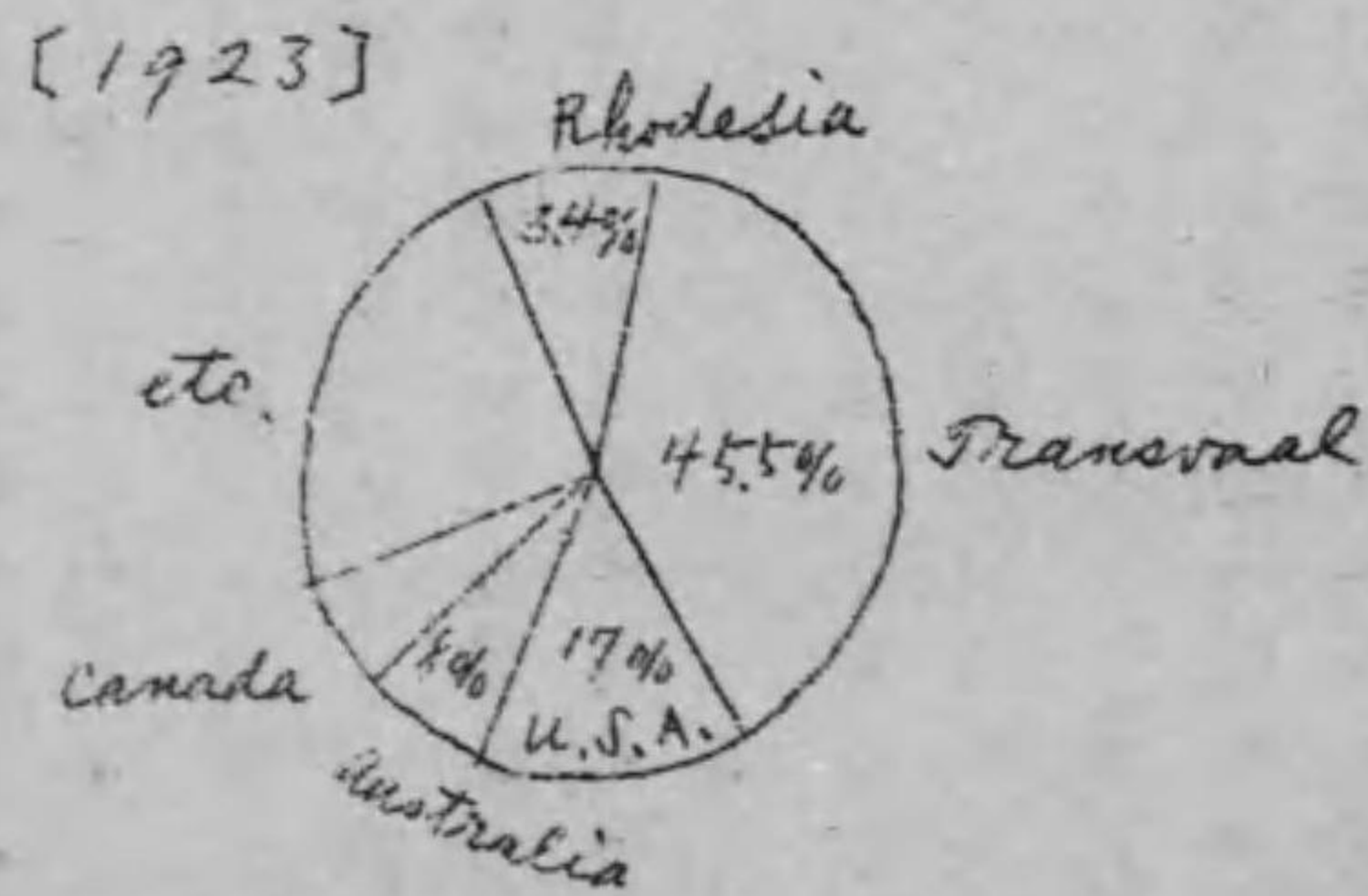
十九世紀後半ニ初メテ「アフリカ」内地探險セラレ、「アフリカ」ノ分
 割列強ノ間ニ行ハレ今日ニ於テハ英面積、人口共ニ四〇%ヲコノ大陸ノ中
 ニ得、最モ *productive* ノ所ヲ英独占シ居ル状態ナリ、仏三〇%、自耳
 義一〇%、最初ノ植民国「ホルトゾル」尚水一〇%ヲ占メ居レリ、
 最モ *productive* ナルハ南阿、次ニ地中海沿岸ハ「アルゼリア」、「エジ
 プト」

「アルゼリア」ハ仏植民地中ニテ最モ大切ナルモノニシテ本國ハ森回
 様ノ行政ヲ行ヒ地中海ヲ隔テタル一帯帯水ノ地ニアリ、背後ハ「サハラ」
 ナレドモ海岸ニハ農業行ハレ、暖地性ノ野菜事業行ハレ僅カノ日数ニテ仏
 ニハコバレ巴里ノ市場ニ現ハル、或ハ元来コノ地方ニハ「アラビヤ」人地
 中海沿岸ニハビコリ植民シ、牧畜、殊ニ馬ニツキ特色ヲ有ス、其他世界的
 ノ産物ニ見ルベキモノナシ。

「ナイル」河口殊ニ *delta* 地方ハ特ニ棉、砂糖ノ産地トシテ重キヲ
 ナシ「エジプト」ノ輸出ノ大部分ハ棉ニテ占メ、「アメリカ」印度ニ次ギ棉
 ハ第三位ヲ占ム、然シヤラ「アフリカ」内ニテ最モ大切ナルハ何ト云ヒテ
 モ *Union of South Africa* ナリ、コノハ和蘭人ノ開キタル所ニシテ
 英ノ植民地次第ニ築建スルニ及ビ英ノ自治植民地トナリ、コノニ *Union*
of South Africa トナレリ、コノ南阿聯邦ニ於テハ今日英人ガカナリ
 多ク入り込ミ「カナダ」、「オーストラリア」ニ較ベルトソノ割合尠レドモ
 全人口ノ二〇%ハ英、ソノ他白人、黒人、殊ニ印度方面ヨリ移レル移民ナ
 リ、サレドコレ等黒人、東洋植民ハ尠少シ、コノ地方十九世紀後半ハ異常



Witwaters Rand
ヲ見ルニ



金産額ハ英金世
界ノ大ハ%出ツ
南阿Rel.ノニ
テ殆ド半分、南
阿輸出品ノ第一
ハ金ニシテソノ
次ニハ diamonds
ナリ。
世界中で最高位
ヲ占ム「ブラジル」
印度之ニ次グ、
珠ニ主要ナルハ
C. g. H. 中ニ属ス
* Kimberley
一ノ九

ナル事違ヲナシタルハコノ地方氣候極ク温和ニ農業、牧畜盛ナルト共ニ
Mineral resourceノ發達著シキ事ハコノ地方ノ榮ユル所以ナリ。牧畜
ハ古来ヨリ開ケ現在三〇〇萬頭ニ上リ、總テノ人口ニ割リ當テ一人一
付キ羊四五十程多數ノ羊アリ、或ハ半モ多數アリ、即チ運搬用ノ為ニ非
常ニ有用ニシテ一人ニツキ三四ノ割合ヲ有ス、或ハカノ駱駝、飼育等ソノ
趣ナド四〇〇萬頭ノ産ヲナシ居レリ、從テ羊毛ノ如キモ世界供給地ノ一ツ
ニナリ、第一ニ「オーストラリア」アルゼンチン」次ニ「アメリカ」合衆國、
次ニ南阿ニシテ世界産額ノ八五%アリ、何ヨリ大切ナルハ鉱物富源開採ナ
リ、即チ世界最重要ノ金ニ付キ見ルニコノ産地トシテハ十五世紀ハ旧世界
「ウラル」地方主要ナルモノトナリ、十九世紀ノ中頃北米 California
ノ金銀發見セラレ、「オーストラリア」ニ又金銀發見セラレ更ニ十九世紀ノ
終リ南阿地方ノ金銀次第ニ發見セラレ次第ニ額高マリ、南阿ガ世界ニ於ケ
ル最モ大切ナル金ノ産地トナレリ。
金ノ大部分ハ「トランスバール」Witwaters Randヨリ(次頁ノ圖參
照)出テ尚 Rhodesia 若干ノ供給ヲナセリ、今世界金産額ノ percent-

中心トシタル地方ナリ、之又他國ト一所ニシテ英ガ凡テノ世界産額ノ七一%
ヲ占メ大部分ハ南阿、金額ハ

金一年輸出 三億円

四四のり萬円

尚石炭ナド出ヅレ失前ニ者ノ比ニハ非ザレドモ重要ナル輸出品ニシテ
鉾産ノ金、金剛石、牧畜上ノ羊毛ノニツニテ南阿ハモテリ、

▽北亞米利加ノ經濟狀態

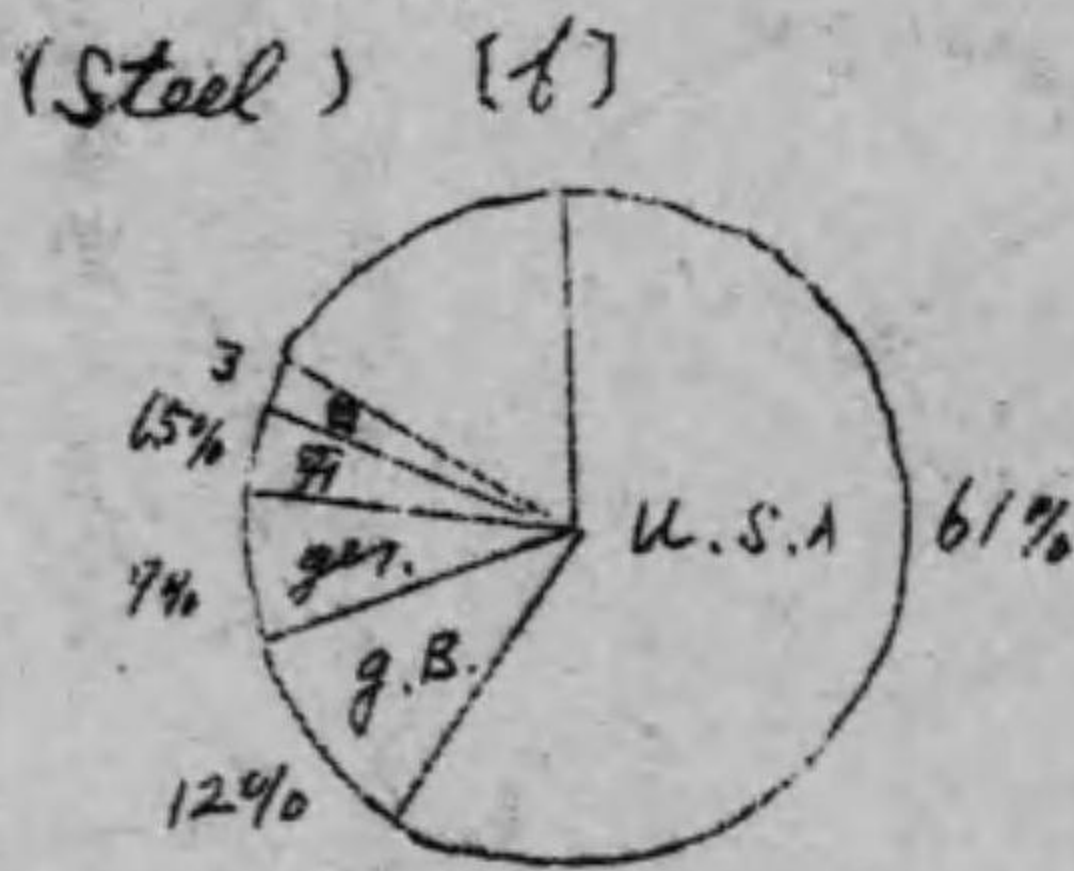
前三方面ハ俗ニ新世界ト呼ビ地球ノ上ヨリ云フモ大ナル平野ヲ有シ五帶
性ノ白人活動ニ都合ヨキ面積ヲソレラ大陸ノ内ニ控ヘ居レリ、ナレド衆見
比較的新シク、ソノ人口密度ハ甚ダ少ク、最モ南ケタル北米合衆國モ人口
密度十数人ニスギズ、之等ノ國々ハ僅カニ二三世紀中ニソノ努力ニ依リテ
世界重要ナル物資ノ供給地トナリ、羊毛、棉花ノ最モ大ナル供給ヲナセル

ハ皆コノ地方ニシテ何レモ海外ニ供給シ居レリ、コノ島ニ政羅巴ノ人口調
節セラレ、又新産業ソノ刺激ニヨリテ衆見セラレ經濟界ニ対スル影響少ク
ラズ、之等産物ハ必ズシモ占有ノモノナラズ、多クノモノハ皆前世界ヨリ
モタラサレ數世紀ノ間、植民ノ努力ニ依ルコト多シ、即チ米大陸ニ於テ初
メテ「コロンブス」到リシ時ハ土人ノ玉蜀黍ナドハアリシガ麦類等ハ歐ノ
植民ノモタラシタルモノニシテ、羊、牛、馬ナドハ何レモ皆植民ノモタラ
シタルモノナリ、馬モ今日ノ如キモノハ見ラレズ、牛モ *Bison* ナリキ、
衆見當時ニハ *Bison* 多数居リ、皮ヲノミ採取シ居タリキト、ナレド今日
ニテハ保存スルト云フ如キ狀態ニテ僅カニ影ヲ止メ居レリ、羊ナドモ見ラ
レザリキ、*Potato*、*Tobacco* 等ハ米ヨリ歐大陸ニ齎ラサレシモノナリ、
「オーストラリア」ノ如キハ最初衆見當時ニハ哺乳動物ハ僅カニ「カン
ガルー」ニスギズ、僅カ百年間ニ生産ガ今日ノ如キ狀態ニナリタルナリ、
北「アメリカ」ニ於テハコノ大陸ノ中ノ奥中ニ大平野アリ、「メキシコ」
海沿岸ハ *Tropical* ナレドモ次第ニ *Subtropical* ニナリ、温帯性 *tem-*
perate ニナリ、「バンドマン」海附近ハ「シバリア」ニ至テ *Guindra*
一ニ一

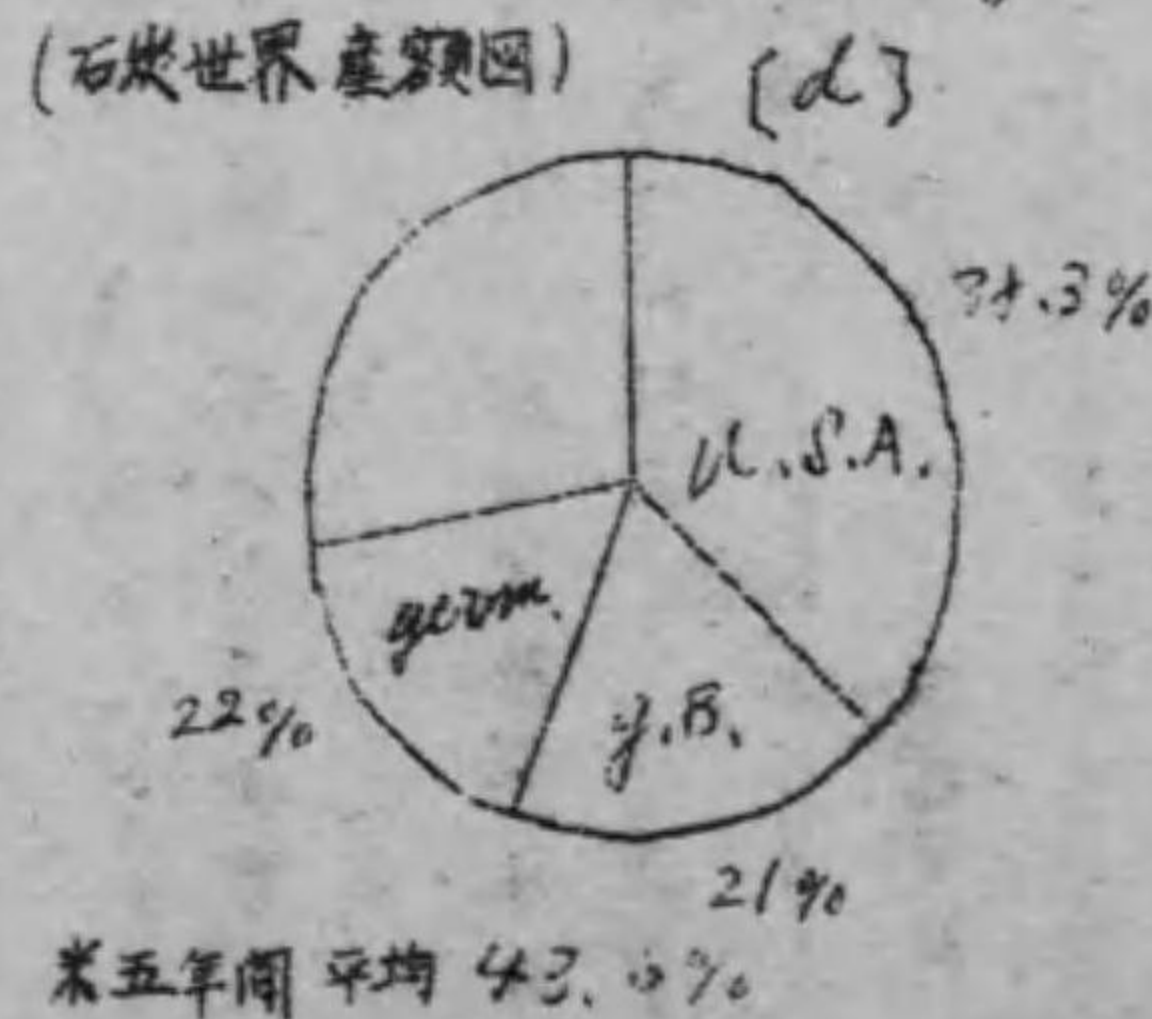
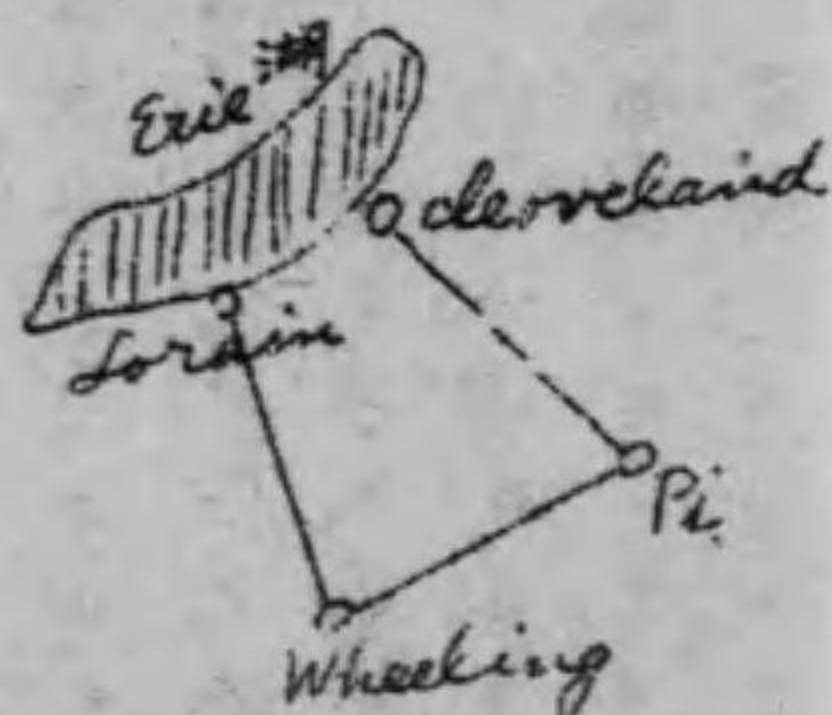
独り合衆国ノミナラズ「カナダ」モ前述 *Manitoba* 州「カナダ」鉄道ノ沿線ハ平原ナル限リ農業栄エ、湖水沿岸ハ園藝、野菜ノ産見ラル、即チ「カナダ」ノ生産物ハ第一位ニ小麦ニシテ輸出ノ最モ大ナル額ヲ占メ居レリ、尚太平洋岸ニ大森林ヲ有シ *Pulp, paper* ノ事業大ナル高ヲ占メ大ニ産物ヲツクリ居レリ、北米ノ森林ハ「カナダ」ニ於テモ同様ナレドモ「ロッキート」山脈、東斜面一体、 *public land* トシテ牧畜事業、
「カナダ」合衆国ノ大産業ヲナス。

コハ捨ツル所ナク、凡エル所ニ用ヒラレ、食用トシテ肉ハ冷藏肉ニシテ政ニモ送リ、 *Idem, Bacon* 等ノ貯藏肉ニシテ輸出セリ、又「アメリカ」ニ於テ今一ツノ畜産ハ鉄物ノ高ナリ、コレ実ニ大ナル他ノ因ト異レル産額ヲ共ニ居レリ、今日世界ノ鉄産ヲ見ルニ必ズ米第一位ヲ占メ、然ラザルモ二位三位ヲ占メ居ルナリ、是レ政諸国率リテモ及バザル状態ニアリ、今之等ノモノガ何ノ位ノ分量ヲ産出シ居ルカヲ見ルニ（*a, b, c* 参照）

(Gold) (a)
 Transvaal 45.58%
 British En. 38.9%
 U.S.A. 17.4%



(大製鉄工業産額) (c)

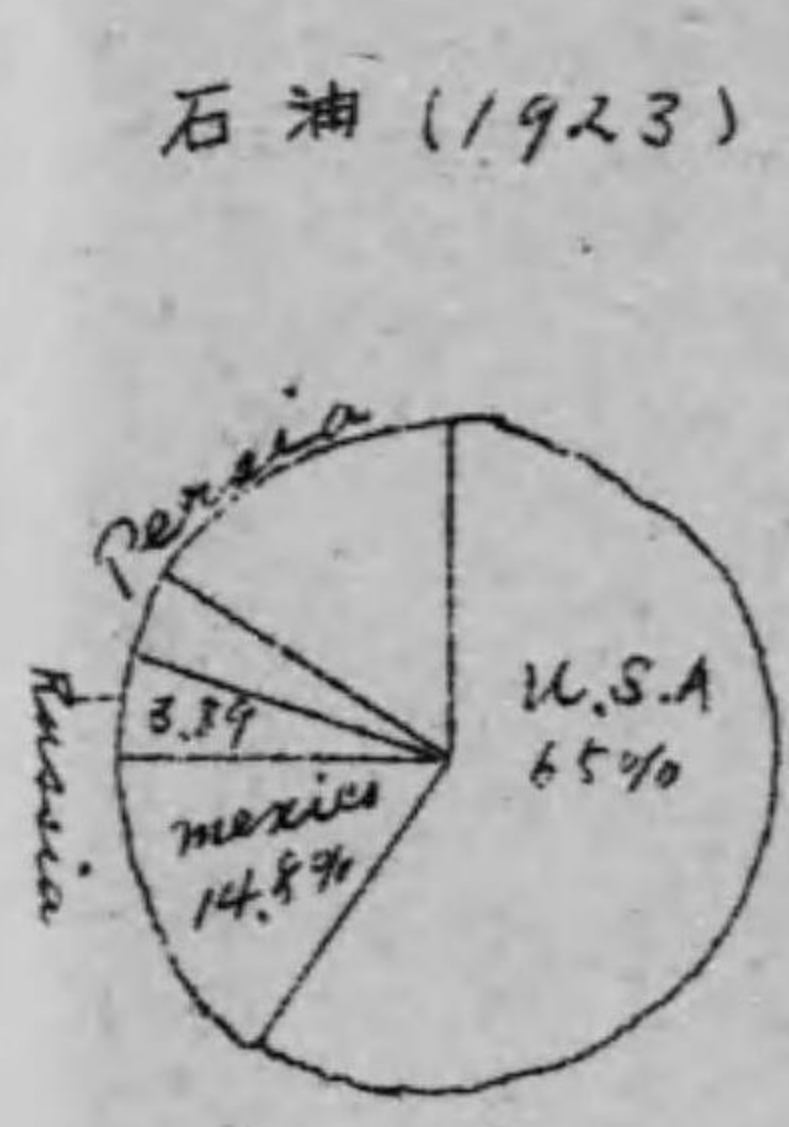


米五年間平均 43.6%

コハ米ガ大精鍊ノ技術優秀モアレドモソノ産額大ナルニヨル *Lake Superior* 附近ノ鉱床ノモノヲ *Eli* 湖畔 (*Pennsylvania etc.*)、炭田豊富ナル地方ニ産額ニテ *transport* ナシ得ル故、コ、ニ大精鍊設ケラ
 ル、ナリ、大製鉄所 *Pittsburg* ノ工場モコ、ニアルナリ (右図参照)
 製鉄ニ伴フベキ石炭ノ産見ルニ (d)

珠ニ「ペンシルバニア」最モ有名ナリ、サレド Pacific 沿岸ニハ石炭
ナク、中部以東ノ石炭ヲ運搬シ東リ工業ヲナシ居タリシガ年ニヨルト日本
北海道炭等ヲ廉價ニ輸入シタル時代等モアリキ。

又石油ノ如キモ元「ペンシルバニア」ヨリ多量ニ産シ、貴府ヨリ輸出シ
居リシガ一方ハ英、一方ハ露ト相拮抗シ居タリシガ、十九世紀ノ終リヨ
リ二十世紀ノ初ノニカケ California 地方ニ油田發見セラレ、「ペンシルバ
ニア」ヨリ産額大ニナリ、又同時ニ Mexico ノ流域ヨリ盛ニ出テ Canada
州ナド Mexico, Baku ヨリモ出ズル状態ニナレリ、故ニ今日デハ世界ノ
石油ヲ米ガ独占スト云フモ過言ニアラス。



近時ニ於ケル「ベルンズ」ノ石油ハ甚ダ注目
スベク gasoline ノ輸入ノ五四%ハ「ベルジ
ヤ」ノ石油ニシテ又原油ニテハ殆んど
「ベルンズ」ノモノヲトリ居レリ、日本ニ於
テモ海軍用ノモノナドハ「ベルンズ」ノモノ
多シ、蘭領「スマトラ」ノ「ハー、五、フルーマニ

ア「一、一」日本ハ「一、一」ナリ。

如何ニ米ガ今日ノ原料ニ於テ優越シ居ルカ、地下ノ富源ニ富メルカタ知
ル。

「ロッキール」山脈ニ出ヅル鉱物ノ中銅ニテハ一九二二、世界ノ五〇
%ニ及ビ日本ハ僅カニ三%、日本並ノ「チリ」ハ一%、Silverニ於テ
合衆國、二九%、第一ハ「メキシコ」四二%。又其他重要ナラザル金属アリ
テモ合衆國殆んど一人舞台ノ觀アリ。

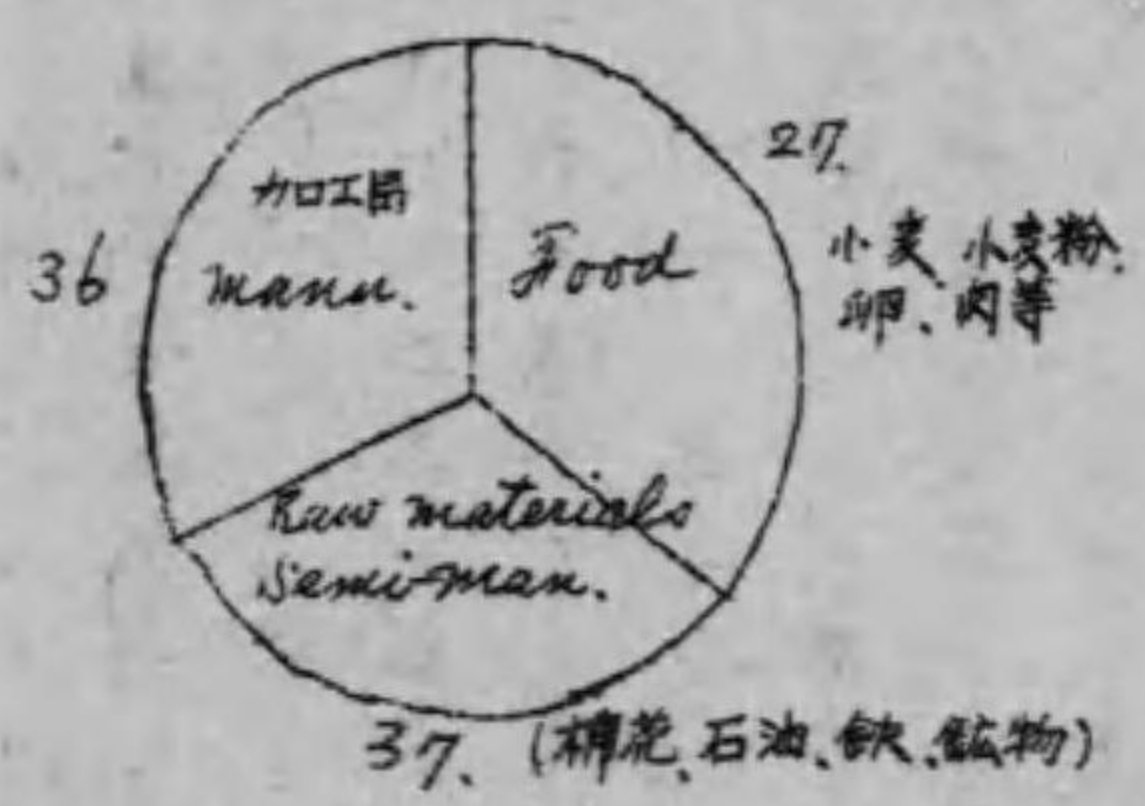
合衆國ガ從來、棉等ノ天産多ク、近來鉄、石炭等ノ鉱物多クナリ外國貨
易モ然ルモノメト云フニ然ラス。

即チ十九世紀ニ於ケル輸出品ハ主トシテ食料品、原料品、半粗製品ナリ
シガ近來 *Manufactural industry* 盛ニナリタル故棉等自國デ紡績シ
製織工業盛ニナリ、精巧ナモノヲ國外ニ出シ、又大製鉄業非常ニ發達シ、
種々ノ鉄材ノ外機械製造ソノタメニ促サレ發達シ殊ニ製鉄業ハ米本國ニ於
ケル鉄道ノ發達ヲ促シ、又大建築ハ鉄筋、鉄骨ヲ使用スルニ至リ、大機械
類ヲ初メトシ、農具ノ製造ヲタメニ用ヒラル、モノ多ク、外國ニ輸出セラ

ル、鉄も多量ナリ、故に今日ハ小麦、穀類ニ較ベテ加工品ノ方却リて價ヲ増シ居ル有様ナリ、(左表参照) 之等製造品ノ内重ナルモノハ機械類、其
 他棉布、棉製品、自動車等ナリ。

斯ノ如キ状態ニ於テ「アメリカ」ハ五洲ナ世界大工業國ノ有数ナル地位ニアルナリ、北米ニアリテハ合衆國ノ外「カナダ」、「メキシコ」殘ルナリ、「カナダ」ハ前途ナリ。

西 出 輸 回 象 合 米



Mexico
 Mexico ハ土地南ニヨリ一帯ニ高原國ニシテ温帯、熱帯様ニナルモノアリ、而シテ種々ノ産物ヲ供給ス、即チ熱帯ニマリテハ砂糖、果樹フツクリ、次第ニ烟草、「コヒー」等、次第ニ高台ニ至ルニ隨ヒ小麦、玉蜀黍盛ニツクラレ、稍々不毛ナル所ニ於テハ牧畜行ハル、其外コノ國ニ於テ最モ重要ナルモノハ金山業ナリ、今日ニテモ銀ハ世界産額ノ一ヲ占ム。

殊ニ近來石油ノ産地トシテ非常ニ重要ニナリ、世界第二位ナリ、即チ過去十年ニ於テ十一倍ノ産額ヲ見ルニ至リシハ注目スベキ事ナリ、只コノ國ハソノ國家的勢力ガ微弱ニ國民ノ經濟状態他國ニ較ベテ劣リ、ソノ他ノ事業殊ニ鉱山業ナドハ外國人ニ依リテ經營セラル、米國ノ資本ノ投下モ尠カラズ、輸出ノ大部分モ米ニ入ル、

西 印 度 諸 島

コハ歐人ノ開キタル熱帯植民地トシテ種々ノ産業行ハル、ハ東印度諸島ノ如シ、之等産業ヲ檢分スルニ
 即チ Cuba = 於ケル砂糖栽培業ナリ、之ハ東印度ノ「シマバ」ト相對シ Cane sugar ノ大関ヲナシ居レリ、

南 美 利 加 ノ 産 業 状 態

コノ大陸ハ北米ニヨク似、即チ西ニ高峻ナル山脈横ハリ、東方ニ台地横ハル、Andes 山脈ハ海岸ヨリ吃立シ、六ののの米、七ののの米ニ及ブモ

ノモアレドモ「ブラジル」高原ハ僅カニニ〇〇米ノ個所最モ高シ、コノ
間ニ又大平野横ハルコトモ北米ニ似タリ、即チ北半ニ於テハ世界第一ナル
「アマゾン」流レ、南ノ方ニテハ *Rio de Solimões* 流ル。

コノ大ナル南米ノ人口密度ハ非常ニ少ク、未ダ十分ニ任レ居ラズ全体ト
シテ一平方軒ニ三七ハ米十位、政四〇位ノナリ、即チ自然ノマ、ニ放任セ
ラレタル所多ク、「アマゾン」ノ流域ニアリテモコ、ハ赤道直下ニアリ、
雨量豊富故コノ流域ハ世界中一番鬱蒼タル大森林ヲ有シ、植民ニハ之レ等
森林ノ採伐ハ困難ニソノマ、ニ放任セラレ、只護録ノ木ヲ採シ当テ、ハ「
ゴム」ヲ取リ居ル状態ニシテ「ゴム」園等ハ越々興ニス（馬米ニ「ゴム」ハ取
ル）。

南「ラブラダ」平原、又「アルゼンチン」平原即チ北「ラブラダ」流域
ハヨリ雨量ヲ受ケ中央部南緯三十度、尚ズツト南ノ方ニ行クト太平洋ヨリ
雨水ノ蔭ニナリ一帯 *Steppe* ナリ、故ニ産業状態自ラ異リ、農牧ニヨリ利
用セラレ居ルハ「ラブラダ」河流域ニシテ又世界穀物倉ノ一ナリ、戦後ノ
穀物ニアリテハ北南米第一ナリ、合衆國、「カナダ」、「アルゼンチン」十

リ、又コノ附近ノ平野ニ於テハ牧畜盛ニ行ハレ、羊毛或ハ肉類、衣食ノ大
供給地ヲナス。

産業上ヨリコノ大陸ヲ三分スルト北ト東ト南部、第二ハ南カラ東北、第三
ハ西部諸國（*B. B. C. E.*）

之等ハ熱帯故熱帯性ノ *plantation* ヲ見ル、「ゴム」モノノ一ナレドモ
Coffee, Cocoa、ノ栽培見ルベキモノナリ、世界ノ「チヨコレート」ハ多
ク *Ban. Eg.* 等ノモノナリ、「ブラジル」ニ於テモ最初政羅巴ノ移民未
リニ時ハ一番端コ上陸シタル「ポルトガル」人モ熱キ故黑人ニ棉、砂糖等
ヲツクラシメタルナリ、今日ニテモ棉、砂糖アレドモ極ク少量ナリ。

「ブラジル」ノ重ナル産物ハ欠取リ「コヒー」ナリ、サレド範圍ハ極ク
限ラレタル小部分ニシテ *Rio de Janeiro*、*St. Paul* 州ニシテ後者
ニハ日本移民三萬モ入りト居レリ、コノ *St. Paul* 州ニ於テ世界需要「コ
ヒー」ノ七割、少キ時ニテモ大割、多キ時ハ八割ヲ供給シ居レリ、如何ニ
ソノ産額多キカハコノ國ノ外國貿易ヲ見テモ一九二一年「コヒー」ノ輸出
額、三億四千万円、砂糖三千三百万円ナルヲ見テモ「コヒー」ノ産出如何

ニ多キカヲ知ルソノ大部分ハ「セントポール」州ヨリ出ツ、コノ國ノ外國貿易ヲ見ルニ「セント、ポール」一州大ニテコノ國ノ大部分ヘ半額ノ穀ノ輸出額ヲ有シ、隨テ住民多ク、種々ノ事業ノ中心デアル機械類ノ入り居ルタメ輸入貿易ノ約三割、輸出ハ「ブラジル」ノ五割ヲ占メ居レリ、氣候凌ギヨク冬寒カラヌ日本移民ナドモ続々成功シ居ル有様ナリ、尚「ブラジル」ニ於テハ米ヲ作り、水田ヲモ作ル、コハ元來住民ノ常食ナリシガ今日ハ輸出スル程ナリ（セント、ポール州ノ國ハ次頁ニアリ）

次ニ Argentina, Uruguay (人口密度南米ノ内一番密、一平方料六ノ) Paraguay 等横ハル La plata landト總括シ Economic Province トシテ取扱フ。「アルゼンチン」等ハ北米ヨリ遠クヨリ開ケタル所ナレドモ今日ニテハ有数ナル世界ノ穀物倉且ツ牧畜地ナリ居レリ、今日日本一現在アル船舶ノ總噸數ニ依リニ船ノ容積一化ニ小麥日方一化ヲ積メリトセバ約ニ二倍ニコノ「アルゼンチン」ノ輸出穀物アリ、尚、家畜ノ牧養「オーストラリア」ニ次ギ非常ナル豊キラナス、「アルゼンチン」ニハ今日牛ニハ〇〇萬、羊四六〇〇萬、人口八九〇〇萬ニ過ギズ、



即チ人一人ニ付キ牛三匹、羊五匹半ニ當リ、然ラバ人非常ニ少キカト云フニ又然ルニアラズ、即チ Buenos airesノ如キハ人口一七〇萬ヲ擁スル大市場ヲナシ居レリ、「ラテン」民族ノ作レル都會トシテ、Parisニ次グ都會(Rome, Madrid, Portugal Lisbon)ヲ作り居レリ、コハ要スルニ Winter Land 大農牧畜地アル故歐洲貿易ニヨルメト思ハル、

Br. N.ノシニテ輸出ノ四、八ヲ占メ、輸入ノ八割強ヲコノ市ニ於テ占ム、如キハコ、ニ集ル穀物ヲ出スノミナラス、羊毛、肉類ノ市場ヲナシ居レリ、羊ノ如キモ單ニモトハ羊毛ノミナリシガ近頃ハ羊ノ肉ヲモ盛ニ輸出スルニ至リ、カクノ如キ状態ニシテ Uruguayノシニテ毛羊ニ五〇〇萬

頭居ル有様ニテ南米ニテ一番注目セラレ居ル所ナリ、

此如ニ比シ西方ハ「アンデス」山脉横ハリ、太平洋ヨリノ雨ヲ含メル風モ北部ニ向フニ随ヒ風ノ影響ニテ海岸近ク既ニ砂漠横ハリ「チリ」ニ於テ多少栽培ヲ見、「ペルー」ニ多少見ル位ニシテ西部ノ更ナル産物ハ自然産物多ク、殊ニ金ハ政人ノ掠夺的侵入ヲ蒙リタル程ニシテ彼ノ *Peru* 王國ノ如キ「スペイン」人ノ侵入ヲ蒙リ、今日ハ昔日ニ劣ルニ至レリ、ソノ他金屬鉱物トシテ銅最モ多ク出ズ、即チ米ニ次グ日、西、チリ、メキシコ」肩ヲ並べ居タリシガ戦後「チリ」ノ精鍊盛ニナリ、今日ニテハ第一二位ヲ占メ居レリ、

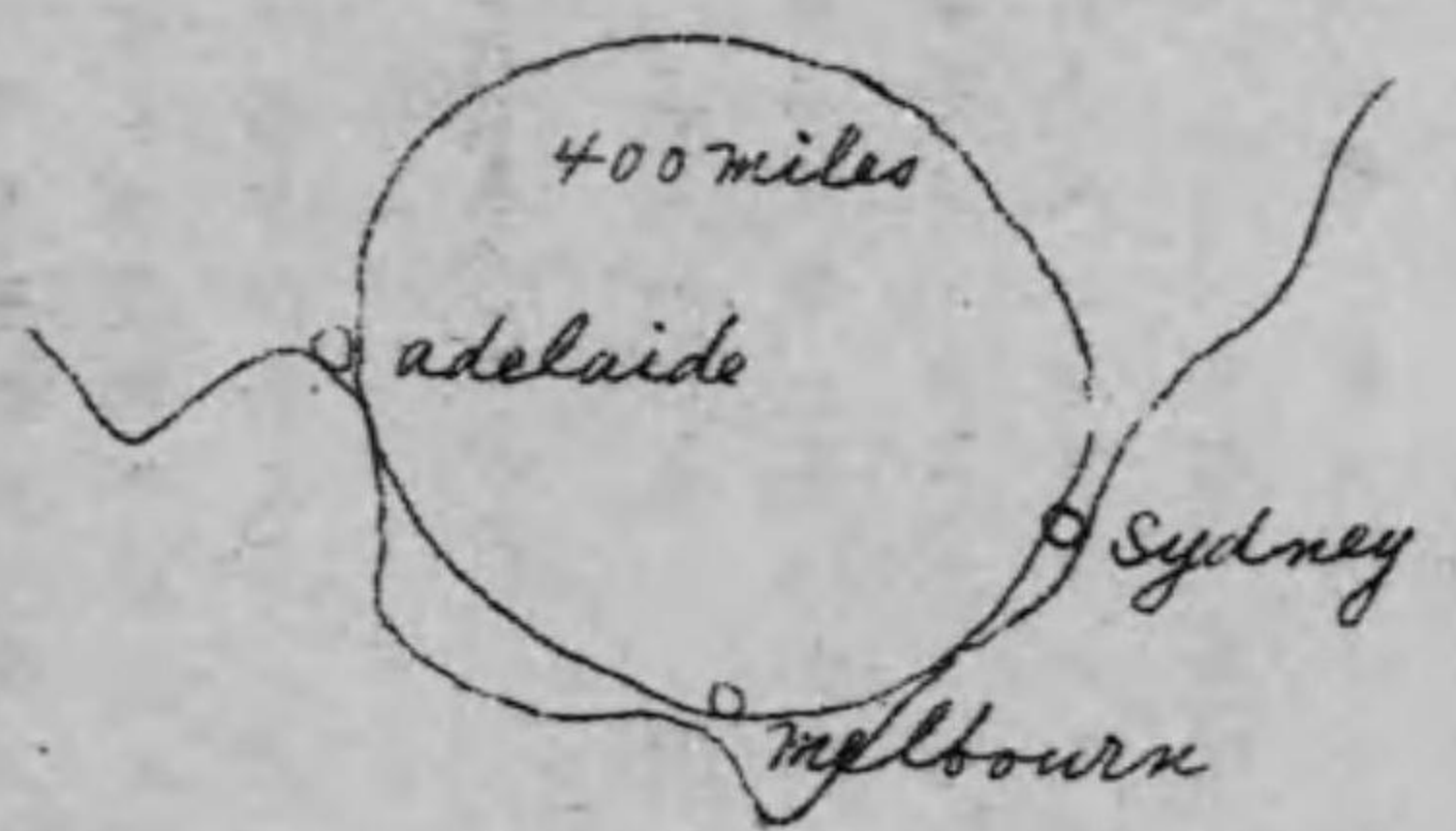
サレドコノ國ニテ最モ知ラル、ハ「チリ」硝石ナリ、大爆藥業、肥料トシテ有用ニシテ、北部ニ豊富ニ埋藏ヲ有シ、約五〇億噸ヲ地下ニ有シ尙將來今日ノ如キ状態ニ採掘スルモ尙二百年ハ壽命ヲ有セリ、硝石ノ輸出額又「チリ」ノ輸出額ノ五〇一六〇%ヲトリアゲ居レリ、尙硝石ノ副産物トシテ沃度採ラレ世界全額ノ半分位ヲ出シ、礬酸ノ原料タル *Borax* 硝石ノ之等ノモノヨリトレル、今日世界全産額ノ半額以上ヲ占ム、乍然之等、

金屬鉱業ニ於テ、磁石事業モ外國人スベテノ經營ヲナシ、資本ヲオロシ、英、独、殊ニ近來米ノ *Engineer*、乘取者シク多少ノ經驗アル日本資本家ハ所云原氣ヨキ戰中銅ノ大事業者ハソノ一ツノ銅山ヲ買収シテ事業ヲ初メシガ業続カズ、他國人ニ讓レル有様ナリ、北米ト異リ拜日傾向アル故大ニ吾々日本人ノ心スベキ所ナリ、

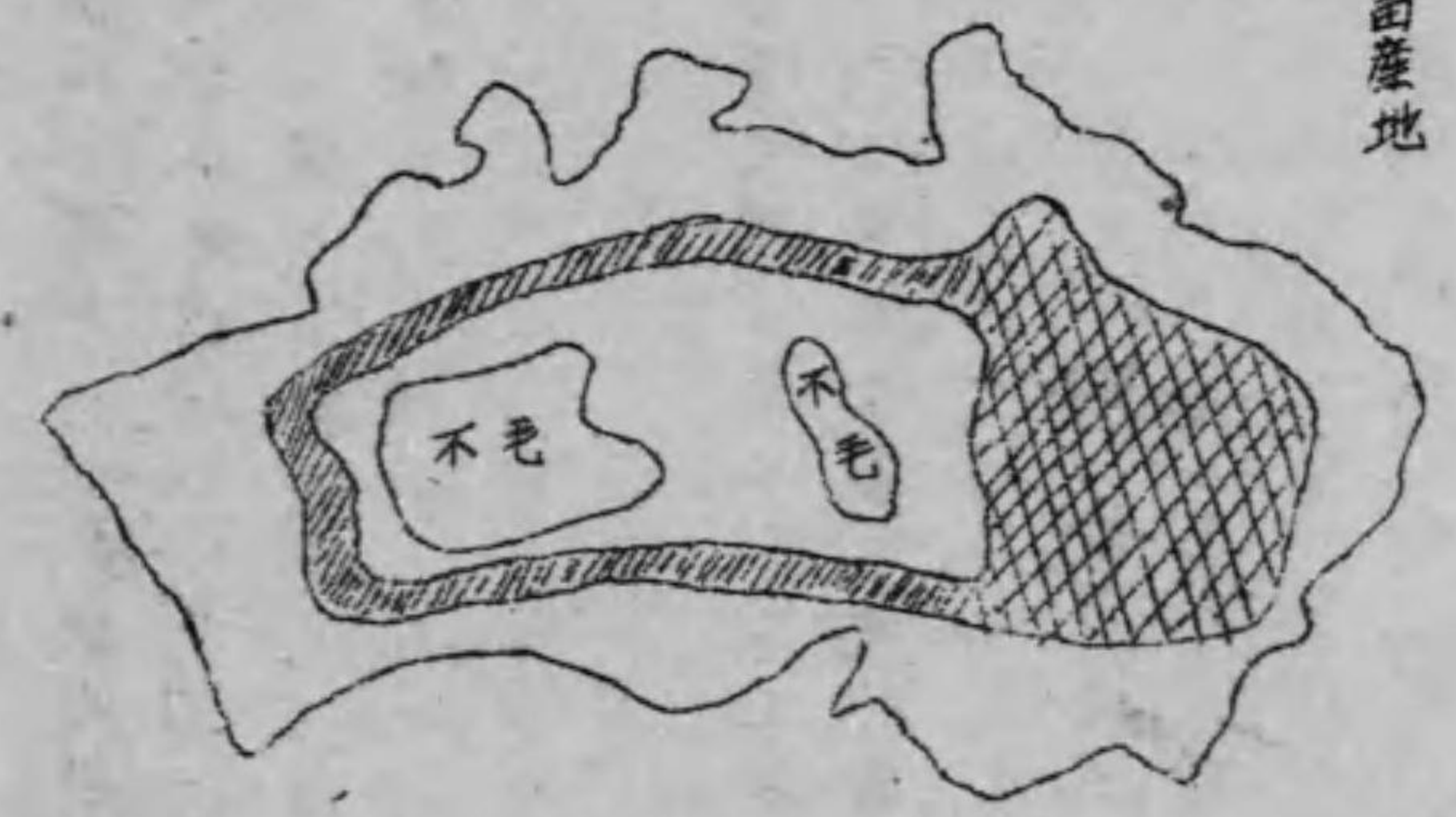
Australia

コ、ハ日本トノ間ノ物資交換ニ重キヲナス知ナリ、一則ヲ挙グルニ世界第一ノ羊毛産地ナリ、日本ノ羊毛糸類ノ使用盛ニナリ、近來我國毛織物業榮達スルニ及ビ一年六千万円近クノ原料入り米ル程ニシテ五七〇〇万アル日本人口ニ付キ一人一円ノ羊毛ヲ買ヒ居ル訳ナリ、然ルニ「オーストラリア」ニハ五六〇萬程ノ人口シカナシ、然ルニ絹ヲ盛ニ買ヒ、綿ニ主ニ富士絹非常ナ勢ヲ「オーストラリア」ニ入り、ドンナ田舎ニ行キテモコノ富士絹ノ広告アリ、一九〇〇萬位近ク入り居レリ、是レ一人当リ三円五〇銭ニ当ル、兩者相互ニ重要ナル華客ナリ、購買カハ「オーストラリア」ノ方大

ナリ、コレハ彼等ノ努力ニ依リ *natural resource*



畜産地



一五六
即チ北東東南ニカケテハ雨量多ケレ共他ハ非常ニ少シ、北部ハ *Rainy*、*dry*、*season*ニ分レ居ル如ク、自然ヲ相手ニ農牧ヲ行ハントナラバ東ヨリ西ニカケテノ僅カ一部ノミナルナリ、ソノ實際ノ状況ハ、最初和蘭人ハ西部ノ惡狀態ノ如クニ見 *New-Holland* ト呼バレタル如ク「ジメバル」ノ方違ニ良シト云フ事ニナリ、次ニ

決人「シドニイ」ヲ第一ノ起矣トシテ植民始マリ次第ニ開ケタルナリ、即チ内部ニ至ルニ從ヒ不毛ノ地多ク開墾困難ニ右圖ニ見ル所最モ雨ケ居ルナリ、

土地ノ開墾ハ勞力ヲ要ス、乍然ソノ土地ニ適スル勞力ヲ必要トスルナリ、「オーストラリア」ハ北ニ從ヒ熱帯ニ南ハ溫和ナリ、主トシテ英人ヲ移住セシメ、他國人ヲ容レズ、彼等ノ謂ユル有色人ニハ入ルヲ禁シ *white Australia* ト稱シ大抵ハ英人ニシテ生國英國ナラザルモノ少シ、北米ニ多數ノ移民ヲ出ス「イタリ」デサヘ約八万人シカ入ラズ、五六〇萬人ノ中大部分ハ英人ナルナリ、
人口一人ニツキ羊一四五 牛二五 馬二人ニテ一匹等種々ノ産アリ、

第五章 主要ナル食料品ノ分配

米、小麦ハ世界十七億ノ住民ヲニワカ分ツ、

18. 42 (2) 2. 4. 21
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

米ハ「アジヤ」季節風帯ニ限ル、併シ北亞米利加ノ一部、南亞米利加ノ一部、輸出スル所モアル、外國ニ輸出スルモノトシテハ印度又ハ印度支那半島デアル。「アジヤ」ノ住民、「アジヤ」ノ移住民ノ居ル所ニ常食トシテ輸入サレル、西印度、南米等ニ居ル支那人ニ輸入サル。

歐洲ニ於テモ副食物トシテ相當ニ多イ、或ハ工業用原料トシテ輸入スル、併シ大部分ハコノ地方又ハソノ住民ニヨリテ消費サレル。

小麦ハ主トシテ歐洲人又ハソノ植民地ニヨリテ消費サル、併シ亞細亞ニモ少カラズ、支那人ニモ麦類ヲ常食トシテ居ル所モアル、併シ主タル消費地ハ歐洲デアル、供給ハ歐洲ヨリモ勿論出スガ新大陸（北米、濠洲）及び印度ガ主タル輸出地ナリ、消費地トシテ殊ニ大ナルハ英國、西、中、南歐、諸國英ニ次ギチ主ナル新大陸ノ需要者ナリ。

主ナル供給者ハ合衆國、加奈陀、亞爾然丁、濠太刺利、印度ノ順テアル、ソノ中デモ亞米利加合衆國ハ最大、輸入國ハ英、仏、ノ順、ソノ他ハスツト下ル、伊太利、独乙、白耳義等之ニ次ク。

肉類、東洋方面ハ供給消費著シカラズ、支那ニ於テモ自給自足デアル。

肉類ノ消費地ハ小麦ノ消費者ト殆ド同ジ、北米、南米、濠太刺利、亞米利加ハ殆ド世界ノ肉類ノ輸出貿易ノ半額ヲ占メテ居ル、之等ニ併ヒ動物性脂肪其ノ他ガ半額以上供給シテオル、又亞爾然丁ガ之ニ対シテ居ル、牛肉ハ北米ヨリ少シク多イ位、多イ時ニハ五五%ヲ出シテ居ツタ、コ、ニハ製造工業ハ十ク農業ヲ主トスル、牛肉ハ北米、亞爾然丁ノ二國ヲ輸出貿易ノ全部ヲ握ツテアル。

亞爾然丁ハ又羊肉モ盛ニ出スマウニナツタ、濠太刺利亞ハ戰前ニハ多イトキハ一〇%ニ、%ヲ供給シタガ戰中ノタメニ打撃ヲ受ケ一〇%ニ至ラサルモ尙ホ輸出國タリ、尙濠太刺利亞ハ副産物トシテ輸出ハ羊肉デアル、コ、ニ於テハ兎膏ヲ防クコトカ重大ナルコトニナツテキル、之ヲ駆除シテキル、ソノ皮ソノ肉ガ輸出ノ相當ナルモノニナツテキル、「ニュージーランド」ハ矢張り羊牧畜盛デ肉モ多ク出ス、年ニヨルト世界ノ七〇%ヲ占メタコトモアル、四〇%位ハ欠ガサナイノデアル。

コノ外新シキ肉ノ供給者トシテ伯刺西爾、英領南阿弗利加カ仲間入りヲナスニ至リ支那モ戰中ニハソノ中ニ割リ込マコトモアル。

之等ノ新開地カラ肉カ出ルガソレヲ消費スルノハ英ヲ第一トスル、戦前
(一九一四)ニハ總テノ肉ノ輸入貿易ノ四分ノ三ヲ占メテ居タ、戦後ニ尚
七〇%位ヲ引受ケテキル、之ニ次テハ仏ヲアルニ一六%、伊ハ二一〇

政ノ中デ戦後英、仏、伊デ輸入貿易ノ九〇%ヲ占メテキル、如何ニ食料
品ノ工業國ニ必要ナルカラ見ル、
ソノ他ノ嗜好品ニシテ見ルモ同シテアル、
「コーヒー」、砂糖ニ付テ見ル
モ同シテアル、

其他砂糖(熱帯産)「キエーバ」、
「シマス」、印度ハ自分テ消費スルハ何レモ
温帯産(独、「チエコ」、「ハンガリー」、「ロシア」)
ハマハリ其ノ地方並ニ英ニ
向テ輸出スル、消費者ハ英米ガ一番多イ、

茶、珈琲ハ何レモ熱帯、温帯産デ、茶ハ米ト同シク、
珈琲ハソレヨリモ
暖キ地方ナリ、伯刺西爾ヲ主トスル、之等ノ集散ノ状ハ茶ハソノ地方及ビ
欧米ニモ入ツテキル、印度ノ産額ハ近時支那ヲ奪ツテ輸出ヲ占メテキル、

支那ノ次ハ日本テアル、

消費者ハ北米、英、露(今ハ衰ヘテキル)テアル、
斯ク見レバ食料品、嗜好品ノ大キナ中心地ハ一ツハ歐洲、一ハ新大陸デ
アル、

衣服原料、コットン、毛、麻、絹、
衣服原料ハモトハ綿、麻、羊毛テアツタガ十九世紀ニナツテ著シク「コ
ットン」ヲ用フル様ニナツタ、
英ニ見ル、

輸出紡績工業

百万ヤリヲ單位トスレハ	綿	毛	麻
一九一四	二四三	一四九	一九四
一九二〇	一五〇	七一	六三
之ヲ價格万「ヤ」單位トシテ見レハ			
一九二〇	一八	五	二
一九一四	九	五	一七

一四二
 英國ノ今日ノ工業ヲ最大ナルハ織物工業デアレ。今世界ノ綿ノ状態ヲ見ルニ主要ナル産出国ハ米、印、埃、北米ハ七ヲ占メ、印度、埃ハアトノ三ヲ占メル割合タ、併シ之ハ米ハ原料ヲ輸出スル外自今テ作ツタモノモ出シテ平ル。

紡績工業ノ各国ノ能力ハ鐵ノ数ヨリ%ヲ見レハ
 英 四〇%
 欧大陸 三〇%
 米合衆國 二一%
 日本印度 六%
 其他 三%
 如何ニ英ノ工業ノ多キカ、察セラレル。
 棉花ノ消費量ヲ見ルニ
 英 二〇%
 欧大陸 三四%
 北米合衆國 二五%

日 一六%
 其他 五%

英國ハ細糸ナレハ綿ノ消費量割合ニ少シ。全体ノ綿ノ原料ハ三ヶ所タカ米棉ハ英國ヘ行ク、尚ホ英國ニヨキハ印度、埃及ヲ勢力範圍ニ入レテ平ルコトデアル、埃及ノ七割ハ英國ヘ入ツテ行ク、カク世界中ノ綿ヲ織リ之ヲ供給スルコトハ政ハ勿論、世界各地新開地ニハ到ル所行ツテ平ル、印度、支那ハ大ナル需要地デアル、英國ノ得ル利益ハ莫大ナモノデアル。

一九二三	英國ノ棉輸入額ハ	九三、四九九、〇〇〇
一九二〇	加ニ輸出ハ	一七、七三〇、〇〇〇
一九二〇	全輸入	二五、四〇〇、〇〇〇
一九二〇	全輸出	四〇、〇〇〇、〇〇〇

世界ニ於テ工業トシテ紡績工業ニ次クモノハ毛織工業デアル、羊毛ハ供給地ハ新開地デアル、濠洲、亞爾然丁其他亞米利加合衆國、南亞弗利加、ニエトジトランド、デアル、之レガ製造業ハ綿ノソレニ大ニ以テ關係ガア

ル、美独仏白ニ豆ツテ製造ナレルカ他ニ比シ小ナレバ省ク、絹、供給地ハ綿、毛ノ反対ナアル、重要ナル供給地ハ極東地方ナアル、

極東	一九二二	万キログラム
西歐	二七、五	
近東及東歐	四、〇	
計	〇、七	
	三二、二	

コノ消費地トシテハ原料カニツノ地ヲ中心トスル、一ツハ佛、瑞、西、伊、独等、他ハ亞米利加ナリ、之等ノ外ニ工業トシテ見ルベキハ機械製造、化学工業ナアルガ機械製造ハ英、米、独ヲ最モ重キヲナス、米英ニ於テモ絹糸、次ニ之ニ重キヲオイテキル、白耳義ノ如キハ之ヲ最モ大切ナルモノトシテキル、ソノ原料ハ鐵物、アル、鐵物、鉄、石炭ハ新大陸ニ移ツタ、製鉄業ニ付テハ英カ強乙ニ越サレ、コノ二國ハ二十世紀ニナツテハ米ニ急ニ追ヒ越サレ、石炭モ同様ナルヲ

ニ機械製造ニ於テモ亞米利加ヲ第一トスル、石油ノ産額亦米ニ大ナルハ新大陸ニ重大ナル影響ヲ及ボシテキル、石油ハ之ニ対抗スル外ハ勢力ナイコトニモヨル、貴金屬ハ主トシテ新開地、南亞弗利加、濠太刺利、北米ナアル、英ノ勢力範圍ニ大部分アルガ銀ハ殆ド亞米利加、銅モソツデアル、斯ノ如ク天然物何レヲ見ルモ新大陸ニ多シ、之ヲ消費スルハ政ノ西半及ヒ亞米利加デア

第六章 人類ノ移動

生産物が如何ナル人ニヨリテ造ラレ如何ナル人ニヨリ消費サレ、如何ナル労働力ニヨリ分配サレルカヲ見レハ極メテ不規則ナアル、歐洲ノ中西部デハ人口ノ密度一平方料ノ内ニ一〇〇以上、白及英國ノ英蘭地方デハ二〇〇人以上、関東、大阪平野モソノ位ナアル、又新開地濠洲ノ如キハ〇、八人位ノ

如モアル、亞細亞ノ内地、西伯利亞地方ニナレバ住民モ甚ダ少シ、ソノ分
 布モ極メテ不規則デアリ、一般ノ経済状態ヲ知ルニハ人口ヲ測ルコトガ重
 要デアルケレドモソレガドレズノ密度ニ行ハレテ居ルハ疑問デアリ、今日
 国勢調査ノ行ハレテ居ルハ一流ノ文明國ヲ行ハレテ居ルノミデアリ、日本
 デモ全國ニ行ハレタルハ最近一回デアリ、精密ナル人口ヲ知ルハ一面ソノ
 國ノ勢力ヲ知ルモノデアリ、国勢調査ヲ行ハズ人口ヲ云ヒ居ルハ多ク概算
 ニヨルノミデアリ、推算ノ出来ル理由ハアリ、文明國ナラサル國デモ相当
 ノ開化ヲシテオル以上ハソノ國ノ全体ノ人口ハワカラネトモ國ヲ支フル力
 ハ之ヲ知り居ルモノナリ、若シ或ル地方ニ百人ノ集団中ニ此トタルヘキモ
 ノガ一人アリトスレハ全國ノ此ト何人ニ於シ人口何人ト云フ推算ヲナシ
 得ル、又納税者ハ大体何人位アルカヲ知レハ一村ノ人口等ヨリ測リテ食物
 又ハ必要品等ノ消費高ヨリ推算シ得ル、中ニハ一地方ヲ推算シテ他ヲ推算
 スルコトモアル、文明ノ程度尚低キ地方ハ實際ノ旅行家、学者等が見ルコ
 トニヨリ定マルモノデアリ、游牧民モ村ノ酋長アリソノ下ニ幾人居ルカラ
 知ラバ一地ノ人口ヲ推算スルコトガ出来ル、熱線セル探險家ノ如キハ自分

ノ通ル道スカラ家々ヨリ大凡ノ住民ノ數ヲ推算スル、斯クテ世界ノ人口
 モ色々ノ統計ニヨリ大体計算シ得ル

コノ人口ヲ知ラサレハ田舎ナル経済生活ヲ管ムコトハ出来ナイ、人口調
 査ヲ精密ニナス必要ハ政治上ヨリハ一國ノ運命ハ國民ノ双肩ニカ、平
 時ハ租税ヲ、戦時ハ兵事ニ服ス、経済上ヨリハ生産量、消費量ヲ知ルコト
 ハマカテ産業組織、社会向題ノ解決ニ必要ナル基礎ヲナスモノデアリカラ
 人口ヲ調査スルコトヲ要ス、人口調査ニ當リ數ヘルコトハ国情ニヨリ一様
 ナラズ、日本ト米國ノ如キハソノ標準ヲ異ニシテ居ル、殊ニ米國ノ如ク移
 民ノ多ク入り来ル國ハ又一層複雑デアリ、係シ一般ニ知ルヘキコトハ、男
 女ノ別、年齢ノ別、家族ノ關係、職業、生計ノ程度、階級別等デアリ、
 大切ナルコトハ國民ノ体力、智力ハドレダケノ發達ヲナシテ居ルカデア
 ル、

若イ者ト老人トノ割合ヲ見レバ生産率ガドノ位アルカヲ知り得ル、中産
 階級ハ國ノ中堅ヲナスモノデアリカ、ソレガ少ナケレバソノ國ノ政治経済
 上モ着シク振ハズ、

又亞米利加ノ如ク多クノ歐洲人移住シテ居ル所デハ又種々ナル見方ガアル、白人ハ農園ノ労働ヲナシ出産率多シ、伊太利人ハ実業ナル労働者少ク、商人、小賣商ヲナスモノ多シ等、

又瑞西ノ如キハ佛系ノ者ト独系ノ者ト居ル、両方ノ性廉カ遠フカ融和シテ国民性ヲナシテ居ル、製造西デモ独風ノ実直ナル所ニ佛風ノ繊細ナ所ヲ加味シテ居ル、デアルカラソノ素性ヲ見ルコトガ必要デアル、

殊ニ男女ノ別、壯年ト老年ノ数等ハ直接労働界ニ影響アルバカリデナク、男女ノ数ハ將來ノ国情ニ大干係ヲ有スルモノデアル、世界ノ人口密度文化ノ分布状態ヲ具體的ニ見ン、

▽住民ノ質ニツキテノ考察

文明ノ利器ノ使用、文学藝術ノ愛好等即チソノ文化ノ状態テ之ヲ各國ヨリ見コルモノヲ見レハ、最モ剛ケテ居ルト見ラレルノハ中政、西政デアリソレヲ遠サカルニ從ヒ

少ク、コイベリヤ、半島、コロシマニ至レハ道カニ下レリ、米ニ於テモ東部最モ拓ケ西部ニ及ブ、併シ白人ノ植民地ハ文化ハ進ンデキレ、中デモ英人ノ居ル所ガ殊ニ進ンデ居ル、南米ヨリハ南阿弗利加ガ進ミソレヨリモ濠太刺利ガ進ム、コノ如キハ仏、伊ト同程度ノ如ク見ラル、

「オーストラリア」ハ仮令教ニ於テ少クトモ仕事ノ成績ハ大ニ見ルヘキモノアリ、「オーストラリア」全体、五六〇万、一平方キロ、七人位デアルガソノ僅カノ人民ノ努力が大デアツテ食料品、工業原料ヲ多大ニ供給ス、「アルゼンチン」ニ見ルモノ人口ノ密度三人而カモ之ガ穀物、肉、毛ノ供給者トシテ重キヲナシテキル、斯ク人口ノ数ノミナラスソノ質ヲ測ベルコト大切ナリ、

人口分布ノ状ヲ見ルニ甚タ不公平デアル、ソノ間接セル原因ハ自然ニヨルコトハアラウガ全体ニ世界ヲ見渡スト密度大ナル地方ヲニ大別スルコトガ出来ル、

- (1) 亞細亞ノ季節風地方、ソレヲ又ニ分テハ印度、支那、日本、シマバ
- (2) 歐大陸、中政ヨリ以西、

13) 北米大陸ノ大西洋岸地方
世界密度ヲ見ルニ

最多 一〇〇人以上
多 五〇―一〇〇
中 一〇―五〇
小 一―一〇
稀 〇―一
之レヲ各大陸ニツイテ見レハ

政羅巴	四八八
亞細亞	二〇八
何弗利加	五八
南亞米利加	三七八
北亞米利加	六八
濠太刺利	〇七八

日本カ他ノ諸国ニ比シテドノ位ノ地位ヲ占メ居ルカ、

日本(内地)	一四七
近畿	四七〇
関東	四八六
東海	二三六
東山	一三五
四国	二二五
九州	二二三
東北	九八
(岩手)	五六
北海道	二六
政羅巴ニツイテ見ルト	
白耳義	二四六
英蘭及ウエールス	二三八
独乙	一二三
伊太利	一二六

ネツオ蘭

二〇九

一五二

バルチツクハ北海道ト同シ位デ

エストニヤ

二六

ラトビヤ

二五

ロシヤ

約二〇

バルカンモ四五十人位デアル

人口ノ密度ハ或程度マデ文明ニ伴フ、アルハ人口ノ多イノハ商工業ノ盛ニ
ナルコトニヨル、

農牧ノ如キハ一人ニ与ヘラレタル面積ナラザル要ス、商工業ハ一人ノ有スル
モノデハナイ、故ニ歐洲ニ於テハ最モ商工業ノ發達セル英吉利ニ於テ見ル
ト、農、林、漁業ニ從事スルモノカ一五%之ニ及シ商業、交通、工業、鐵
山ニ從事スルモノガ七九%ヲ占ム、中欧ノ「ハンガリー」ノ如キハ農林五
九%、商工一六%、斯ク中部カラ東部ニ至ルニ從ヒ次第ニ商工業者増ス、
ソレガ丁度文明ノ分布ニ似テ居ル傾向ヲヨク現ハシテ居ル、
亞細亞大陸テハ支那ニハ人口密度大ナレドモ、内地ト加ヘルト五二人デ

アル、倭シ揚子江下流、北支那、海岸トナルト、ズツト密度増加シテ江蘇、
山東ノ如キハ一〇〇人以上、直隸、湖北、河南、江西、安徽ノ如キハ大ナル方
ナリ、

印度ハ全体デ平均九〇人

之ガ新大陸ニナルト密度非常ニ少クナツテ居ルノヲ見ル、ソコデ自然ノ
状態ニヨリ移民ノ耐ヘレ所デハ幾々移民入りツ、アルガ、倭シマダ稀薄デ
アル、ソレハ日本、歐洲ニ比ベルト比較ニナラナイ、北米ノ如キハ大西洋
ノ方ハ一州トシテハ百人以上ノ所モアルガ全体デハ僅カニ一三人ニ過キ又、
之レガ加奈陀ニ行クト、九人デアル、南米及羅甸亞米利カヲ見ルト多イ所
デ墨西哥ノ八人ソノ他ノ重要ナル國デモ（阿爾然丁、伯刺西爾）三人ニ過
キヌ、伯刺西爾ノ「リオデジマネイロ」州デモ尚ニ二人、「サンボロー」
ノ如キハ一人位ノモノナリ、濠太利利ノ如キハ〇七人ソノ中デ、「ヴィク
トリヤ」ニ「ユースウスウエールス」ノ地方デモ六一二人デアル、コレ亦
移民ノ入来ヲ待ツテ居ル、
斯ク人口ノ分布ハ極メテ不平等デアル、之等ノ地方ニ付キコノ人口ガ或

一五三

ル一ツノ地方テ同シヤウナ程度テ分タレ或ハ一ツ所ニ集中サレテ居ルノヲ見ルト着シク又差異アリ、農業國ハ比較的等シク、商工業國ハ都市ニ吸收サレル、自ラ都市ト田舎トノ間ニ差カ出来ル、

英國ノ如キハ殊ニ著シ

英國(一九二一)

イギリス(一九二〇)

獨逸(戰前)

米合衆國(一九一〇)

(一九二〇)

都市	田舎
七九.三%	二〇.一七%
一六.二%	八三.八%
五八.%	
四六.三% (二五%以上ノ市)	
五一.九% (二五%以上ノ都市ニ見ルモ三四%ヲ占ム)	

世界人口ハ時々變化シテ居ルカ之ハ人口ノ増加テアル、併シ之レ亦民族ニヨリテ出生ノ率ガ違フ、
「チウトン」ト「ラテン」トヲ見ルト
獨逸ニハ千人ニ付 一六人増加シ

一〇.九

一五.

一五.

一五.

五.五

四.五

七.四

英

獨

露

洪牙利

「ラテン」ニ見ルト

仏

「イスパニヤ」

伊太利

之亦一方ニ於テハ各國ノ風俗、法律ニヨリテ違フノテアルガ又彼等ノ數ノ減少スルノモ自然ノ外ニ生活難ノタメニ他ニ移住スルモノアリ、社会上ノ惡結果トシテ死亡率カ高マル、或ハ生活難カ多クナルタメニ自余カ自殺スルモノアリ、又制限スルモノアリ、衛生上ノタメ病氣ノタメニ減少スルコトモアル

之ハ文明國ニモ可ナリ多イ、コノ外ニ種々ノ天災、戰爭カ起ルタメニヨルコト多シ、戰爭ノ結果ハ政治社会經濟上ニ與ヘル影響ハ極メテ多ク、國

民ノ最モ生産的ノ青年カ不生産的ノ戦争ニ一時的或ハ永久ニ從事シ、能力ヲ失ヒ、生命ヲ失フモノカ少カラス、コノタメニ損害ヲ受ケルコトハ極メテ大テアル、
 「ナポレオン」戦争ノ如キハ二一〇万人ノ死亡者ヲ作り、或ハ五四一五六年ノ「クリミア」戦争ハ七八五万ヲ失ヒ南北戦争ハ七〇万ヲ失ヒ普仏ノ如キハ一八四万ヲ失ツテキル、日本ダケデモ日清ガ死亡一三万、傷病者共一七万、日露、死亡八五六四六万、傷病死者一〇五七五〇万、併シ敵國共ハ一六万ト云ハレテキルガ之カ世界戦争ニ見レハ莫大ナルモノデ、死者一〇、〇四七七一(一千万)、重傷六百万、傷者一千百万、停戦逃亡五百万(亞米利加ノ調査)、コノ中負傷者ノ中八五%ハ全ク恢復シ、五%ハ一部分不能デアアル、残ル一〇%ハ不能デアアル、

露西亞ノ負傷者ハ又一般ニ次ノ如クト見ラル、
 四四、五% 適當 五二、〇% 部分回復
 二、% 不能 〇、四 死亡
 斯ク之ヲ世界戦争ノ全部ニ當テハメレバ九〇〇万ハ元ニナリ、一〇五五万ハ回復シ六三万ハ不能、即チ全般ノ戦争ノタメ全クトラレドモノハ

一三〇〇万人デアアル

カクシテ直接ニナクナツタ外ニ間接ニ失ハレタルモノハ生産皆無、食物、
 家畜、營養不良、生産率減少デアアル、

尚ホコノ外ニ人口減少ハ未開民族ノ次第ニ失ハレタルコトデアアル、之ハ各地方テハ経験スルカ太平洋洲アヨク見ル所デアアル、白人ハドンノ入り込ミ、所ニ白人ト争闘シテ倒レルモノアリ、澳洲ハ白人入りテ百年足ラズナルガ黑人次第ニ逐ヒマラレ北部ニ閉塞シテ居ル、(五八万)ニ過ギズ(白人五六〇万)

又島々ニツイテ見ルモ、白人ノ間ニ平和ノ交際ナク、或ハ酒ヲ共ヘ、惡病ヲ伝ヘ、ソノ地方ニナカリシ傳染病ヲ共ヘタ、之ニヨリ少クナルコト可ナリ多イ、布哇ノ如キハ一八三二年ハ土人カ一三万アリシカ夫レカ一八九五年ニハ三、一万ニ減ズ、「タスマニア」ニハ今日ハ土人ハ全然ナクナツテ了ツタ、之等ノタメニ劣等民族ハ滅シテ居ルカ世界人口全体トシテハ増加シツ、アリ、

併シコ、ニ多クノ人口ノ移動ト見ルハ人口ノ多イトコロカラ人ヲ移ス、

即ち植民移民ニヨリテ多數ノ移住者アルヲ見ル。而モソレハ壯年者カ行ク
ノテアルカラ生産單位トシテハ大キキモノテアル、女カ行クトシテモ出產
率ノ多イモノカ行ク、移民及植民ハ最モ注意ヲ要スヘキテアル、

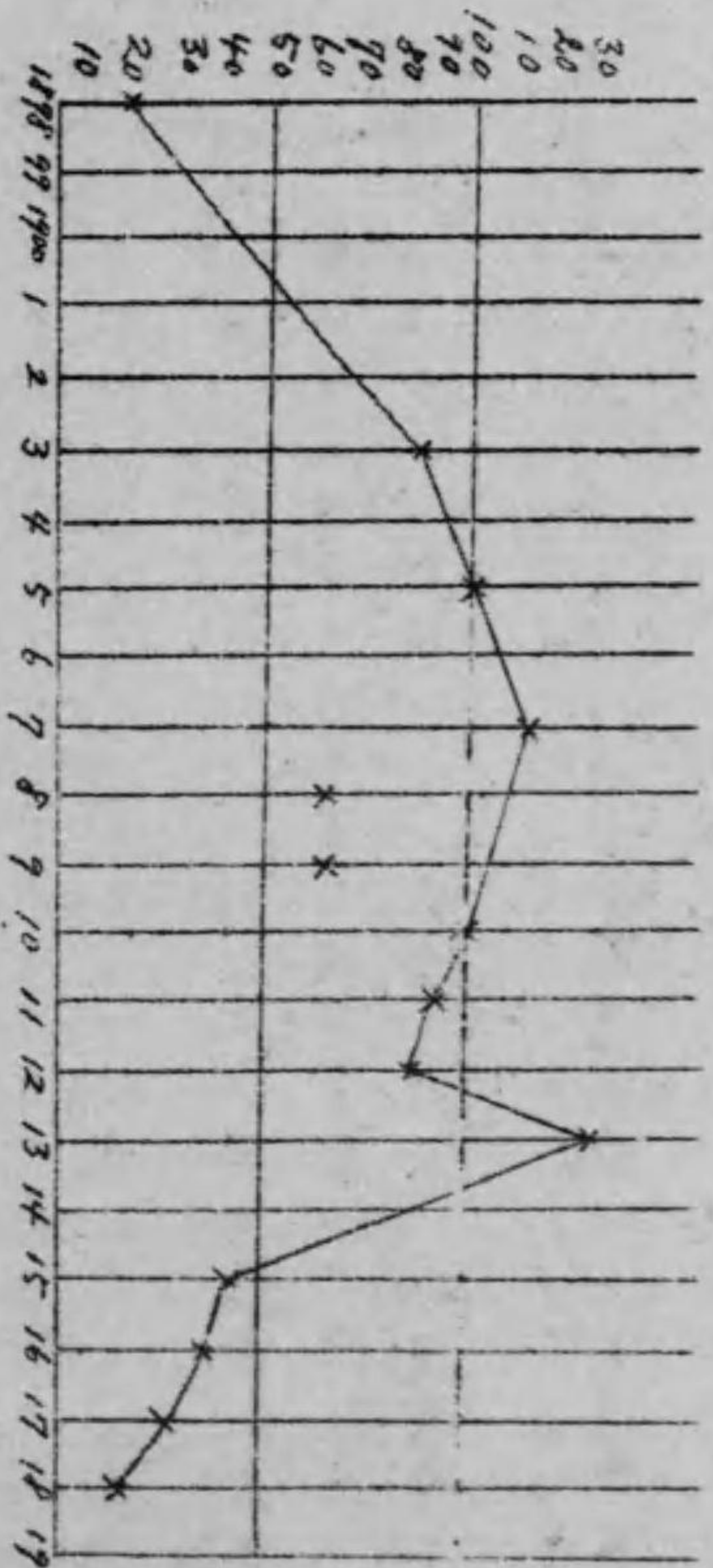
▽移民

移民ノ起因ハ何レモヨリヨキ生活ヲ得タイタメニ起ル、ソレニハ植民ノ
初期ニハ宗教上ノ逼迫、政治上ノ迫害ノ如キニヨルモノガ多イ、「ビルダ
リム」ノ如キハ宗教上ノ逼迫ヲ避ケ米國ヘ行ツタノガソレデアル、ソノ外
「ペンシルバニア」ニ移リシ「クエーカー」ノ教徒アリ、又宗教ノミナラ
ズ政治上ノ意味デ「ジュー」ハ「ユダヤ人」ガ移住スルモノ多シ、「ジュー」
ハ歐洲デ政治的、社会的ニ種々ノ制限ヲ加ヘラレ、「オーストラリア」ニ於
ケルガ如キハ職業ノ自由ヲ奪ハレ或ハ大ナル荷重ヲツケラレドワシテモ
幸福ノ生活ヲ送レコトガ出来ナイカラデアル、又戦争革命ノタメニ行クモ
ノモアル、併シ普通ノ原因トシテハ本國カ生活難ノタメ充分ノ給養ガ出来

ナイタメニ行クノデアル、而カモソノ先ニハ同國人ノ行ツテ居ルモノナリ
テソコデ不景氣ヲ脱シテ好景氣ニツクノデアル、併シ彼等ハ社会ノ落伍者
デアルカラ無一物ヲ出ルコトハ不可能デアルカラソレヲ助ケルモノガア
ルコトニ大ニカアル公私ノ団体、政府等カ移民ヲ奨励シ之ニ便宜ヲ與ヘル
タメマ、又交通業者カ便宜ヲ與ヘル、コレ又彼等ヲ誘フモノデアル、
ソレカラ一方ハ歐洲カラ南北亞米利加、濠洲ヘ行クモノナリ、又亞細亞
カラ支那ヲ中心トシテ南方、印度支那、馬來ヘ出、或ハ北西伯利亞ニ行ク
モノデアル、
之等ノ移民ノ出ル原因ハ、(一)ハ本國ニ於テ社会經濟上生活難ニ襲ハレル
コトデアル、希望セル行先ノ好景氣ハ彼等ヲ着シク誘フモノデアル、尚ホ
之レヲ容易ニスルモノハ移民ヨリノ送金デアル、即ち旅費ヲ得ラレルノデ
アル、

ソノ國ノ景氣ノ善惡ガ如何ニ之レニ影響スルカハ最近ノ米國ヲ見レバワ
カル、一九〇七年ニ一ニ〇万ノ移民アリシニ一九〇八年―九年ノ恐慌ノ結
果ハ直ニ七八万トナツタ、一九一三年ニハ再ビ一九万トナリ大戦起ルマ

又二〇一三〇万ニ激減シテ居ル。表示スレハ



(二) ハ白己ノ資カアアル。

移民ノ多イトキハ旅費ノ補助モアルカ。公私ノ団体カ便宜ヲ共ヘルコトカ大ニカアル。新聞回ナハ大ナル土地ヲ持テソノ富源ヲ開発セントスルタメニ資本ハ或ハ外債ヲ輸入シ或ハ外国ノ資本家ヲシテ直接ニ経営セシメル。又労働ノ方チハ白己國民ノミテハ不足ナル故人口ノ過多ノ地方ヨリ勞力ヲ輸

入スル。ソレカダメニハ種々ノ利益ヲ提供セシメル。即チ彼等ヲシテ利益ナルコトヲ認メサセンカタメ喧傳シ旅費ヲ共ニ、農具、家畜ヲ提供シテ誘フ。之等ハ何レモ教育ノ程度低クソノ地ニ対スル知識モ薄弱ナル。ソレニ向ツテ完全ナル智識ヲ供スル例ハ英國ニ於テソノ植民地ハ風土ノヨイ所ヲ持ツテキル。ソコデソノ植民地ノ政府ハ倫敦ノ博物館ニハ帝國會館アリテソコニ植民博物館カアル。ソレデ内状ヲヨク知ラレテ居ル。之レハ英國ノミデナイ。又政府ノミテナク公私何レノ団体ニモ之レカアル。亞米利加ノ鉄道会社ノ如キハ之デアル。之カ為メニハ移民ヲ出来ルタケ優遇スル。然ラハ彼等ノ得ル所トナルノデアル。

一方移民ノ出ル方ノ國テハドウカト見ルニ、歐洲諸國ノ中チモ初期ノ時代デハ出ル方ヲ余リニ喜バズ。ソレハ國民ガ多ク出ルコトハ生産上、国防上國力ニ影響スルカラデアル。國ニヨリテハ(瑞西)ノ如キハ嚴禁シタ。過多ニ出ツテ来ルト同ノタメ一定ノ義務ヲ終ツタモノハ出テモヨイト云ヒソノ後ハ獎勵スルメウニナリ。極端ニナルト自國ニ持テ余スモノヲ出スト云フメウニナツタコトモアル。

併シコレハ度ケル方ニハ迷惑デ之ヲ全然拒絶スルマウニナツタ。移民ヲ
 受ケル方デハ健全ナル移民ヲ得ル為メニ種々ノ政策ヲマツタカ一例トシテ
 貿易ノ保護政策デアル。之ハ或ル意味ナラハ優良ナル職工ヲ移入スルコト
 ノ意味ス。之ハ保護ノタメニ外國ニアルソレト同シ品物ヲ自國デ作ラヌハ
 ナラヌ。ソノ場合ソノ職工ニハ充分ナル賃銀ヲ与ヘラレル。ソノ結果ハ優
 良ナル職工ヲ得ルコトガ出来ル。又出ル方ノ國テハ又ソレニ対策ヲメダラ
 サネバナラヌ。又余リニ植民地ノ事業ノ豊ナルタメニ余リ多ク出ルコトハ
 ソノ國ノ生産力ヲ殺クコトニナル。伊太利ノ如キハ余リ出ルコトハ考ヘナ
 ケレバナラヌ。従来多クノ保護金ヲ与ヘテキタモノヲソレヲ与ヘナクシテ
 多少ノ政策ヲ加ヘルコト、ナツタ。何レニセヨ移民ガ極メテ大切ナルコト
 ヲ見ル。

之等ノ移民ノ出入スルタメニドンナ影響カアルカ
 受ケル方デハ如何。

經濟上ノ向難トシア一層大キイモノハ労働問題デアル。移民ハ一方生産
 ノ新シキ労働力ヲ増加スルコトガアルガ勤モスレバ労働力ノ過剩トナル。之ハ

労働ノ低賃ノモト、ナル。ソレカタメニハ生活程度カ下ケラレル。即外國
 人ノタメニソノ地位ヲ奪ハレル。コ、ニ向難起ル。故ニ米合衆國ニ於テハ
 ソノ州ヲ特別ノ法ヲ設ケテキルコトモ少クナイ。現ニ南部西部ハ家族。資
 金ヲ持チタル農業者テナケレバナラヌ。ナドマデ定メテ居ル。一番困ルコ
 トハ安イ労働ニ甘ニスルモノガ増スタメ熟練ナル職工ノ地位ヲ大ヒ産業上
 ニ影響スルコトデアル。

出ス方デハ如何。

輸入過剩國テハ移民ノ送レ金デコノ超過ガ帳消シニナルコト少カラズ。
 之ハ本國トシアハヨキモ、受ケル方デハ誠ニ不愉快デアル。出来タ金ヲ資
 本ニスレハ益々發達スルモノガ之ヲ本國ヘ送レコトハソノ國ニトツテ困ル
 ノデアル。

之ヲ伊太利ニ就テ見ルナラバ移民ノ數ハ戰前戰後テ遠フガ前ニハ年ハ〇
 万出タコトモアル。今日テハ二〇万前後デアル。之等カドレダケヲ本國ニ
 送ツテキルカ、戰前デハ一年ニ三億圓程ヲ送ツテキタ。戰後ニナツテ、一
 九一九ニハ一億一千万圓、一九二二年ニハ九千万圓位ナリ。伊太利ノ輸入

超過ガ之ト風景美トテ決濟シテキル、

支那人ガ海外各地ニ居ルノヲ見ルニ一年一億四位ト推算サレテキル、支那ノ南部、福建、広東ハ多イガ厦門ハ生産ハ少イ地テアルカラ多大ナル輸入超過デ金額ノ八割ハ輸入テアル、所ガ購買力ニ余裕アルハ移民ノ送ル正貨ニヨルノデアル、ソレデ移民ガ正貨ヲ本国ニ送ルコトニヨツテ返ツテ来ル、移民ノ出ルコトハ民族發展ノ手段トナリ、又本国ノ經濟活動カソレダケ広クナルコトモアリ場合ニヨリテハソノ政治的勢力ヲ扶植スルモト、モナル、智識ヲ海外ニ求メルコトモ少クナイ、ソレカラソノ郷里ノ發展ニ貢獻スルコト少クナイ、日本ノ広島テ布哇ヨリ帰レル者ガ外国ノ建設セルマリ方ヲスルマウナコトモアル、和歌山縣ニ於ケル一二年ニ送レル金ハ三七〇万円、ソノ數ハ五〇〇〇〇人余、即チ一人當リ七二一円ヲ送ツテキル、之カ大正五年頃ハ一人三八一円位デアツタ、

亞米利加カドノ位正貨ヲ移民ノタメニ出シテ居ルカト見ルト
 伊太利 八五〇〇万弗
 澳匈 七五〇〇万弗

英	二五〇〇万弗
露	二五〇〇万弗
支那	五〇〇万弗
日	五〇〇万弗
其他	五五〇〇万弗
計	二七、五〇〇万弗

今日歐洲諸國デドコカ重ナル労働者ヲ出ス所カト見ルト、之ハ時代ト共ニ變ツテ居ルガ一番多イノハ伊太利デアアル、ソノ數モ余リヨイモノデナイノガアルカラ好マレナイ、ソノ移民ノ増加率ハ大キク一八九〇年ニ一五、〇〇〇人ガ一九〇〇年ニ八五、五〇〇、一九〇五年、七二、〇〇〇、一九一三年ニ八八、七〇〇、戰後ニハ一九一八年、二万八四、〇〇〇出シタ、之等ノ移民ハドノ方ニ向ツテ行クカ、ソノ大半ハ南北亞米利加ニ行ク、ソノ中デモ合衆國ガ最大デ、ソレカラ南米デアアル、英ハ數ノ上ニハ少イケレドモ戰前戰後ニ〇万三〇万位ヲ出シテキル、ソノ行ク先カ本國ト同シ自然ヲ持ツ地方デ殊ニソノ

地ハ出来ルタケ本国人ヲ歓迎シ本国人デモツテマツテ行カウト云フ健全ナ
ル希望ノ下ニ發展シテ居ル。チエートン人種ハ何レニシテモ健全ニ行
キツ、アル。独乙人モソレトシテ成功シテキル、コレ着実健康デアルコト
ニヨル。

十九世紀ノ終頃ハ独乙テハ二〇―三〇万位ヲ出シテ居タ、初メテ亞米利
加ニ入ツタトキハ、ソペンシルバニヤニ独乙人町ヲ開イダコトニ起ル。更
米利加ニハ所々独乙村ガアル、一九六九年「シカゴ」人口ニ一八五、〇〇〇ノ
中外国ニ生レ又ハ外国人ヲ親トスルモノ一六九三、〇〇〇、ソノ中独乙人カ五
〇万一〇、〇〇〇、尚ソノ外獨太利ニ屬スルモノ一八万、洪牙利ニ屬スルモノ
二、二万、即チ独乙種ハ三〇―四〇%ヲ含シテキルコトヲ見ル、斯クノ如
ク多クノ独乙人ガ入ツテキル、
コノ他露西亞カラハ政治上、社会上ノタメニ農業者ノ移住可ナリキ、

併シ英独ニ及ハズ。

移民ヲ入レル國ハ合衆國ヲ筆頭トスル、又之ニ制限ヲ加ヘテキル、比較
的多イモノハ過去一世紀ノ間、一八二一年ノ統計ヲ見ルト最モ多数ノ移民

ヲ送ツタモノハ英ヲ第一トスル、英ヨリソレニ次イデハ独乙、伊太利、瑞
典、露威、獨太利、洪牙利、露西亞デ何レモ一〇〇万以上ヲ送ツテキル國
デトル。

南米デハ入レル國ハ伯刺西爾、亞爾然丁デア、加泰院、合衆國ガ「ゲ
ルマン」系ヲ入レルニ対シ、コ、ハ移民ハ羅甸系ヲ入レテキル、伯刺西爾
一八二〇年以來百年間ニ移民ノ數ハ伊太利一三八万、葡萄牙一〇五万、西
班牙、五一万、独乙一三万、英一九万、順デア、コノ國ヲ立テル上ニ於
テ又政治界デ勢力ヲ持ツテ居ルノハ葡萄牙系デア、コノ中ニ日本、モノ
ガ四方近ク入ツテキル、一年ドノ位入ツテ来ルカト見ルト、昨年八万四千
デア、亞爾然丁ニ於テハ移民ハ伊太利ヲ第一トスル、十九世紀ノ中頃ヨ
リ約五十年ヲ見ルト伊太利ニ二四万、西班牙一三〇万、仏蘭西ニ一萬デ
ル、係シ之ハ皆勞カトシテ入ツテルノテ、之カ羅甸系デ全然支配サレルカ
ト云ヘハソワテ十ク資本デハ亞米利加、独等カ大デ、「レール」、機械トカ工
業的物資トナリテ入ツテ来テキルタメニソノ勢力大ナリ、

▽亞細亞人ノ移動

一六八
亞米利加ニ入ツタノハ一時、阿弗利加ノ「ネグロ」アツタガ今日テハ非常ニ減ジテキル。

今ヨリ百年前「カリホルニア」ニ支那人入り（西班牙領ノトキ）。一八四八年ニ「カリホルニア」ニ金銀発見ナル、ニ及ンデ激増シ、桑港ヲ支那人ガ金山埠ト称スルノモコレヨリ起ル、之等ハ遂ニ他ノ労働ニモ從事スルヤウニナリ支那人ノ亞米利加ニ移住スルモノ激増シタ。

併シソコニ白人トノ間ニ向懸カ起ツタ、即チ生活程度ノ低イコトハ正貨ノ搬出デアル、此ノタメニ支那人排斥ノ声起リ初メタ、亞米利加ノ或州ニ於テハ州法トシテ之ヲ排斥スルヤウニナツタ、外國人ニハ重税ヲカケテ銀物ノ搬出ヲ防イダ、一八七六年ニハ支那人排斥ヲニ大政党ノ政綱ノ中ニ入レ一八七八年ニハ一船ニ支那人十五人ニ限ル法案ヲ提出シタ位ダ、遂ニ一八八二年ニハ支那労働者八十年間渡来ヲ禁スルコトヲ命令シ、一八八八年ニハ遂ニ渡来ヲ禁止シタ、斯クテ労働者トシテハ全く入ルコトハ出来ナクナツタ。

濠太利利ハ自然資源多キニ反シ住民ノ數少ク勞力ヲ要スルコト大ナリ。

十九世紀ノ半バ亞米利加ニ少シ彼レテ金銀カ発見サレタ、之ニ向ツテ支那労働者ノ入ルモノ多キニ至ツタ。

併シコノハ、一チモ同様ノ排斥ガスグ行ハレ茲ハ亞米利加以上デ白人ノ労働者ノミヲ以テコノ國ノ主要ナル労働者トシタ、即チ白種主義デアル。

併シ始メノ間ハ今日ノ如ク聯邦ナラサル為徹底シタ排斥ハ行ヘナカツタ、次第ニ支那人ガ入り込シタノデ先ツ「ニューサウスウェールズ」ガ先達テ各州ト協議ヲ開キ各自排斥ヲ議シタ、即チ「ニューサウスウェールズ」ハ船三〇〇〇トニ付一人ノ割合ニ決メタ、他州モ斯クシテ排斥シ以テ後スベテ亞細亞人ハ入ルコトカ出来ナクナツタ、ソコテ彼等ノ活動ノ天地ハ亞細亞ノ南部印度支那、馬來ニ限ラレルヤウニナツタ、支那ノ福州廈門汕頭香港ハ何レモ移民ヲ出ス主要ナル地デアル。

コノ地ハ幾何ノモノガ出ツ、アルカラ見ルト香港デ八年タニ三万前後ノモノガ南西ニ出テ、汕頭デモ一ニ一四万ガ出ルガ、之等ノモノハ何処ニ行クカト云フトソノ主要ナル所ハ新架坡デアル、ソレヨリ馬來、暹羅ニ入ルモノモアリ、或ハ和蘭領馬來ニ入ルモアル、馬來半島ハ英ノタメニ大

切ナル植民地デアル、海峡植民地ハ其人ガニケ所定住シテ支配スルガ他ハ
馬來聯邦トナツテ支那人デアル、

ソノ主要ナルハゴムノ栽培、錫ノ産出デアルカ土地ノ人ハ感情デ不適当、
印度人モ居ルガ、一番良イノハ支那人デアル、今日コノ方面ニ居ル支那人
ノ數ハ遙カニ増シテ居ル、

一九一八年

海峡植民地

群島

馬來土人

二七四、五三四

五一〇、〇〇〇

支那人

四三三、七六四

四九四、〇〇〇

印度人

九四、一一三

三〇五、〇〇〇

政人

〇、八

之等地方ノ都会ハ至ル所支那人ノ市街ノ如キ觀アリ、内地ニモ支那人自身
経営セルゴム園モアル、彼等ハ殆ンド赤道直下ノ暑サニ耐ヘテ居ル、白人
モコ、デハ支那人ヲ歡迎シテ居ル、市ノ行政ニ参与シテキル所モアル、ソ
レハソノ有利ナル勞力ノタメデアル、

独リ馬來半島ノミナラス暹羅テモ最モ經濟界ニ勢力アルハ支那人デアル、

コ、ニ重要ナル所ノ米作ハ南部デアルカ不熟練、熟練共ニ多數コ、ニ入
ツテキルノハ支那人デアル、現ニ支那人ハ暹羅ニ於テハ人口ノ上カラモ主
要デアル、ハ〇〇万中ニ〇〇万ハ支那人デアル、コノ方面ニ於テ最モ重要
ナル労働者トナツテ居ル、精米業ノ如キハ殆ンド独占ノ有様デアル、
印度支那ニ於テハ矢張り大切ナル労働者デアルカ之ヲ压迫シテ居ル、
之等ノ地方ト支那本國トノ間ニハ田滿ニユキ特殊ナル為替機關、運輸機
関アリ、支那ノ福州ニアリテハ暨南高アリテ南洋ニ行ク移民ヲ扱フ所トナ
ツテ居ル、

葡領印度支那及「ジマバ」ニ於テハ和蘭政府ガ極力拓殖シタ、ソコニモ
多數ノ支那人ガ入り込シテ居ル、コ、ニハアラニル支那人ガ入り込シテ居
ル、大地主、大商人、運送事業ヲ行フモノアリ、砂糖、珈琲、燕菜事業、
行商人アリ、「パタビヤ」、「スラビヤ」ニ大商店ヲ具ヘテ居ル、「ヒリッ
ピン」支那ニハ近イカラ「イスバニア」領ノ時カラ多ク入り込シテ居ル、
ヘアメリカ領トナツテ移住ヲ禁ジラレタガ、今日デハソノ行商人ノ勢力ハ
非常ナルモノデアル、スベテノ商人ノ商費ノ數ヲ見ルト卸商ハ四六%、小

賣一%ヲ彼等ノ賣上高ハ六%ヲ占メテ居ル、

以上ノ如ク支那人ハ一體ノ位出テ居ルカト見ルニ蘭領印度支那ニハ少クモ六〇万人移住シテ居ルモノト見ラレ、暹羅ニ〇万、比律賓九万、半島地方ニ〇万位デアル、

斯ク支那人ハ南方ニ多イガ一方北ノ方ニモ民族的勢力ハ及ヒツ、アル、漢人ハ過去二十年位デ滿洲ニ入ル者多ク内蒙古ニモ多シ、広東、直隸ノ若カハ西伯利亞ニ入ル者多シ、ソコデ金山デ労働シテ居ル、次第ニ「ロシヤ」ノ地位ヲ奪ヒツ、アル、注意スベキハ世界戦争ノ最中ニ於テ支那人ノ労働者ガ歐洲ノ中ヘ入り込シテ居ル、戦争中ハ勞力欠乏シテ充タヌタメニ支那人、多数カ北支那ノ港カラ送ラレソノ數カ十万以上ニ上ツタ、保シ之ハ元ヨリ一時的ノモノデアツテ戦後ハ再ビ歐洲ヨリ驅逐サレタ、

▽日本ノ移民現状

日本人ノ今日海外ニ居ルモノハソノ發展ノ區域人數ハマダ少イモノデア

ル、一九二〇年ノ國勢調査デ海外ニ居ルモノハ六四八、九一五デアツタ、ソノ中朝鮮人、台湾人ヲ除ケバ大和民族ハ五八〇、四〇八人デアアル、即チ歐洲ノ海外ニ居ルモノニ比スレバ非常ニ少イ、

オランダ領印度支那	六〇万
シヤム	二〇〇万
安南	二〇万
比律賓	九万
馬來半島地方	二〇〇万

日本人ノ移民ノ起ツタノハ明治十年頃デ明治十九年ニ一三一五人デアツタ、二一年ニハ四〇〇〇、二七年ニハ一万余デ中多數ハ布哇、亞米利加ニ行ツタ、移民保護規則カ同年ニ發布サレ、三二年ニ三一、三五四人トナツタ、此ノ頃移民禁止トナリ、三五年（一九〇五年）ニ一萬五千余トナツタ、ソコデ從來ノ法律ヲ改メテ今日ノ移民保護法ヲ發布シタ、ソシテ定義ニ「移民ナルモノハ労働ニ從事スル目的ヲ以テ清韓以外ノ外國ニ渡航スルモノ及ソ

ノ家族ヲ云フ。トシテソノ後移民ハ米國又ハ米領ニ行キ一萬ニ千一
 一万四千位ハ出テツ、トル。一九二〇年ノ國勢調査ヲ見ルト亞細亞ニ二七
 万五千ソノ中ニ〇万ハ支那滿洲デトル。關東州ノ管内デ七万八千、青島ニ
 二万三千、北緯嶺ニ一万一千、海峽植民地ニ一万、支那ニ居ルモノハ多ク
 ハ都會地デ上海ニ一万五千デトル。
 歐洲全体デ二千九百、此米ニ一三万五千、ソノ中大多數ハ太平洋岸、殊
 ニ「カリホルニヤ」デ五万余、「ロスアンゼルス」ニ二万八千デトル。南
 米殊ニ伯刺西爾、「サンボロ」ニ居ル日本人ハ三万四千アル。太平洋ニ
 十二万ソノ大多數ハ布哇デコ、ダケデ十一万アル。
 米國デハ「カリホルニヤ」、「ワシントン」、「オレゴン」、「カナダ」等ニ
 居テ主ナル職業ハ農業デアル。合衆國ニ於ケル日本移民ハ一八八六年ニ始
 マル。一九〇〇年ニ一萬二千六百トナリソノ中一萬ハ合衆國ガ布哇ヲ合併
 シタノデ布哇カラ大陸ヘ移ツタノデアル。加奈陀ニ於ケル漁業、亞米利加
 海岸ニ於ケル營業ニ從事スルモノ多ク「カリホルニヤ」ニハソノハ割ヲモ
 ツテナル。長イモノハ三十年位ノモノモアル。ソコニ土着シ永遠ノ事業ヲ

営ムモノモ出ツルニ至ル。彼等ハ急速ナル發展ヲナシテ居ル。ソノ労働時
 間、生活程度ハ亞米利加ノソレト異ツテ居ル。一九〇九年市場ニ現ハレタ
 作物ノ價ハ六〇〇万弗デアツタガ一九一九年ニハ六七一四万弗ニ達シテ居
 ル。殊ニコノ十年間ニ於ケル日本人ノ農業労働者ハ非常ニ急進シテ野菜、
 イチゴノ類ハ八八%—九〇%ハ日本人ノ農園ニ生産サレテ居ルノデアル。
 加州ニ於ケル重要ナル食糧品ガ殆ンド日本人ノ手ニヨルコトハ米國ニトツ
 テハ由々シキ問題デアル。「ロスアンゼルス」ノ市場ノ如キハ殆ンド日本
 人デ支配シテ居ル。桑港ニ於テモ同ジデアル。
 ソコニ排日ノ問題ガ持テ上ツタノデアル。コレハ一朝一夕ノモノデナク
 支那人排斥ニ成功シタ彼等ハ続イテ日本人排斥ヲ初メタノデアル。一八八
 七年ニ已ニ排日カ起ツテ居ル。ソノ中心トナルモノハ加州ノ労働同盟デア
 ル。殊ニ選挙ニ於テハ最も都合ノ良イ道具トナツテ東ニ居ルノデアル。
 一九〇〇年ニハ加州市民ノ排斥アリ。一九〇一年ニハ州議會ニ移民制限
 案提出サレ一九〇六年ノ大地震テ学校教育差別問題起ル。「ルーズベルト」
 氏ハソノ間ニ立チテ調停ヲ試ミテ布哇ヨリ入り來ル移住者ヲ制限スルコト

ヲ以テ排日ヲセムル調停ヲ成立シタ、ソコニ紳士協約が出来、即チ労働者トシテ入國ヲ政府デ手心ヲスルコトニナリ問題ハ解決シタ、

第一ニ成功セル彼等ハ亜米利加在住者ノ圧迫ヲ初メタ、已ニ当時日本人ノ農業上ノ成功ハ大キカッタノデ之ヲ妨害セントタメニ加州ニ於ケル土地法改正ガ起ツタ、之カ起ツタノハ一九〇七年デ一九〇九年、一九一一年、一九一三年トアラハレタ、即チコレ *Alien Land Laws* デ日本人ノ土地所有権、三年以上ノ借地権ヲ禁止シタモノデアル、コノ法ハ現在モツテ居ルモノニハ及ハナイシ又三年タテバ又借り替へレハ事業ニ於テハ大シタ影響ハナカッタ、耕作面積ハ

一九一三年 二八一、六八七エーカー

一九一九年 四二七、〇四〇

デアツタ、

日本ノ労働者ノ地位ガ高マリ、賃銀ノ向上、國際間ノ良好ナル關係ハ一九一五年桑港大博覽会ニ参加シ良結果アリ、一九一七年世界戦争参加ノ時ニ軍需業暴價、郵便事業等ニ日本人ノ恣スルモノ多クソノ間ガヨク調和ナ

レタ)尚米國労働同盟ニ参加ガ出来ルデアラウコトモ思ハレル位デアツタ、ソコニ種々ノ良好ナル影響アリ、借地権ヲ許スノ豫州議會ニ提出セントスルモノモアリシガ併シ國際的ニ日本ニ対スル軍國的態度カ露骨ニナツタ、天津ニ於ケル日米兵士ノ衝突、朝鮮ノ統治問題、支那本部ニ於ケル日米間ノ暗流等カ亞米利加人ヲ刺戟シ之ニ促シテ排日連ノ跋扈トナツタ、為ニ空氣ハ一変シタ、

一九二〇年ニ一般人民投票ガ加州ニ行ハレルコトニナツタ、ソノ改正案ハ日本人ハ米國市民トナル権利確実ニ認めラレテ居ラナイノデ又米國生レノ少数ノ者ノ外ハ絶対ニ土地所有権ヲ有スルコトが出来ナイノミナラズ一九一二年ノ借地権ヲ奪ヒ、又從來法律デ市民権ヲモツ過半数カ校同スルナラバ土地所有権ハ出来タガソレヲ取り去ル、米ニ生レタ子供ハソノ後見人トシテ土地ヲモツ権利ヲ奪ヒ去ル、之モ人民投票ニヨリニ二万対六六万ノ多数ヲ以テ通過シタ、即一九二〇年カラ如何ナル形式ヲモツテモ土地所有ヲ禁シラレタ、外ノ州モ之ニ倣ヒ十一州排斥スルコトニナツタ、一九二四年ニ再ビ移民法改正ニ立チ到ツタ、併シ之ハ亞米利加一般ニ行ハレルモ

北米ハ斯塔全然望ミハナイ、
「メキシコ」ハソノモノハ歡迎シテキルケ
レトモ國內ノ状態ガ不安定ナル、政治上ノ革命ハ延イテ産業ヲ不安ナラ
シメテキル、ソコデ最モヨキハ伯刺西爾ナル

伯刺西爾ハ土地面積大（日本ノ二十ニ倍）人口ノ密度ハ一平方軒ニ三人
（日本一四七人）ナル、未開地非常ニ多シ、自然ノ富源モ多ク含マレテ
居ル（地上地下）之等ヲ開墾スルタメニ多クノ勞力ヲ入レテ努メテ居ルカ
聯邦政府、各州政府ノマツテキル所ナル、

「アマゾン」流域ノ大平原ハ赤道直下デ植物繁茂シ両豊多ケレト直チニ
移住スルコトヲ得ス、
「ゴム」ノ栽培以外ハ全ク等閑ニ附サレテキル、
拓殖
農業ノ行ハレルハ東海岸地方ナル、
初メテ伯刺西爾ニ政ノ移民ノ入レル
ハ「ベルマン」軍港附近ノ *Rafnia* デアル、之レヲ中心トシテ開ケタノ
デアル、係シ彼等自身テハ働ケヌ阿弗利加ヨリ「ネグロ」ヲ輸入シテ開拓
シ砂糖、棉ノ栽培ヲ先ツ行ツタ、之ヨリ次第ニ南方ニ下リ「リオデジヤネ
イロ」ハ南緯ニ〇度）附近ハ政人ノ植民モ次第ニ出来ルヤウニナツタ、
大西洋岸ハ一帯ノ高台デアル、伯刺西爾高台デアル、為メニ緯度ハ熱帯

近クニアレドモ、氣候ヨシ、南ニ下ルニ從ヒ温和デ南端三〇度附近ハ政ノ移
民到ル所ニアリ、

コノ中最モヨク開ケタ地方ハ「リオデジヤネイロ」ト「サンボロ」ニ
州デアルガ、コレガ密度ニ二人、一六人ニスギズ（樺太位）土地ハ肥ヘ、
如何ナル産業モ成リ立ツ、東ハ熱帯的産業、
「サンボロ」ハ咖啡ノ栽培ニ
ヨシ、輸出ノ状態ヨリ見ルモ咖啡三四七百万磅、砂糖三、三百万、冷肉二、三
百万デアル、即チ咖啡カ全体ノ三分ノ二、
咖啡ハ氣候温和ノ丘陵地ガヨイ、
海拔四一五百米ノ地ヲヨシトスル、

「サンボロ」ハ到ル所之レガ行ハレテキル、之ガ伯刺西爾ノ産業ノ大
部分ヲ占メテ居ル、

	輸出	輸入
ブラジル	四九%	三〇%
サンボロ	一六%	四四%
リオデジヤネイロ	七、八	三
バイヤ	七	六
ペルナンブコ		

一八二
即チコノニ小州ヲ伯刺西爾ノ貿易ヲ背負ツテ居ルコトニナル。コノサン
ス。港ハ「サンボロ」ノ貿易港ヲシテキル。コノ地方カ日本人ノ發展地
ナリ。コレヨリ南方ハ歐人殊ニ独人ノ植民多シ。近時日本人モコノ方面ニ
發展セントシテ居ルヲ見ル。

本年六月ノ調査ニヨレハ伯刺西爾ニハ日本人三九、二九四人居ル。之等ハ
多ク二十世紀ニ入りテ發展セルモノナリ。最初入レルハ日本移民会社ノ手
ヲ經テ労働移民トシテ渡ツタノテアル。ソシテ珈琲畑（外人、伯刺西爾人
ノ經營ニナル）ニ入りテ労働セルモノナリキ。最初ノ中ハ風土氣候ニ馴レ
ヌコト、労働時間ノ多キコト等ノタメニ健康状態面白カラサリシモ次第ニ
適當スルヤウニナリ發展向上シ来リ。次ニハ土地ヲ借りテ單ナル小作ヲナ
スモノ又ハ一種ノ大ナル經營者カラ大ナル土地ヲ借りテ之ヲ日本ノ労働者
ニ耕作セシメ等シク遂ニハ地主トナリ自ラ耕作シ自作農トナツタモノデア
ル。

普通ノ労働者ハ珈琲畑ニ労働シオレトモ他ノ方面ニ栽培シテ居ルモノモ
アル。珈琲畑ニシアゲルニハ年數ヲ要スルカラソノ間ハソノ畑ニモココシ
ル。

豆・米等ヲ栽培スル。

日本移民ノ行キテヨリ米ノ栽培發展シ来レリ。伯刺西爾人ハ米ヲ殆ント
常食ノ如クニ食フ。コノ國ニハ元ヨリ米アリ（阿穆）日本人カ之ニ從事シ
居リシ所ソノ成績ヨリ或ル地方ニハ米作ヲ始メタメニ米ノ産額増加シ戦
時中コノ米カ輸出品トナルモノアリ。從テ之レニノミ從事スル日本人モア
ル。労働者ハ宿舍アリテ入レラレル。設立シタモノハ農村ヲナシテ生活シ
テ居ル。之カ勤勉ナル労働者ハ數年ニシテ地主トナリ居ル。之ニナルモノ
少カラズ。十年以前ニ移住セルモノデ現今驚クヘキ土地ヲ有スルモノモア
ル。一九二二年地主トナリ居ルモノ日本人一五〇〇家族ナリ。氣候モヨク
高台ナレハ夏熱カラズ冬寒カラズ。殊ニ近時移住ノ様子モワカリタレハ移
民ハ頓当ナル發展ヲナシテキル。仕事ガ樂テ自然ガ助ケテクレル。土地ガ
豊饒デアレ。土地広キ故ニ大規模ノ耕作モ出来ル。日本内地ニテハ耕作地
一戸宛一町一畝余、伯刺西爾テハ家族三人デ一ニ町一畝——ニ五町歩畝率ヲ
ナゲ得ル。

伯刺西爾ノ社会ハ如何。

伯刺西爾ノ住民ハ初メハ葡萄牙人ナリキ、初メハ黑人ヲ入レタルタメニ
 葡萄牙人ト黑人トノ雜種カ多ク、極メテ少数ノ亞米利加印度人トノ雜種ナ
 リ、後、歐洲ノ移住者多ク羅甸人多ク入り来レリ、今日伊太利人一番多ク
 人口統計ヨリ見テ伊太利人ノ要素ヲ有スルモノ葡萄牙人ヨリ多シ、政治經
 済上ノ勢力仍チ中流以上ノモノハ葡萄牙人多シ、
 資本ヲ入レ居ルモノ、即チ工場ノ貨物トシテ又金トシテ入レ居ルモノハ
 英ヲ第一トスル、約一億テアル、米一億、仏四千万位テアル、
 外國人ノ入ルコトヲ更ニ拒マズ、國法上憲法上全ク對等ノ待遇テアル、
 公取ノ方面ハ別トシテ私取ノ方面ニハ内國人同様テアル、種々ノ生業ヲ營
 ム等テハ平等ナルモ特殊ノ事業、弁護士、船長、機關士、法律學校ノ教師、
 渡業等ハ外國人ハナシ得ナイ、日本人ノ之カタメニ歸化シテ渡業ヲ營ンデ
 居ルモノ少ナリ、
 入國手續ハ簡單ナリ、只刑ニ能レタルコトナク健康テサヘアレハヨシ、
 有色人種ヲ排斥スルコトナキモ以後大ナル發展ヲスレバ向懸起ランモ之ヲ
 防クカタメニハ早ク參政權ヲ得ルコトデアル、之カタメニハ歸化スルコト

カ最モ近途デアル、歸化スルコトハ民族ヲ發展セシメ國內ノ窮狀ヲ緩和ス
 ルカ故ニ大ニ行フヘキテアル、歸化スルモノハ勞働者ヨリモ地主ヲヨシト
 スル

伯刺西爾ハ歸化ヲ歡迎スル、共和國ニナツタトキハ一八九一年ニ歸化
 スルモノ多カリキ、伯刺西爾デ生レタ子ハソノ父母ノ如何ヲ問ハス伯刺西
 爾人トナル、只父カ本國ノ任務ニ就イテ居ルモノヲ除ク、

新ニ入國シテ歸化シ得ルモノ
 伯刺西爾内ニ不動産ヲ所有シ、伯刺西爾婦人ト婚シ引続キ住スルモノ、又
 伯刺西爾内ニ不動産ヲ有シ伯刺西爾人タル子供ヲ有スルモノデ引続キ住ム
 モノハ國籍ヲ得ル

- 願出ニヨリ歸化シ得ルモノ
1. 伯刺西爾ノ婦人ト婚シタ外國人
 2. 伯刺西爾ニ不動産ヲ所有スル外國人
 3. 或産業的施設ヲナシ居ル組合員
- 伯刺西爾ノタメニ有益ナル或ル事業ヲ發明セルモノ又ハソノ方法ヲ輸入

セルモノ

又工業上特殊ノ技能ヲ持ツテ居ルモノ、
定年ニ達シタモノ、二年以上伯刺西爾ニ住シ品行方正刑ニ触レタルコトナ
キモノ

帰化シタルモノハアラユル私権ノミナラス公権モ有シ得ル、官吏公職ニ
就キ得ル、只大統領、副大統領ニハナリ得ナイ、四年ヲ経過セサレハ下院
議員ニ、六年ヲ経サレハ上院議員ニナリ得ナイ、

斯ク日本移民ニ適スルカ故ニ「サンボロ」州ノ会社ガ旅費ヲ給シ土地
ヲ共ニ教育等ハソノ用具、教師ノ派遣等ヲナシテ州ノ費用ニテソノタメニ
鉄道、道路等ヲ拓キ居ル

日本政府モ近時之レカ移民ニ対シ積極的補助ヲ與ヘルマウニナツタ、而
シテ正史ハ過去十数年ニスキヌカ順調ノ發展ヲシテ居ル、

南米ニハ外ニ亞爾然丁、智利、秘魯等ニモ日本ノ移民ハ増シツ、アルカ
伯刺西爾ニハ及ハヌ、秘魯ニテ一〇〇〇〇人ニスキヌ、秘魯テハ砂糖、棉
ノ栽培ヲナシ主トシテ労働移民ヲ自家経営ノ農業者少シ、

亞爾然丁ハ南米中デ一番富ミ一番大ナル農業國テ小麦、羊毛、牛肉ノ輸出
出盛ニシテ大部分農地デアル、ラブラタラ流域カ之ヲ、南ハ牧畜デアル、

日本人ノ發展シ得ル地ナレドモ約ニ〇〇〇〇人ニスキヌ、多クハ都會ニ住ミ、
「カフェー」料理屋ヲシテ居ル、之等ハ太平洋岸ヨリ来タモノハ伯刺西爾
デ労働ニ堪ヘズシテ入ルモノデアル、皆健全ナルモノデハナイ、又農博伊
藤氏ハ大ナル牧場ヲ經營シテ居ル、他ハ概ネ不成功デアル、

コノ國ハ憲法テ日本移民ヲ歡迎セヌマウニナツテ居ル、移民ヲ紹介スル
移民館ニ政人ノミヨリ外入レナイ、之ハ從來コノ國ニ親米主義カ盛テアツ
タコトニヨルカ近時当局ニ移民ヲ入レル傾アリ、又ラブラタラ流域ニ米作
ヲナサシメントスル案モアリ、只コ、ニ望ヲ囑ルノミデアアル、

結局日本移民ノ地ハ南米伯刺西爾ニアル、國土ノヨキ地濠洲アレトモコ
コハ有色人種ヲ排斥シテ居ル、只北部ノ木曜島附近僅カニ真珠採取シテオ
ルノミデアアル、

▽植民

何レノ国モソノ勢力發展シテ末ルトソノ益レルカヲ外ニ振向ケルヤウニ
ナル、即チ土地ヲ蚕食シソレヲ開墾スルタメニ種々ノ「エネルギ」ヲ向
ケル、時ニハ移民トシテ時ニハ資本トシテ、——之カ為ニ經濟的勢力ヲ發
展シ植付ケル、斯クシテ國境次第ニ擴張シ、コルカ露、如キ大陸發展、英
ノ如キ海外的發展トナル、

普通植民トハ後者ヲ云フ、

Colony

トハ植民地ト共ニ植民ヲモ云フ、

或民族ハヘ伊太利、スラブ、新大陸ニ行クトキハ集團ヲナシテ或地方ニ行
ク、ソシテソコニ集團ヲ作ツテキル、之等ハソノ國民的勢力ヲモツテキル
ノアハナイカソレヲ伊太利ノ植民地、「スラブ」ノ植民地ト云フ、之ヲ普
通ノモノト區別シテ民族的植民ト云フ、

ソノ國ニ於テ未開、地ニ團體ヲナシテ移住スルモノアリ、之ヲ國內植民
ト云フ、

古代新領地ヲ奪ヘハ之ヨリアラエル富源ヲシボリ取ルコトノミテソノ土
地ソノモノヲ開墾シ文明ニ導クコトナドハ考ヘナカツタ、今日テハ之ト反

對ニ手ニ入レタル以上ソレ自身ヲ開墾セシメ新シキ産業ヲ起スノデアル、
政治ニヨリ兵力ニヨリテモ一度手ニ入レハ之ニ經濟的施設ヲ設ケル、而シ
テ新シキ經濟的發展ヲ試ムルノデアル、

經濟的の分類ヲナサハ、

1. 農業植民地、未タ處女地テ原始的ナル土人ノ如キカ住ミ人口極メテ少

ク、ソコニ新ニ經濟的施設ヲ施スニハ農業ヲ最モ適シタリトスル、併シ
ソノ風土、本國民ニ不適当ナル場合ハ別トシテ適スルトキニハ順當ノ植民
地トシテ發展サスコトカ出来ル、英、加奈陀、濠洲、南阿弗利加ニ於ケル
ハソレテアル、

2. 栽培植民地、固シ農業ナルモ、砂糖、咖啡、茶、棉、ゴム等所云熱帯
植民地テ主トシテ行ハレルモノデアル、熱帯民族ハ劣等テアツタタメニ政
人ノ入ルマ直チニ之ニ分割サレタ、併シ之ヲ以テ直ニ本國人ヲ移入スルコ
トハ出来ヌ、氣候ノ上カラ之カ勞力ハソノ土地ニアルモノヲ用フルノデア
ル、土人ヲ養フノデアル、經營者ハ本國ヨリ入り込ニテ居ル、
之等ハ皆栽培スルタメニ広イ土地ヲ要スルカ商業上、交通上ノ重要ナル

莫ハズイ土地ニハ及ハナイ、
3. 商業交通殖民地、 沿岸地方港ヲ大ナル背後地方ヲ有スル殖民地アリ、
香港、新架坡ノ如キソレヲアル、 之ハマカテ政治的勢力ノ源泉トナルヘ
キ地モアル、 所帯利加ノ如キハ海岸ノ一莫カラ次第ニ入り込シタモノテ
アル、

此ノ外ニモ軍事植民地ノ如ク軍事上必要ナル地モアル、 併シ之ハ要ス
ルニハ英ノ如キ一領土ノ保護ハ勿論之カ通商船舶ヲ保護セントスル必要
ナル使命アリ、 又他ノ意味ノ軍事植民地ハ露西亞カ西伯利亞ノ開拓ノ
化田兵ヲオイタ、 併シ之ハ平時ハ労働ヲシテキタ、 事アレハ劍ヲ持ツテ
立ツノテアル、
又殖利植民地ハ經濟上カラハ銀火トナリ、 農業者トナツテ意義アル生
活ヲシテアル、
之ヲ見ルト先ツ何レノ土地モソコニ植民ヲ行ヒ經濟的ニ利用シテ居ル、
何レニセヨ之ニ人ヲ送ルカ金ヲ送ルカニツテアル、
即チ人ヲ送ル植民地ト金ヲ送ル植民地トニツテ分ツ、 之ヲ前者ハ居

留植民地、 後者ハ投資植民地或ハ開墾植民地トスル、

斯ク分テハ其經營方法如何

一度土地ヲ得タナラハ原始的ナル自然ソノマ、ニ任セテオクコトカアル
併シ今日ハ先ツ試験的ニ種々行ツテ見タリ、 或ハ学校ヲ造ツタリ、 如何ニ
セハ之ニ適スルカヲ研究スル、 コノコトハ熱帯ニ特ニ必要ナル、 農産物
家畜等ヲ移シテ見ル

英國ニ於テハ一九二四年

ニ熱帯研究学校ヲ設ケテアル、 和

蘭ノ「ジババ」、 「バタビヤ」、 「トリシダ」ナル大植物園等ヲ設ケテアル
カ之レハ科学的施設アルノミナラス又一ツノ試験場テアル、 デ世界ノテラ
ユル地方カラ種々ノ産物ヲ集メ種々栽培ニ注意ヲ払ツテアル、 カクテ今日
テハ馬來ノ主要産物ハ和蘭カ占領以後ノ移植テアル、 「キナ」、 如キハ和
蘭ノ山中カ原産地テアツタカ之ヲコ、ハ植ヘ付ケタノテアル、 「ゴム」モ
伯利西爾カラ持ツテ来タ、 珈琲ノ如キモ亦同シデアル、

Monoculture (一種ノミヲ栽培スルコト)ハ經濟上普通ニ行ハレ易
キナレトモ一種ハカリ出来ルトハキマラス、 一種栽培ハ危険ノ場合カ多イ、

之等ノ地方ヲハ成ルヘク從來ノ *Mores* ヲ破リテ *Policeulture* (多方面ノ栽培) マメルト云フコトガ利益ノ多イコトテアル。コトニ和蘭ノ植民地ノ如ク強制的ニ行ハセルコトモヨイコトデアル。之ヲ *Dutch culture system* ト云ハレテアル。

Boeck 氏ハ一八三〇曰ク國家ハ絶対的ニ植民地ノ地主テソノ利益ヲ全部沒收スヘキデアル。土人ハ政府ノ命スルマ、ニ耕作シ時ニハ強制労働ニ服シ税金ノ代リニハ作物ヲ納メサセル、即チ出來ルタケ産業ヲ多方面ニスル。

コノコトハ國家ノ利益ノミナラス、多クノ植民地ヲ牽連セシメル。ソシテ藍、煙草、砂糖、茶、珈琲、肉桂、胡椒、之等ノ大部ハ他ヨリ輸入シタモノテ政府自ラ珈琲ノ栽培ヲシテ土人ヲ強制的ニ用ヒタモノダ、斯クシテ和蘭ハ大成功シタ。

英ノ印度ニ於ケル「ゴム」ノ新架坡ニ於ケル、日本モ台湾ニ成功シテ居ル、此ノ地ハ投資植民地テアル、占領後ニ大ニ發展シタモノカアル、砂糖ノ如キハ元ハ竹蔗ナル貧弱ナルモノテアツタカ糖務局ヲ設ケ大ニ努メタ。

Rose banks

ノ如キ良種ノモノヲ植ヘ全部之ニ代ツタ、三二年ニハ一〇〇万斤、七八年後ニ一億トナリ後ニハ四億以上ニモ上ツタコトカアル。價ニ於テハ一〇倍以上ニモナツタコトカアル。甘藷、米モ數倍トナリ磁物ノ如キモ新ナルモノカ察見サレタ、為メニ台湾ハ三六年以来ハ財政ノ独立ヲ見ルニ至ツタ。

▽政治的ニ見タル植民地

植民地ハ英ヲ以テ最大トスル、又アラユル種類ノ植民地ヲ持テ居ル。植民地經營ノ初期ニハ本國政府ノ直ニキヲツケナイモノカ多ク今日テハ新シク植民地ヲ經營スルニハ又コノ方法ヲ取ルヲ見ル。即チ特殊ノ団体ニ之ヲ委ネルノテアル。即チ *Chartered Company* テアル。英ノ *Man-Chart*, *adventurous Company*, *Virginia and Massachusetts Company* 或ハ *East Indian Company*, *Loyal Africa Company* 和蘭ノ *Dutch Indian Company*。

ソレ等カ植民地經營ニ當ツタ、ソノ主要ナル目的ハ商業上ノ利益独占ニアツタ、而シテ之ヲ充分ニ保護スルタメニ、政治的権力ヲ有セシメ恰モ一ツノ國家ノ如キ態度ヲ植民地ニ臨ンダ、政府ノ保護ハアツタカ事實上独立ン政府モスツカリ委任テアツタ、十七世紀ヨリ傲慢ナル行為アリ十八世紀ノ終リニ初メテ政府ハ嚴重ニ監督スルマウニツタ、併シ十九世紀ノ後半ニナツテ又頭ヲモタゲ英ノ北「ボルネオ」会社、或ハ *Loyal Niger Co.* *British South Africa chartered Co.* ヲハ独立カ植民地經營ヲ始メタトキニハ *New Guinea Co.* or *Palmit Co.* ノ如キハ南洋開拓ニ努メダ、併シ之等土地ヲ開クニ行クニツレテ之ヲ政府ニ讓ル者ガ多イ、併シソレテ多大ナル金ヲ費ヒソノ金ヲ土地ノ開拓ニ用フルコトニツタ、特許会社ノ中デ有名ナルモノハ南阿聯邦ノ奥ナル *Rhodesia*、*Bechuanaland*、*Rhodesia*、*British Africa Co.* ガインテヤルカーハ八九九年ニ特許ヲ得テ立テラレタ会社デアアル、コノ会社ハ英國人デアアル、之ヲ行政スルタメニ法律ヲ制定、租税ノ徵收、警察權、裁判權ヲ與ヘ、且ツ特殊ノ旗ヲ用フルコトヲ許サル、政治ヲ行フニハ本國政府

ノ許可ヲ得タル *administrators* デ之ヲ監督スルモノハ *Resident*

Commissioner デアル、南北 *Rhodesia* ハ日本ノ四倍アリ、南ノ方ハ

ヨリ發展シテキタ、牧畜モ盛テ金モ出ルマウニツタ、テ次第ニ發展スルニツケテ南 *Rhodesia* ハ一九二三年九月初メテ会社ノ手ヲ離レ英政府ノ

直屬植民地トナツタ、

「ボルネオ」ニモ会社ノ植民地カアル、

何レノ植民地ヲ見ルモ斯ノ如ク一私人ノ手ヲ經テ来タモノデアアル、

國家ノ直接植民地ニ三種アリ、

一ハ *Colonial Colony* ハ中央政府ノ直接任命者カ之カ長官トナル、ソノ官吏ハ國王ノ命テ動クデアアル、未ダ文化進マズ土人ニ政權ヲ与ヘテ居

ラ又所、香港、海峡植民地、「ジブラルター」、「ファイジー」等、

第二ハ參政官カ與ヘラレテアルカ責任政府ハナイ植民地、即チ國王カ官

吏ヲ任命シテ居ル、國王ハソノ議會ノ作レル法律ニ對シテ不認可權ヲ持ツ

テキル、西印度ハ *Jamaica*、*Trinidad* ノ如キハコノ中デアアル、

第三ノモノハ最モ發達シタモノ、テ代議機關責任政府モ共ニ存在スル、植